

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
33	1 家庭や地域における学びの推進と連携	<1 家庭の教育力の向上>	(1)家庭教育への支援						
34	1-1-(1)-① 地域教育懇談会	指導課	学校ブロックごとに、学校、幼稚園、保育所、認定こども園、小・中学校PTA、幼稚園・保育所の保護者会、自治会関係者、青少年育成地区委員、民生・児童委員、青少年委員、人権擁護委員、社会教育委員、保護司・更正保護女性会関係者、PTA連合会OB、学校支援コンシェルジュ、公民館・児童館関係者など、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域行事や学校行事の縮小、全体発表会が書面開催となり、全体が集まることができなかったが、連絡会を通じて代表者で情報共有を行ってきた。令和4年度以降は、全体発表会を実施し、全体会の在り方を見直し、地域教育フォーラムの開催につなげている。	1 課題がある。	昭和60年の地域教育懇談会発足当初から、子ども達の抱える課題やPTAの役割、地域の協力体制などが変化している。 学校運営協議会が設置され、地域と学校との連携が推進されるなか、青少年育成地区委員会や地域教育懇談会等の子どもの健全育成に関する会合があり、出席者が同じ場合が多く、一部の出席者から会合の効率化を求められている。	1 継続	学校と地域の連携を推進するとともに、地域教育懇談会のあり方を整理するためにも、学校、地域、関係機関の方と協議する必要があるため
34	1-1-(1)-② 健康・安全指導の充実	指導課	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、心身の健康の保持増進に関する取組の充実に図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、心身の健康の保持増進に取り組むことができている。	2 課題がない。		1 継続	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を継続する必要があるため
34	1-1-(1)-③ 第三次稲城市食育推進計画の推進	健康課	子どもの基本的な生活習慣の形成は、生活リズムの向上を図ることが重要です。朝食をとることや早寝早起きを実践し、学校、地域、民間団体等の協力を得ながら「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	引き続き、朝食をとることや早寝早起きを実践し、学校、地域、民間団体等の協力を得ながら「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進していく。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、朝食をとることや早寝早起きを実践し、学校、地域、民間団体等の協力を得ながら「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進していく。
34	1-1-(1)-④ 第三次稲城市子ども読書活動推進計画の推進	図書館課	読書は、言葉や感性を磨き、想像力を高め、創造力を豊かにします。学校・家庭・地域・図書館であらゆる機会とあらゆる場所において、主体的に読書を行い、生きぬく力を育むことができるよう、子どもの読書活動を支援し推進します。	A 計画した以上の成果が出ている。	子育て世代や未就学児・児童・生徒を対象にした各種イベントの開催や、市立小学校1年生に対する「1ねんせいバック」の配付を通じて、子どもの読書活動を支援し推進する環境が整備できたことによる。 未就学児・児童・生徒向けの図書館利用促進の取組成果として特記すべきものとしては、以下が挙げられる。 ○銀行通帳形式で自身の読書記録を作成できる「読書通帳」の配布数が想定を上回っており、第三次稲城市子ども読書活動推進計画において掲げた配布目標(令和6年度末時点で11,000冊)を令和4年度中に達成することができた。 ○令和4年度にロールプレイングゲーム形式で図書館の利用方法を紹介するウェブコンテンツ「おいでよ 稲城市立図書館」を公開し、図書館の利用や職場体験学習に際しての事前学習教材として活用されている。	2 課題がない。		1 継続	GIGAスクール構想の実施等によるスマートフォン・タブレットをはじめとするモバイル機器の普及や、SNSからの情報摂取量の増大といった環境変化の中においても、引き続き子どもたちがあらゆる場所で本に親しめる環境を形成するため、現行の事業を着実に継続することが必要である。
35	1-1-(1)-⑤ 情報の提供	各課	広報、生涯学習だより「ひろば」、学校だより、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実に図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	引き続き、家庭教育に資する情報提供の充実に図ります。	2 課題がない。		1 継続	これまでの取組に加え、教育委員会広報誌「イエル」を発刊し、さらに情報発信を強化する。
35	1-1-(1)-⑥ 教育相談事業	指導課	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施します。	A 計画した以上の成果が出ている。	教育相談員の増員、教育相談室分室の開室を行い、相談対応を充実させることができた。	1 課題がある。	教育相談数の増、相談内容の複雑化により、教育相談員の増員を行ってきたが、相談員の質や判断に差が出ないよう、相談員を現場で取りまとめる職員を配置する必要がある。 教育センターとして組織を強化する必要がある。	1 継続	引き続き、教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施する必要があるため
35	1-1-(1)-⑦ 子どもと家庭の総合相談	子ども家庭支援センター課	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施している。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施する必要がある。
35	1-1-(1)-⑧ 要保護児童対策地域協議会	子ども家庭支援センター課	児童虐待の防止及び早期発見・早期対応のために、代表者会議では要保護児童対策の検討及び関係機関の連携を強化、実務者会議では要保護児童等の実態把握や支援を行っているケースの総合的な把握・進捗管理等について協議・検討、個別ケース検討会議では個別の案件について具体的な支援の内容を検討します。	B 計画どおりに進んでいる。	要保護児童等の実態把握や支援を行っているケースの総合的な把握・進捗管理等に努めた。	2 課題がない。		1 継続	協議会の継続により事業概要記載事項を継続していく必要がある。
35	1-1-(1)-⑨ 子育てサポーター養成	おやこ包括支援センター課(旧:子ども家庭支援センター課)	子育てに関する知識や情報を身に付け、子育て支援ができる人材を養成し、ボランティア団体として児童館等で地域の親子と遊び、育児の相談や話し相手として活動を行います。活動を支援し、養成講座修了者に対して、賞の継続、向上をします。	B 計画どおりに進んでいる。	子育て支援ができる人材を養成するために、広報等で子育てサポーターを募集し、養成講座を行った。講座終了後、既存の子育てサポーターとともに活動している。 子育てサポーターの活動を支援するとともに賞の継続、向上をするために、スキルアップ講座を行った。	2 課題がない。		1 継続	子育てサポーターが地域の子育て家庭の保護者の気持ちに寄り添い、活動することができるように今後も引き続き子育てサポーターの養成を行っていく。
35	1-1-(1)-⑩ 生涯学習宅配講座	生涯学習課	子育てに関するテーマなど、10人以上のグループからの申請により、市職員や市民ボランティア講師を派遣し出前講座を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	令和5年度まで、内容の充実の改善を図りつつ、活用実績の向上が図れた。	2 課題がない。		2 内容を変更して継続	より一層市民ニーズに寄り添うとともに、講座メニューの増加に努める。
35	1-1-(1)-⑪ 子育て講座・親子交流事業	おやこ包括支援センター課(旧:子ども家庭支援センター課)・児童青少年課・生涯学習課	公民館や児童館などを利用して、子育て講座や子育て中の親子同士が交流や情報交換を図る場の提供や機会づくりを推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	(おやこ包括支援センター課) 児童館などで『出張あそびの広場はぐはぐ』を祝日を除く月～金の9:30～11:50まで、毎日実施。 木曜日は、第2文化センター内児童館と同施設の生活文化施設や第3文化センター内児童館で9:30～14:40まで実施し、地域の子育て中の親子同士の交流につながった。 また、あそびの広場スタッフが利用者のニーズにそって、子育て支援情報の提供をした。特に保育園入所等については、申し込みの時期や施設見学を行う等の具体的な情報を提供できた。 (児童青少年課) 各児童館にて、親子参加の児童館事業を実施し、子育て中の親子同士が各児童館の工夫された幼児事業に参加することで、情報共有を図り、学びの機会を提供できた。 (生涯学習課) 公民館事業として、保育付講座、乳児や親子を対象とした講座を実施し、交流や情報交換を図る場としても活用していただけている。	2 課題がない。		1 継続	(おやこ包括支援センター課) 引き続き、子育て中の親子同士の交流や情報交換を図る場の提供や利用者のニーズにそった子育て情報を提供できるようにしていく。 (児童青少年課) 各児童館にて、親子参加の児童館事業を実施し、子育て中の親子同士が各児童館の工夫された幼児事業に参加することで、情報共有を図り、学びの機会を提供する。 (生涯学習課) 引き続き子育て講座や子育て中の親子同士が交流や情報交換を図る場の提供や機会づくりを推進する。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
33	1 家庭や地域における学びの推進と連携		<1 家庭の教育力の向上> (1)家庭教育への支援					
34	1-1-(1)-① 地域教育懇談会	指導課	中学校ブロックごとに、学校・幼稚園・保育所、認定こども園、小・中学校PTA、幼稚園・保育所の保護者会、自治会関係者、青少年育成地区委員、民生・児童委員、青少年委員、人権擁護委員、社会教育委員、保護司・更正保護女性会関係者、PTA連合会OB、学校支援コンシェルジュ、公民館・児童館関係者など、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を実施します。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、新型コロナウイルス感染症の影響により、全体発表会は紙面発表とし、ブロック連絡会を3回実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、新型コロナウイルス感染症の影響により、全体発表会は紙面発表とし、ブロック連絡会を3回実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、ブロック連絡会を3回、全体発表会を実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、ブロック連絡会を3回、全体発表会を実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による情報共有の場として、学校支援コンシェルジュと合同連絡会を開催する。子どもたちに関わる団体・組織が一堂に会し、取組や実践の成果、課題を共有するとともに、子どもたちの発達・成長を支えるための有効な方策について共に考える機会として、地域教育フォーラムを開催する。
34	1-1-(1)-② 健康・安全指導の充実	指導課	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、心身の健康の保持増進に関する取組の充実を図ります。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する資料の作成や活動の場の整備を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する資料の作成や活動の場の整備を図ることができた。	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、心身の健康の保持増進に関する取組の充実を図る。
34	1-1-(1)-③ 第三次稲城市食育推進計画の推進	健康課	子どもの基本的な生活習慣の形成は、生活リズムの向上を図ることが重要です。朝食をとることや早寝早起きを実践し、学校、地域、民間団体等の協力を得ながら「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進します。	学校、家庭、地域、民間団体等の協力を得ながら、子どもの基本的な生活習慣の形成に重要な生活リズムの向上を目指し、第三次稲城市食育推進計画に基づき「早寝、早起き、朝ごはん」運動等の推進を図った。	学校、家庭、地域、民間団体等の協力を得ながら、子どもの基本的な生活習慣の形成に重要な生活リズムの向上を目指すため、第三次稲城市食育推進計画に基づき「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進し、子どもの基本的な生活習慣の形成を図った。	学校、家庭、地域、民間団体等の協力を得ながら、子どもの基本的な生活習慣の形成に重要な生活リズムの向上を目指すため、第三次稲城市食育推進計画に基づき「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進し、子どもの基本的な生活習慣の形成を図った。	学校、家庭、地域、民間団体等の協力を得ながら、子どもの基本的な生活習慣の形成に重要な生活リズムの向上を目指すため、第四次稲城市食育推進計画に基づき「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進し、子どもの基本的な生活習慣の形成を図る。	学校、家庭、地域、民間団体等の協力を得ながら、子どもの基本的な生活習慣の形成に重要な生活リズムの向上を目指すため、第四次稲城市食育推進計画に基づき「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進し、子どもの基本的な生活習慣の形成を図る。
34	1-1-(1)-④ 第三次稲城市子ども読書活動推進計画の推進	図書館課	読書は、言葉や感性を磨き、想像力を高め、創造力を豊かにします。学校、家庭・地域、図書館であらゆる機会とあらゆる場所において、主体的に読書を行い、生きぬく力を育むことができますよう、子どもの読書活動を支援し推進します。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の1年目にあたる。市内全図書館で、読書通帳を946冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、有料の販売分も含めると1078冊に至った。夏休み前には、小学1年生向けに「としよかん1ねんせいいっく」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙等を配布し、本に親しむ環境づくりを行った。10月4日の子ども読書イベント「アニメーション～読書が楽しくなる魔法～」には、講演会に19人、実演に21人が参加した。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の2年目にあたる。市内全図書館で、読書通帳を1,135冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、有料の販売分も含めると1277冊に至った。夏休み前には、小学1年生向けに「としよかん1ねんせいいっく」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙等を配布し、本に親しむ環境づくりを行った。令和3年度の子ども読書イベントは、「丸ごと稲城の昔ばなし～今年の秋は稲城をもっと好きになる～」と題し、10月27日～11月3日の間、城山体験学習館にて稲城の昔ばなし紙しばいの原画を展示、11月3日に城山公園交流広場にて紙しばいの読み聞かせを行うとともに、読み聞かせの様子のインターネット配信を行った。11月3日の紙しばい読み聞かせには、延べ109人にお越しいただいた。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の3年目にあたる。市内全図書館で、読書通帳を1,246冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、有料の販売分も含めると1386冊に至った。夏休み前には、小学1年生向けに「としよかん1ねんせいいっく」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙等を配布し、本に親しむ環境づくりを行った。令和4年度の子ども読書イベントは、「図書館らくごと」と題し、図書館司書の資格を持ち、全国の図書館や学校で「図書館寄席」等で活躍されている落語家の入船亭扇治師匠を講師に招き、小学生向けの入門落語、中学生以上向けの古典落語の実演と、関連本の紹介を内容とするイベントを実施し、延べ67人に参加いただいた。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の4年目にあたる。市内全図書館で、読書通帳を1,106冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、有料の販売分も含めると1235冊に至った。夏休み前には、小学1年生向けに「としよかん1ねんせいいっく」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙等を配布し、本に親しむ環境づくりを行った。※梱包用封筒には、稲城市立図書館50周年を記念し、井上ジェット氏に新規にデザインいただいた「本を読む稲城なしのすけ」のイラストを用いた。令和5年度の子ども読書イベントは、図書館ボランティア及び地域文庫運営者の協力を得て、「本の世界をだいぼうけん おはなしの宝島へGO!! 2023」と題して実施した。会場となる城山体験学習館及び城山公園交流広場をテーマパークに見立てて複数のブースを設け、人形劇・ペープサート・読み聞かせの実演を行った。来場者は延べ1,168人であった。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の5年目にあたる。市内全図書館で読書通帳の発行、小学校1年生向けの「としよかん1ねんせいいっく」の配布を通じて、本に親しむ環境づくりを継続する。令和6年度においては、読書週間にあわせ、「外で読もうデー」の開催を予定しており、児童への読み聞かせやこどもえいが会の上映を計画している。また、10月20日(日)に、恐竜をテーマとした子ども読書イベントを予定している。
35	1-1-(1)-⑤ 情報の提供	各課	広報、生涯学習だより「ひろば」、学校だより、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図ります。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、学校だより(市内小・中学校18校、月1回以上)、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図った。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、学校だより(市内小・中学校18校、月1回以上)、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図った。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、学校だより(市内小・中学校18校、月1回以上)、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図った。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、学校だより(市内小・中学校18校、月1回以上)、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図った。	左記の取組みに加えて、稲城市教育委員会広報誌「イメール」を年4回発行し、さらに教育に関する情報提供の充実を図る。
35	1-1-(1)-⑥ 教育相談事業	指導課	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施します。	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。○相談回数881回	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。○相談回数1,570回	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。○相談回数1,114回	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。中央教育相談室を2月末に閉室し、旧第四保育園の園舎を改装した発達支援センター分室に併設した教育相談室分室を開室に向けた準備を行った。○相談回数1,190回	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施する。ふれんど平尾教育相談室と大丸に令和6年度から開室した教育相談室分室との市内2か所で、週5日相談を開始する。
35	1-1-(1)-⑦ 子どもと家庭の総合相談	子ども家庭支援センター課	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施します。	令和2年度の新規相談件数(養護相談・障害相談・非行相談・育成相談等)418件を受理し、相談を継続している。	令和3年度の新規相談件数(養護相談・障害相談・非行相談・育成相談等)384件を受理し、相談を継続している。	令和4年度の新規相談件数(養護相談・障害相談・非行相談・育成相談等)355件を受理し、相談を継続している。	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施した。	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施します。
35	1-1-(1)-⑧ 要保護児童対策地域協議会	子ども家庭支援センター課	児童虐待の防止及び早期発見・早期対応のために、代表者会議では要保護児童対策の検討及び関係機関の連携を強化、実務者会議では要保護児童等の実態把握や支援を行っているケースの総合的な把握・進捗管理等について協議・検討、個別ケース検討会議では個別の案件について具体的な支援の内容を検討します。	代表者会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止、実務者会議は、児相との進捗管理会議を4回、特定妊婦部会を1回、個別ケース検討会議を32回行った。	代表者会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催、実務者会議は、児相との進捗管理会議を4回、特定妊婦部会を1回、個別ケース検討会議を25回行った。	代表者会議を7月に開催、実務者会議として児童相談所との進捗管理会議を4回、特定妊婦部会を3回、虐待予防検討会を10回、個別ケース検討会議を34回行った。	代表者会議を7月に開催、実務者会議として児童相談所との進捗管理会議を4回、特定妊婦部会を3回、虐待予防検討会を10回、個別ケース検討会議を34回行った。	児童虐待の防止及び早期発見・早期対応のために、代表者会議では要保護児童対策の検討及び関係機関の連携を強化、実務者会議では要保護児童等の実態把握や支援を行っているケースの総合的な把握・進捗管理等について協議・検討、個別ケース検討会議では個別の案件について具体的な支援の内容を検討します。
35	1-1-(1)-⑨ 子育てサポーター養成	おやこ包括支援センター課(旧:子ども家庭支援センター課)	子育てに関する知識や情報を身に付け、子育て支援ができる人材を養成し、ボランティア団体として児童館等で地域の親子と遊び、育児の相談や話し相手として活動を行います。活動を支援し、養成講座修了者に対して、賞の継続、向上をします。	・子育てサポーターを養成し、月に一度児童館で遊びを提供した。【養成講座 参加者数 6人】 ・子育てサポーターの質の継続・向上のために、スキルアップ講座を開催した。(1回/年)	子育てサポーターを養成し、月に一度、児童館での市民ボランティア活動で地域の親子を対象に遊び等を提供しながら子育て支援活動をさらに進めた。【子育てサポーター養成講座 全6回 参加者数 6人】 子育てサポーターの質の継続・向上のために、スキルアップ講座を開催した。【子育てサポータースキルアップ講座 1回/年 参加者8名】	子育てサポーターを養成し、月1回、児童館での市民ボランティア活動で地域の親子を対象に遊び等を提供しながら子育て支援活動をさらに進めた。【子育てサポーター養成講座 全6回 6～7月に実施】 子育てサポーターの質の継続・向上のために、スキルアップ講座を開催した。【子育てサポータースキルアップ講座 8月実施】	子育てサポーターを養成し、月1回各児童館での市民ボランティア活動で地域の親子を対象に遊びなどを提供しながら子育て支援活動をさらに進めた。【子育てサポーター養成講座 全6回 6～7月に実施】 子育てサポーターの質の向上のために、スキルアップ講座を開催した。【子育てサポータースキルアップ講座 8月実施】	子育てサポーターを養成し、月1回各児童館での市民ボランティア活動で地域の親子を対象に遊びなどを提供しながら子育て支援活動をさらに進めた。【子育てサポーター養成講座 全6回 5～7月に実施予定】 子育てサポーターの質の向上のために、スキルアップ講座を開催していく。【子育てサポータースキルアップ講座 8月実施予定】
35	1-1-(1)-⑩ 生涯学習宅配便講座	生涯学習課	子育てに関するテーマなど、10人以上のグループからの申請により、市職員や市民ボランティア講師を派遣し出前講座を実施します。	職員が講師として登壇する“職員講師編”44講座、市民が講師となる“市民ボランティア講師編”14講座、NPO等講師編8講座、官公庁等講師編1講座、企業講師編4講座の計67講座をメニューとして用意し、実施件数4件、参加者数61人であった。	職員が講師として登壇する“職員講師編”45講座、市民が講師となる“市民ボランティア講師編”13講座、NPO・企業等講師編8講座、官公庁等講師編1講座の計67講座をメニューとして用意した。また、講座を再編成し、NPO等講師編及び企業講師編を一つにまとめた。	職員が講師として登壇する“職員講師編”45講座、市民が講師となる“市民ボランティア講師編”15講座、NPO・企業等講師編14講座、官公庁等講師編2講座の計76講座をメニューとして用意し、19講座911人の受講があった。	職員が講師として登壇する“職員講師編”46講座、市民が講師となる“市民ボランティア講師編”9講座、NPO・企業等講師編16講座、官公庁等講師編1講座の計72講座をメニューとして用意し、27講座1,100人の受講があった。	事業の充実。新たに、「官民連携などを図り、講座メニューを充実する。引き続き、オンライン配信可能な講座の拡充を推進する。
35	1-1-(1)-⑪ 子育て講座・親子交流事業	おやこ包括支援センター課(旧:子ども家庭支援センター課)・児童青少年課・生涯学習課	公民館や児童館などを利用して、子育て講座や子育て中の親子同士が交流や情報交換を図る場の提供や機会づくりを推進します。	(子ども家庭支援センター課) (利用者支援事業の一環の『出張あそびの広場事業 はぐはぐ』) 月曜日～金曜日に市内各児童館等に子ども家庭支援センターの職員が出向き、遊びの提供等を実施した。 1本郷児童館 20日実施 延べ参加者数308人 2第二児童館 15日実施 延べ参加者数191人 3第三児童館 30日実施 延べ参加者数192人 4第四児童館 15日実施 延べ参加者数165人 5城山児童館 29日実施 延べ参加者数173人 6プラザ 18日実施 延べ参加者数180人 7大丸地区会館 9日実施 延べ参加者数120人 8地域振興プラザ 19日実施 延べ参加者230人 (児童青少年課) 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 1本郷児童館 6事業 延30回実施 延参加者数563人 2第二児童館 4事業 延72回実施 延参加者数1,154人 3第三児童館 11事業 延35回実施 延参加者数487人 4第四児童館 3事業 延22回実施 延参加者数366人 5城山児童館 8事業 延27回実施 延参加者数253人 (生涯学習課) 公民館事業として、3館で保育付講座を行い、1館で子育て応援講座、1館でインファントマッサージ教室を実施し、延べ420人(子ども358人)が参加した。	(子ども家庭支援センター課) 利用者支援事業の一環の『出張あそびの広場 はぐはぐ』を実施し、職員が児童館等に出向き、子育て中の親子同士が交流や情報交換ができる場の提供や育児見相談を受ける等、地域の子育て支援を積極的に進めた。 開催曜日は、月～金・市内の児童館等の施設で開催した。 1本郷児童館 29日実施 延べ参加者数605名 2第二児童館 23日実施 延べ参加者数374名 3第三児童館 33日実施 延べ参加者数454名 4第四児童館 35日実施 延べ参加者数528名 5城山児童館 28日実施 延べ参加者数142名 6プラザ 26日実施 延べ参加者数423名 7大丸地区会館 11日実施 延べ参加者数106名 8地域振興プラザ 6日実施 延べ参加者数238名 (児童青少年課) 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 1本郷児童館 4事業 延58回実施 延参加者数921人 2第二児童館 4事業 延96回実施 延参加者数1,514人 3第三児童館 11事業 延66回実施 延参加者数911人 4第四児童館 6事業 延47回実施 延参加者数551人 5城山児童館 12事業 延161回実施 延参加者数1,091人 (生涯学習課) 公民館事業として、以下の講座及び教室を実施した。 ・3館で保育付講座 ・1館で子育て応援講座 ・1館でインファントマッサージ教室 延べ329人(子ども261人)が参加した。	(子ども家庭支援センター課) 利用者支援事業の一環の『出張あそびの広場 はぐはぐ』を実施し、職員が出向き、子育て中の親子同士が交流や情報交換をできる場の提供など子育て支援を積極的に進めた。 市内の児童館等の8施設で240日開催。延べ4626人が利用。 (児童青少年課) 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 ①本郷児童館 5事業 延57回実施 延参加者数1,241人 ②第二児童館 4事業 延96回実施 延参加者数1,339人 ③第三児童館 5事業 延62回実施 延参加者数694人 ④第四児童館 11事業 延33回実施 延参加者数400人 ⑤城山児童館 13事業 延151回実施 延参加者数776人 (生涯学習課) 公民館事業として、以下の講座及び教室を実施した。 ・3館で保育付講座 ・1館で子育て応援講座 ・1館でインファントマッサージ教室 ・1館で親子で体験「えてがみ教室」 延べ223人(子ども197人)が参加した。	(おやこ包括支援センター課) 地域子育て支援拠点事業として『出張あそびの広場 はぐはぐ』を実施し、市内の各所で子育て中の親子同士が交流や情報交換をできる場の提供など子育て支援を積極的に進める。 市内の児童館等の8施設で243日開催。延べ4668人が利用。 (児童青少年課) 集計中 (生涯学習課) 公民館事業として、以下の講座及び教室を実施した。 ・3館で親子の教室 ・1館で子育て応援講座 ・1館でインファントマッサージ教室 ・1館で子育て応援講座 ・1館でインファントマッサージ教室 ・1館で親子で体験「えてがみ教室」 延べ6大人379人、子ども333人が参加した。	(おやこ包括支援センター課) 地域子育て支援拠点事業として『出張あそびの広場 はぐはぐ』を実施し、市内の各所で子育て中の親子同士が交流や情報交換をできる場の提供など子育て支援を積極的に進める。 開催曜日は、月～金・市内の児童館等の施設で開催予定。 第二文化センター児童館と同施設の生活文化施設と第三文化センター児童館は、月に1～2回午後とも開催する。 (児童青少年課) 各児童館にて、親子参加の児童館事業を実施する。子育て中の親子同士が各児童館の工夫された幼児事業に参加することで、情報共有を図り、学びの機会を提供する。 (生涯学習課) 子育て講座事業として「親と子の教室」及び「子育て応援講座」、親子ふれあい事業として「赤ちゃんとママ 赤ちゃんとパパ いっしょにたのしいミニ教室」及び「クイズとゲームで学ぶ お金のこと」等の講座を継続して実施する。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」・一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
36	1 家庭や地域における学びの推進と連携	＜2 幼児期からの教育の推進＞	（1）幼児教育の充実						
37	1-2-(1)-① 地域教育懇談会（再掲）	指導課	中学校ブロックごとに、学校、幼稚園、保育所、認定こども園、小・中学校地区PTA、幼稚園・保育所の保護者会、自治会関係者、青少年育成地区委員、民生・児童委員、青少年委員、人権擁護委員、社会教育委員、保護司・更正保護女性会関係者、PTA連合会、B、学校支援コンシェルジュ、公民館・児童館関係者など、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域行事や学校行事の縮小、全体発表会が書面開催となり、全体が集まることができなかったが、連絡会を通じて代表者で情報共有を行ってきた。令和4年度以降は、全体発表会を実施し、全体会の在り方を見直し、地域教育フォーラムの開催につなげている。	1 課題がある。	昭和60年の地域教育懇談会発足当初から、子ども達の抱える課題やPTAの役割、地域の協力体制などが変化している。 学校運営協議会が設置され、地域と学校との連携が推進されるなか、青少年育成地区委員会や地域教育懇談会等の子どもの健全育成に関する会合があり、出席者が同じ場合が多く、一部の出席者から会合の効率化を求められている。	1 継続	学校と地域の連携を推進するとともに、地域教育懇談会のあり方を整理するためにも、学校、地域、関係機関の方と協議する必要があるため
37	1-2-(1)-② 幼稚園・保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続	指導課・おやこ包括支援センター課（旧：子ども家庭支援センター課）	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流や情報交換や、スタートカリキュラムの実施などにより、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	（指導課） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼稚園・保育所・認定こども園との園児、児童の相互交流ができない時期があったが、交流を再開することで、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図ることができている。 （おやこ包括支援センター課） 幼稚園・保育所・認定こども園の職員と小学校職員が『乳幼児施設連絡会』で、各職員が保育園のアプローチカリキュラムや小学校のスタートカリキュラムの実践発表を行い、乳幼児施設と小学校間での情報交換を実施した。このことで、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続のポイントを学べることができ、円滑な接続にもつながった。	1 課題がある。	（指導課） 特段の課題は見受けられない。 （おやこ包括支援センター課） スタートカリキュラムとアプローチカリキュラムの接続する部分の『接続カリキュラム』について、乳幼児施設と小学校で更なる検討が必要。	1 継続	（おやこ包括支援センター課） 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流や情報交換や、スタートカリキュラムの実施などにより、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図ります。 （指導課） 引き続き、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流・情報交換や、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの実施などにより、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図る必要があるため
37	1-2-(1)-③ 子育て講座・親子交流事業（再掲）	おやこ包括支援センター課（旧：子ども家庭支援センター課）・児童青少年課・生涯学習課	公民館や児童館などを利用して、子育て講座や子育て中の親子同士が交流や情報交換を図る場の提供や機会づくりを推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	（おやこ包括支援センター課） 児童館などで『出張あそびの広場はぐはぐ』を祝日を除く月～金の9:30～11:50まで、毎日実施。 木曜日は、第2文化センター内児童館と同施設の生活文化施設や第3文化センター内児童館で9:30～14:40まで実施し、地域の子育て中の親子同士の交流につながった。 また、あそびの広場スタッフが利用者のニーズにそって、子育て支援情報の提供をした。特に保育園入所等については、申し込みの時期や施設見学を行う等の具体的な情報を提供できた。 （児童青少年課） 各児童館にて、親子参加の児童館事業を実施し、子育て中の親子同士が各児童館の工夫された幼児事業に参加することで、情報共有を図り、学びの機会を提供できた。 （生涯学習課） 公民館事業として、保育付講座、乳児や親子を対象とした講座を実施し、交流や情報交換を図る場としても活用していただけている。	2 課題がない。		1 継続	（おやこ包括支援センター課） 引き続き、子育て中の親子同士の交流や情報交換を図る場の提供や利用者のニーズにそった子育て情報を提供できるようにしていく。 （児童青少年課） 各児童館にて、親子参加の児童館事業を実施し、子育て中の親子同士が各児童館の工夫された幼児事業に参加することで、情報共有を図り、学びの機会を提供する。 （生涯学習課） 引き続き子育て講座や子育て中の親子同士が交流や情報交換を図る場の提供や機会づくりを推進する。
37	1-2-(1)-④ 私立幼稚園協会補助金	子育て支援課	幼児教育の振興と充実を図ることを目的に、私立幼稚園協会に対して、園長・教諭などの研修費、特別支援教育費などを補助します。	B 計画どおりに進んでいる。	事業概要のとおり補助を実施しているため	2 課題がない。		1 継続	定められた法令等に則り補助を実施する。
38	1 家庭や地域における学びの推進と連携	＜2 幼児期からの教育の推進＞	（2）幼児教育への支援						
38	1-2-(2)-① 幼児教育・保育の無償化	子育て支援課	幼稚園等に在籍する保護者の経済的負担の軽減を目的に、国制度に基づき、認定こども園・新制度幼稚園の保育料を無償化とし、新制度に移行していない幼稚園等利用者に対して、子育てのための施設等利用給付を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	事業概要のとおり給付実施しているため	2 課題がない。		1 継続	定められた法令等に則り補助を実施する。
38	1-2-(2)-② 私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金	子育て支援課	私立幼稚園等に在籍する幼児の経済的負担の軽減を目的に、国制度の幼児教育・保育の無償化に加えて、保育料等の一部を補助します。	B 計画どおりに進んでいる。	事業概要のとおり補助を実施しているため	2 課題がない。		1 継続	定められた法令等に則り補助を実施する。
38	1-2-(2)-③ 子どもと家庭の総合相談（再掲）	子ども家庭支援センター課	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施する。	2 課題がない。		1 継続	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施する必要がある。
38	1-2-(2)-④ 幼児期読書支援事業	図書館課	絵本の読み聞かせ、おはなし会などの事業を通して本の楽しさを知る機会を作ります。	B 計画どおりに進んでいる。	コロナ禍においても、感染拡大防止対策（人数制限・マスク着用・消毒・ウェブコンテンツの活用）を行いながら、絵本の読み聞かせ、おはなし会をはじめとした本の楽しさを知る機会を子育て世代や子どもたちに提供することができている。	2 課題がない。		1 継続	現行の事業を着実に継続することが適当である。
39	1 家庭や地域における学びの推進と連携	＜3 地域力を高め活かす教育の推進＞	（1）仕事と生活の調和による市民の教育参加の推進						
39	1-3-(1)-① 「仕事と生活の調和」の啓発	市民協働課・生涯学習課	講座やパンフレットなどを通して、職場・家庭・地域に対し、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についての周知を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	（市民協働課） 講座の開催の際は日程や時間帯などを考慮して開催した。また、事業に参加しやすいように託児付きで実施できた。 （生涯学習課） 職場・家庭・地域に対し、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について学ぶ講座を設け、周知を図っている。	1 課題がある。	（市民協働課） セミナーやパンフレット等を受け取っても参加したり知ろうと行動に移したりする意欲が湧かないパターンが存在するため、より行動に移したくなるような周知方法・啓発の工夫が必要だと考えられる。 （生涯学習課） 特段の課題は無い。	1 継続	（市民協働課） 引き続き「男女平等いなぎプラン 関係各課取組み状況調べ」やセミナー等において、庁内・地域共にワーク・ライフ・バランスについて周知していく。 （生涯学習課） 引き続き、講座やパンフレットなどを通じて、職場・家庭・地域に対し、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についての周知を図る。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
36	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <2 幼児期からの教育の推進> (1)幼児教育の充実							
37	1-2-(1)-① 地域教育懇談会(再掲)	指導課	中学校ブロックごとに、学校、幼稚園、保育所、認定こども園、小・中学校PTA、幼稚園・保育所の保護者会、自治会関係者、青少年育成地区委員、民生・児童委員、青少年委員、人権擁護委員、社会教育委員、保護司・更正保護女性会関係者、PTA連合会OB、学校支援コンシェルジュ、公民館・児童館関係者など、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を実施します。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、新型コロナウイルス感染症の影響により、全体発表会は紙面発表とし、ブロック連絡会を3回実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、ブロック連絡会を3回、全体発表会を実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、ブロック連絡会を3回、全体発表会を実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、ブロック連絡会を3回、全体発表会を実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による情報共有の場として、学校支援コンシェルジュと合同連絡会を開催する。子どもたちに関わる団体・組織が一層に会し、取組や実践の成果、課題を共有するとともに、子どもたちの発達・成長を支えるための有効な方策について共に考える機会として、地域教育フォーラムを開催する。
37	1-2-(1)-② 幼稚園・保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続	指導課・おやこ包括支援センター課(旧：子ども家庭支援センター課)	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流や情報交換や、スタートカリキュラムの実施などにより、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図ります。	(指導課) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼稚園・保育所・認定こども園との園児、児童の相互交流はできなかったが、就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図った。 (子ども家庭支援センター課) 年1回、市内乳幼児施設連絡会で市立小学校教職員と乳幼児施設職員とグループ討議をしながら、情報交換をする予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、資料をメールで添付した。	(指導課) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼稚園・保育所・認定こども園との園児、児童の相互交流はできなかったが、就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図った。 (子ども家庭支援センター課) 市内乳幼児施設連絡会を11月に開催。市立小学校教職員と乳幼児施設職員がグループ討議をしながら、幼児期の教育、保育から小学校教育への円滑な接続を図れるよう情報交換等を実施し、共有感が得られた。 【 参加者数 小学校教員 12名 ・ 乳幼児施設職員 24名 】	(指導課) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼稚園・保育所・認定こども園との園児、児童の相互交流はできなかったが、就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図った。 (子ども家庭支援センター課) 市内乳幼児施設連絡会を9月に開催。市立小学校教職員と乳幼児施設職員が「小学校との交流」についてをテーマにグループ討議をしながら、幼児期の教育、保育から小学校教育への円滑な接続を図れるよう情報交換等を実施。(テーマ)幼・保・小接続における交流活動の充実に向けて]	(指導課) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼稚園・保育所・認定こども園との園児、児童の相互交流はできなかったが、就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図った。 (おやこ包括支援センター課) 市内乳幼児施設連絡会を9月に開催。スタートカリキュラムやアプローチャリキュラムの実践報告を受け、市立小学校教職員と乳幼児施設職員が、『就学に向けてのポイント ～1年生の姿と乳幼児施設の役割～』のテーマでグループ討議をし、幼児期の教育、保育から小学校教育への円滑な接続を図れるよう情報交換等を実施。	(指導課) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼稚園・保育所・認定こども園との園児、児童の相互交流はできなかったが、就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図る。
37	1-2-(1)-③ 子育て講座・親子交流事業(再掲)	おやこ包括支援センター課(旧：子ども家庭支援センター課)・児童青少年課・生涯学習課	公民館や児童館などを利用して、子育て講座や子育て中の親子同士が交流や情報交換を図る場の提供や機会づくりを推進します。	(子ども家庭支援センター課) (利用者支援事業の一環の『出張あそびの広場事業 はぐはぐ』) 月曜日～金曜日に市内各児童館等に子ども家庭支援センターの職員が向かい、遊びの提供等を実施した。 1本郷児童館 20日実施 延べ参加者数308人 2第二児童館 15日実施 延べ参加者数191人 3第三児童館 30日実施 延べ参加者数192人 4第四児童館 15日実施 延べ参加者数165人 5城山児童館 29日実施 延べ参加者数173人 6プラザ 18日実施 延べ参加者数180人 7大丸地区会館 9日実施 延べ参加者数 120人 8地域振興プラザ 19日実施 延べ参加者230人 (児童青少年課) 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 1本郷児童館 6事業 延30回実施 延参加者数563人 2第二児童館 4事業 延72回実施 延参加者数1,154人 3第三児童館 11事業 延35回実施 延参加者数487人 4第四児童館 3事業 延22回実施 延参加者数366人 5城山児童館 8事業 延27回実施 延参加者数253人 (生涯学習課) 公民館事業として、3館で保育付講座を行い、1館で子育て応援講座、1館でインファントマッサージ教室を実施し、延べ420人(子ども358人)が参加した。	(子ども家庭支援センター課) (利用者支援事業の一環の『出張あそびの広場 はぐはぐ』を実施し、職員が児童館等に向かい、子育て中の親子同士の交流や情報交換ができる場の提供や育児見相談を受ける等、地域の子育て支援を積極的に進めた。 開催曜日は、月～金・市内の児童館等の施設で開催した。 1本郷児童館 29日実施 延べ参加者数605名 2第二児童館 23日実施 延べ参加者数374名 3第三児童館 33日実施 延べ参加者数454名 4第四児童館 35日実施 延べ参加者数528名 5城山児童館 28日実施 延べ参加者数142名 6プラザ 26日実施 延べ参加者数423名 7大丸地区会館 11日実施 延べ参加者数106名 8地域振興プラザ 65日実施 延べ参加者数236名 (児童青少年課) 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 1本郷児童館 4事業 延58回実施 延参加者数921人 2第二児童館 4事業 延96回実施 延参加者数1,514人 3第三児童館 11事業 延66回実施 延参加者数911人 4第四児童館 6事業 延47回実施 延参加者数551人 5城山児童館 12事業 延161回実施 延参加者数1,091人 (生涯学習課) 公民館事業として、以下の講座及び教室を実施した。 ・3館で保育付講座 ・1館で子育て応援講座 ・1館でインファントマッサージ教室 延べ329人(子ども261人)が参加した。	(子ども家庭支援センター課) (利用者支援事業の一環の『出張あそびの広場 はぐはぐ』を実施し、職員が向かい、子育て中の親子同士が交流や情報交換をできる場の提供など子育て支援を積極的に進めた。市内の児童館等の8施設で240日開催。延べ4626人が利用。 (児童青少年課) 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 ①本郷児童館 5事業 延57回実施 延参加者数1,241人 ②第二児童館 4事業 延96回実施 延参加者数1,339人 ③第三児童館 11事業 延62回実施 延参加者数694人 ④第四児童館 5事業 延33回実施 延参加者数400人 ⑤城山児童館 13事業 延151回実施 延参加者数776人 (生涯学習課) 公民館事業として、以下の講座及び教室を実施した。 ・3館で保育付講座 ・1館で子育て応援講座 ・1館でインファントマッサージ教室 ・1館で親子で体験「えてがみ教室」 延べ223人(子ども197人)が参加した。	(おやこ包括支援センター課) 地域子育て支援拠点事業として『出張あそびの広場 はぐはぐ』を実施し、市内の各所で子育て中の親子同士が交流や情報交換をできる場の提供など子育て支援を積極的に進めた。市内の児童館等の8施設で243日開催。延べ4668人が利用。 (児童青少年課) 集計中 (生涯学習課) 公民館事業として、以下の講座及び教室を実施した。 ・3館で親と子の教室 ・1館で子育て応援講座 ・1館でインファントマッサージ教室、赤ちゃんといっしょのミニ教室、伊藤博士のおはなし第2弾「動物のホネからわかること」 延べ大人379人、子ども333人が参加した。	(おやこ包括家庭支援センター課) 地域子育て支援拠点事業として『出張あそびの広場 はぐはぐ』を実施し、市内の各所で子育て中の親子同士が交流や情報交換をできる場の提供など子育て支援を実施する。子育て中の親子同士が各児童館の工夫された幼児事業に参加することで、情報共有を図り、学びの機会を提供する。 (生涯学習課) 子育て講座事業として「親と子の教室」及び「子育て応援講座」、親子ふれあい事業として「赤ちゃんママ 赤ちゃんといっしょにたのしいミニ教室」及び「クイズとゲームで学ぶ お金のこと」等の講座を継続して実施する。
37	1-2-(1)-④ 私立幼稚園協会補助金	子育て支援課	幼児教育の振興と充実を図ることを目的に、私立幼稚園協会に対して、園長・教諭などの研修費、特別支援教育費などを補助します。	市内私立幼稚園7園及び幼保連携型認定こども園1園の幼児教育の振興と充実のために、研修費、特別支援教育費等を補助した。	市内私立幼稚園7園及び幼保連携型認定こども園1園の幼児教育の振興と充実のために、研修費、特別支援教育費等を補助した。	市内私立幼稚園7園及び幼保連携型認定こども園1園の幼児教育の振興と充実のために、研修費、特別支援教育費等を補助した。	市内私立幼稚園7園及び幼保連携型認定こども園1園の幼児教育の振興と充実のために、研修費、特別支援教育費等を補助した。	継続して実施する予定。
38	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <2 幼児期からの教育の推進> (2)幼児教育への支援							
38	1-2-(2)-① 幼児教育・保育の無償化	子育て支援課	幼稚園等に在籍する保護者の経済的負担の軽減を目的に、国制度に基づき、認定こども園・新制度幼稚園の保育料を無償化とし、新制度に移行していない幼稚園等利用者に対して、子育てのための施設等利用給付(現行制度幼稚園利用者については月額上限25,700円)を行っている。	認定こども園・新制度幼稚園の保育料を無償化とし、新制度に移行していない現行制度幼稚園等利用者に対して、子育てのための施設等利用給付(現行制度幼稚園利用者については月額上限25,700円)を行った。	認定こども園・新制度幼稚園の保育料を無償化とし、新制度に移行していない現行制度幼稚園等利用者に対して、子育てのための施設等利用給付(現行制度幼稚園利用者については月額上限25,700円)を行った。	認定こども園・新制度幼稚園の保育料を無償化とし、新制度に移行していない現行制度幼稚園等利用者に対して、子育てのための施設等利用給付(現行制度幼稚園利用者については月額上限25,700円)を行った。	幼稚園等に在籍する保護者の経済的負担の軽減を目的に、国制度に基づき、認定こども園・新制度幼稚園の保育料を無償化とし、新制度に移行していない幼稚園等利用者に対して、子育てのための施設等利用給付を行います。	継続して実施する予定。
38	1-2-(2)-② 私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金	子育て支援課	私立幼稚園等に在籍する幼児の経済的負担の軽減を目的に、国制度の幼児教育・保育の無償化に加えて、保育料等の一部を補助します。	私立幼稚園に在籍する幼児の経済的負担の軽減を目的に、国制度の子育てのための施設等利用給付に加えて、私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金(月額上限は所得により1,800円～6,200円)を交付した(なお、新規入園者については入園準備金として年間1万円を加算。)	私立幼稚園に在籍する幼児の経済的負担の軽減を目的に、国制度の子育てのための施設等利用給付に加えて、私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金(月額上限は所得により1,800円～6,200円)を交付した(なお、新規入園者については入園準備金として年間1万円を加算。)	私立幼稚園に在籍する幼児の経済的負担の軽減を目的に、国制度の子育てのための施設等利用給付に加えて、私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金(月額上限は所得により1,800円～6,200円)を交付した(なお、新規入園者については入園準備金として年間1万円を加算。)	私立幼稚園等に在籍する幼児の経済的負担の軽減を目的に、国制度の幼児教育・保育の無償化に加えて、保育料等の一部を補助します。	継続して実施する予定。
38	1-2-(2)-③ 子どもと家庭の総合相談(再掲)	子ども家庭支援センター課	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施します。	令和2年度の新規相談件数(養護相談・障害相談・非行相談・育成相談等)418件を受理し、相談を継続している。	令和3年度の新規相談件数(養護相談・障害相談・非行相談・育成相談等)384件を受理し、相談を継続している。	令和4年度の新規相談件数(養護相談・障害相談・非行相談・育成相談等)355件を受理し、相談を継続している。	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施した。	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施する。
38	1-2-(2)-④ 幼児期読書支援事業	図書館課	絵本の読み聞かせ、おはなし会などの事業を通して本の楽しさを知る機会を作ります。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度を通じて全館で読み聞かせ事業を中止した。読み聞かせ事業の代替として、全館で「おうちでおはなし会セット」や「図書館福袋」を作成し、利用者へ貸し出した。保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、対象者714人のうち707人に絵本をはじめとする赤ちゃんバックをプレゼントした。	令和3年10月から、参加人数を制限し、完全予約制としたうえで各館での読み聞かせ事業を再開した。読み聞かせ事業の代替として、全館で「ひよこ印おうちでおはなし会セット」や「図書館福袋」を作成し、利用者へ貸し出した。また、保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、対象者648人のうち646人に絵本をはじめとする赤ちゃんバックをプレゼントした。	令和4年度途中から各館での読み聞かせ事業を再開し、多数の参加を得た。「おひざにだっこのおはなし会」を256回開催し、2,111人、「えほんのじかん」を151回開催し、1373人の参加があった。その他「おはなしの会」「アニマシオン」「おはなし会」等も再開した。また、保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、対象者669人のうち667人に絵本をはじめとする赤ちゃんバックをプレゼントした。	令和5年度における読み聞かせイベントの開催数及び参加者数は、以下のとおりであった。 「おひざにだっこのおはなし会」：316回開催、延べ3,281人参加 「えほんのじかん」：174回開催、延べ1,958人参加 (その他「おはなしの会」「アニマシオン」「おはなし会」等も実施)。また、保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、対象者659人のうち651人に絵本をはじめとする赤ちゃんバックをプレゼントした。	各館における絵本の読み聞かせ、おはなし会を実施する。また、保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、絵本を通じて赤ちゃんとその家族がふれあいの時間を持つことを応援する。
39	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <3 地域力を高め活かす教育の推進> (1)仕事と生活の調和による市民の教育参加の推進							
39	1-3-(1)-① 「仕事と生活の調和」の啓発	市民協働課・生涯学習課	講座やハンフレットなどを通じて、職場・家庭・地域に対し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についての周知を図ります。	(市民協働課) ○セミナーでは性別に関わらず、皆で家事に参加することの大切さを伝えた。ワーク・ライフ・バランスへの相乗効果にも期待できるよう情報提供した。 ○男女平等に関する情報誌「それいゆ」にて、「はじめてみよう 私のワーク・ライフ・バランス」の特集記事を掲載し、情報提供に努めた。 ○セミナー等開催の際は、広く参加してもらえよう曜日や時間帯に配慮し、託児付で実施した。 (生涯学習課) 「親と子の教室」の中で、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行った。	(市民協働課) ○「男女平等推進いなぎプラン関係各課、取り組み状況調べ」の中でワーク・ライフ・バランスに関する質問を入れ、全庁的に実施することで意識の向上を図った。 ○セミナー等開催の際は、仕事や子育てをしている方にも参加しやすいように託児付きセミナーで実施した。 (生涯学習課) 「親と子の教室」の中で、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行った。	(市民協働課) ○「男女平等推進いなぎプラン関係各課、取り組み状況調べ」の中でワーク・ライフ・バランスに関する質問を入れ、全庁的に実施することで意識の向上を図った。 ○セミナー等開催の際は、仕事や子育てをしている方にも参加しやすいように託児付きセミナーを実施した。 (生涯学習課) 「親と子の教室」の中で、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行った。	(市民協働課) ○「男女平等推進いなぎプラン関係各課取り組み状況調べ」の中でワーク・ライフ・バランスについての周知を図る。 (生涯学習課) 「親と子の教室」の中で、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行う。	(市民協働課) ○セミナーやハンフレットなどを通じて、職場・家庭・地域に対し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についての周知を図る。 (生涯学習課) 「親と子の教室」の中で、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行った。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
40	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <3 地域力を高め活かす教育の推進> (2)地域人材と連携した教育の推進								
40	1-3-(2)-① 人材バンクの整備	市民協働課・生涯学習課	市民の学習成果や特技などを活かした自己表現の機会や各種行政委員会・審議会委員として活用できる人材バンクについて、活用の促進に向けた周知を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	(市民協働課) 広報・HP等にて人材バンクへの登録者を募集し、1名登録することができた。 (生涯学習課) 人材バンク登録者について、生涯学習宅配便講座講師やいなぎICカレッジ講師として可能な限り活用できている。	1 課題がある。	(市民協働課) 課題の内容・登用率の向上 解決方法・引き続き庁内への周知を継続し、積極的な制度利用を呼び掛けていく。 (生涯学習課) 特段の課題は見受けられない。	1 継続	(市民協働課) 引き続き広報やHP等にて人材バンクへの登録者募集を周知していく。 (生涯学習課) 人材バンク登録者について、生涯学習宅配便講座講師やいなぎICカレッジ講師として可能な限り活用する。
40	1-3-(2)-② サポーターの育成	生涯学習課	自分の技能や経験を活かしたい人、学びたい人をつなぐサポーターの役割を担う人材の育成を支援します。	B 計画どおりに進んでいる。	シニアサポーター、子ども若者サポーターの役割を担う人材を活用、育成を図っている。	2 課題がない。		1 継続	自分の技能や経験を活かしたい人、学びたい人をつなぐサポーターの役割を担う人材の育成を支援する。
40	1-3-(2)-③ 市民講師システムの整備	生涯学習課	市民の学習成果を活かし、市民同士の「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備します。	B 計画どおりに進んでいる。	人材バンク登録者やいなぎICカレッジ講師希望の市民講師を積極的に活用している。	2 課題がない。		1 継続	人材バンク登録者やいなぎICカレッジ講師希望の市民講師を積極的に活用している。いなぎICカレッジ講師等に市民講師を活用する。
40	1-3-(2)-④ 地域の教材を活用した教育の推進	指導課	地域の人材、自然、伝統など恵まれた教育環境を地域の教材として活用します。地域との交流・地域特性を活かした学習の場・機会の設定を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域との交流事業は縮小となったが、文化財等の地域教材を活用することができている。	2 課題がない。		1 継続	地域の人材や文化財等の教材を活用した教育を推進する必要があるため。
41	1-3-(2)-⑤ 地域と共にある学校づくり推進事業	指導課	中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」を配置し、学校支援ボランティアの円滑な推進を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」を配置し、コロナ禍においても、学校支援ボランティアの円滑な推進を図ることができた。	1 課題がある。	学校運営協議会が設置されたことにより、学校支援コンシェルジュは、教育支援活動だけでなく、社会教育法に基づく「地域学校協働活動推進員」として、地域住民への情報提供や助言などにも取り組む役割として委嘱を検討する必要がある。	2 内容を変更して継続	地域と共にある学校づくり推進事業から、「地域学校協働活動事業」として位置づけ、学校運営協議会とともに地域と学校の連携・協働を一体的に推進していく必要があるため。
41	1-3-(2)-⑥ 地域教育懇談会(再掲)	指導課	中学校ブロックごとに、学校、幼稚園、保育所、認定こども園、小・中学校PTA、幼稚園・保育所の保護者会、自治会関係者、青少年育成地区委員、民生・児童委員、青少年委員、人権擁護委員、社会教育委員、保護司・更正保護女性会関係者、PTA連合会OB、学校支援コンシェルジュ、公民館・児童館関係者など、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域行事や学校行事の縮小、全体発表会が書面開催となり、全体が集まることができなかったが、連絡会を通じて代表者で情報共有を行ってきた。令和4年度以降は、全体発表会を実施し、全体会の在り方を見直し、地域教育フォーラムの開催につなげている。	1 課題がある。	昭和60年の地域教育懇談会発足当初から、子ども達の抱える課題やPTAの役割、地域の協力体制などが変化している。 学校運営協議会が設置され、地域と学校との連携が推進されるなか、青少年育成地区委員会や地域教育懇談会等の子どもの健全育成に関する会合があり、出席者が同じ場合が多く、一部の出席者から会合の効率化を求められている。	1 継続	学校と地域の連携を推進するとともに、地域教育懇談会のあり方を整理するためにも、学校、地域、関係機関の方と協議する必要があるため。
41	1-3-(2)-⑦ 学校運営協議会(旧:学校運営連絡協議会)	指導課	地域に根ざした学校運営のため協議会を設置し、定期的な意見交換、協議を行い、地域に開かれた学校を目指します。	B 計画どおりに進んでいる。	これまで、学校運営連絡協議会を設置し、学校と地域団体との連絡会を実施していたが、令和4年度から全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する場へ移行することができた。	2 課題がない。		1 継続	全校に設置した学校運営協議会において、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議し、学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを推進する必要があるため。
41	1-3-(2)-⑧ 防災学習の充実	指導課	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、共に助け合う防災学習の充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、共に助け合う防災学習の充実を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	防災学習の充実を図る必要があるため。
41	1-3-(2)-⑨ 地域の読書環境の推進	図書館課	地域文庫では、本の貸し出し・読み聞かせの会・読書会などにより、地域の子ども・保護者へ本を紹介するとともに、「本はともだち いなぎの子」読書イベントに参加します。 また、図書館職員を講師とした新刊絵本を読み合う「子どもの本の会」を主催し、一般に公開します。 これらの活動を通じて、子どもたちにおはなしの楽しさを伝える文庫活動をPRし、文庫活動の交流を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	図書館から地域文庫に対する支援活動を適宜行うことができている。	2 課題がない。		1 継続	現行の事業を着実に継続することが適当である。
42	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <3 地域力を高め活かす教育の推進> (3)青少年の健全育成								
42	1-3-(3)-① 稲城ふれあいの森事業	児童青少年課	自然体験により、青少年の健全育成を図るため、安全で利用しやすい施設の管理・運営を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	市内小学校・地区委員会等が利用し、事業目的を果たしていると考えられるため。	2 課題がない。		1 継続	稲城ふれあいの森運営委員会を中心に施設の管理運営、整備を実施していく。
42	1-3-(3)-② 青少年指導者養成事業	児童青少年課	地域や社会で活躍できる人材を育てるため、ジュニアワーカーセミナー、青年ワーカーセミナーの内容を充実していきます。	B 計画どおりに進んでいる。	予定していたセミナーを全て遂行できたため。	2 課題がない。		1 継続	継続参加者、新規参加者が約半数ずつとなり、継続して事業を行いリーダーを増やしていく。
42	1-3-(3)-③ 二十歳の式典(旧:成人式事業)	生涯学習課	新成人による「成人式実行委員会」を組織し、新成人の意見を聞きながら、式典を企画・運営します。	A 計画した以上の成果が出ている。	新型コロナウイルスの影響で縮小傾向になっていた式典については、会場での抽選会を再開するなど、実行委員が主体的に企画し、運営している。	2 課題がない。		1 継続	二十歳の対象者による「二十歳の式典実行委員会」を組織し、実行委員の意見を活かした式典を企画・運営する。
42	1-3-(3)-④ 青少年育成地区委員会への補助	児童青少年課	自然体験や伝統文化(塞の神・お祭り)など、地域での青少年健全育成活動を支援するため補助を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルスの影響も終息し、各地区のイベントが少しずつ再開されているため。	2 課題がない。		1 継続	地域交流を活性化させるため、区内での事業を引き続き開催していく。
42	1-3-(3)-⑤ 青少年芸術文化活動補助事業	生涯学習課	青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行っている。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくために補助を行う。
42	1-3-(3)-⑥ 青少年問題協議会	児童青少年課	青少年の健全育成に関わる機関・団体の活動を効果的に進めるための協議や、青少年健全育成の課題について情報交換などを行います。	B 計画どおりに進んでいる。	年2回の協議会を予定したうち、2回開催されたため。各分野・所属している方々から、青少年について有意義な意見交換・情報共有がなされた。	2 課題がない。		1 継続	引き続き稲城市の青少年に関し意見交換を行い、情報を共有していく。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
40	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <3 地域力を高め活かす教育の推進> (2)地域人材と連携した教育の推進							
40	1-3-(2)-① 人材バンクの整備	市民協働課・生涯学習課	市民の学習成果や特技などを活かした自己表現の機会や各種行政委員会・審議会委員として活用できる人材バンクについて、活用の促進に向けた周知を行います。	〔市民協働課〕 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が1件、登録抹消が2件あり、合計で71名(令和3年3月31日現在)の登録となった。 〔生涯学習課〕 令和2年度では、32部門に延べ139名の登録があり、生涯学習宅配便講座(後述)やいなぎICカレッジ講師として、18名を活用した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市民グループ等への紹介はなかった。	〔市民協働課〕 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が1件、登録抹消が2件あり、合計で70名(令和4年3月31日現在)の登録となった。 〔生涯学習課〕 32部門に延べ146名の登録があった。特に新登録者を生涯学習宅配便講座やいなぎICカレッジ講師として積極的に活用した。	〔市民協働課〕 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が4件、登録抹消が4件あり、合計で70名(令和5年3月31日現在)の登録となった。 〔生涯学習課〕 32部門に延べ144名の登録があった。登録者を生涯学習宅配便講座やいなぎICカレッジ講師として積極的に活用している。	〔市民協働課〕 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が1件、登録抹消が1件あり、合計で70名(令和6年3月31日現在)の登録となり、1名登用することができた。 〔生涯学習課〕 32部門に延べ83名(登録者情報の刷新70人減、新規登録9人増)の登録があった。人材バンク登録者については、生涯学習宅配便講座講師やいなぎICカレッジ講師として可能な限り活用できている。	〔市民協働課〕 引き続き、広報・HP等で周知を行い、各種行政委員会・審議会委員として活用できる人材バンクを整備する。 〔生涯学習課〕 人材バンク登録者について、登録者情報の刷新、登録者の活用拡大に向けたPR(動画・オンラインなど)の取り組みを推進する。
40	1-3-(2)-② サポーターの育成	生涯学習課	自分の技能や経験を活かしたい人、学びたい人をつなぐサポーターの役割を担う人材の育成を支援します。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」事業には、新規登録者が5人あった。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」新規登録者を、生涯学習宅配便講座講師につなげた。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」事業には、新規登録者がなかった。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」事業に、新規9人の登録があった。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」新規登録者を、生涯学習宅配便講座講師などにつなげる。
40	1-3-(2)-③ 市民講師システムの整備	生涯学習課	市民の学習成果を活かし、市民同士の「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備します。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」においては、市民講師による市民のための講座を実施しており、令和2年度は47講座529人が年間を通じて学習活動を行った。新たな取り組みとして、市民講師等を活用し、短期間・少人数で実施する「特別講座」を企画し、28講座271人が受講した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて継続実施した。令和2年度から新たな取り組みとして28講座開催した短期間・少人数の「特別講座」を継続し、48講座を実施した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて継続実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響対策で企画実施した「短期間・少人数で企画する特別講座」については、16講座実施し、126人が受講した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて継続実施した。新型コロナウイルスの影響が縮小し、市民講師が55講座759回登壇し、延べ9,618人が受講した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて実施。また、市民講師を生生涯学習宅配便講座の講師として、市民講師による「まなびあい」システムの運用を図る。
40	1-3-(2)-④ 地域の教材を活用した教育の推進	指導課	地域の人材、自然、伝統など恵まれた教育環境を地域の教材として活用します。地域との交流・地域特性を活かした学習の場・機会の設定を推進します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域との交流事業は縮小となったが、郷土資料室、穴澤天神社など、小学校を中心に学習教材として活用した。また、音楽科の授業においては、奉曲の大師範に指導をいただいた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域との交流事業は縮小となったが、郷土資料室、穴澤天神社など、小学校を中心に学習教材として活用した。また、音楽科の授業においては、奉曲の大師範に指導をいただいた。	郷土資料室、穴澤天神社など、小学校を中心に学習教材として活用した。地域の人材・自然を活用し、稲作や梨の育成についての学習の機会を設定した。また、音楽科の授業においては、奉曲の大師範に指導をいただいた。	郷土資料室、穴澤天神社など、小学校を中心に学習教材として活用した。地域の人材・自然を活用し、稲作や梨の育成についての学習の機会を設定した。また、音楽科の授業においては、奉曲の大師範に指導をいただいた。	地域の人材、自然、伝統など恵まれた教育環境を地域の教材として活用する。地域との交流・地域特性を活かした学習の場・機会の設定を推進する。
41	1-3-(2)-⑤ 地域と共にある学校づくり推進事業	指導課	中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」を配置し、学校支援ボランティアの円滑な推進を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」により、学校支援ボランティアの推進を図った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」により、学校支援ボランティアの推進を図った。	中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」により、地域と共にある学校づくりの推進を図った。令和4年4月に全小中学校に学校運営協議会を設置し、さらなる推進を図った。	中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」により、地域と共にある学校づくりの推進を図った。学校支援コンシェルジュ連絡会を開催し情報共有をした。	全小中学校に設置された学校運営協議会や、中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」を通して、地域と共にある学校づくりの推進を図る。地域教育懇談会の運営委員の連絡会と合同で学校支援コンシェルジュの連絡会を開催する。地域教育懇談会事業と合わせて地域教育フォーラムを開催する。
41	1-3-(2)-⑥ 地域教育懇談会(再掲)	指導課	中学校ブロックごとに、学校、幼稚園、保育所、認定こども園、小・中学校PTA、幼稚園・保育所の保護者会、自治会関係者、青少年育成地区委員、民生・児童委員、青少年委員、人権擁護委員、社会教育委員、保護司・更正保護女性会関係者、PTA連合会OB、学校支援コンシェルジュ、公民館・児童館関係者など、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を実施します。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、新型コロナウイルス感染症の影響により、全体発表会は紙面発表とし、ブロック連絡会を3回実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、新型コロナウイルス感染症の影響により、全体発表会は紙面発表とし、ブロック連絡会を3回実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、ブロック連絡会を3回、全体発表会を実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、ブロック連絡会を3回、全体発表会を実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による情報共有の場として、学校支援コンシェルジュと合同連絡会を開催する。子どもたちに関わる団体・組織が一堂に会し、取組や実践の成果、課題を共有するとともに、子どもたちの発達・成長を支えるための有効な方策について共に考える機会として、地域教育フォーラムを開催する。
41	1-3-(2)-⑦ 学校運営協議会(旧:学校運営連絡協議会)	指導課	地域に根ざした学校運営のための協議会を設置し、定期的な意見交換、協議を行い、地域に関われた学校を目指します。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得るよう努めた。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得るよう努めた。	令和4年度から全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、場へ移行した。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに努めた。	全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する場へ移行した。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに努めた。学校運営協議会会長連絡会を開催し、情報共有を図った。	全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに推進する。学校運営協議会会長連絡会を開催し、情報共有を図る。
41	1-3-(2)-⑧ 防災学習の充実	指導課	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、共に助け合う防災学習の充実を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、学校、地域が連携し、防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図った。	学校、地域が連携し、防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図った。	学校、地域が連携し、防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図った。	学校、地域が連携し、防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図った。	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、共に助け合う防災学習の充実を図る。
41	1-3-(2)-⑨ 地域の読書環境の推進	図書館課	地域文庫では、本の貸し出し・読み聞かせの会・読書会などにより、地域の子ども・保護者へ本を紹介するとともに、「本はともだち いなぎの子」読書イベントに参加します。 また、図書館職員を講師とした新刊絵本を読み合う「子どもの本の会」を主催し、一般に公開します。 これらの活動を通じて、子どもたちにおはなしの楽しさを伝える文庫活動をPRし、文庫活動の交流を推進します。	新刊絵本を読む「子どもの本の会」を年間9回開催し、42人が参加した。	新刊絵本を読む「子どもの本の会」を年間7回開催し、27人が参加した。	新刊絵本を紹介する「子どもの本の会」が年間11回開催され、図書館司書を派遣し、参加人数延べ56人に絵本の紹介を行った。	新刊絵本を紹介する「子どもの本の会」が年間11回開催され、図書館司書を派遣し、参加人数延べ57人に絵本の紹介を行った。	地域文庫がそれぞれの地域で読書活動を行う他、月1回開催される新刊絵本を読む「子どもの本の会」へ図書館司書を派遣し、絵本の紹介を行う。
42	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <3 地域力を高め活かす教育の推進> (3)青少年の健全育成							
42	1-3-(3)-① 稲城ふれあいの森事業	児童青少年課	自然体験により、青少年の健全育成を図るため、安全で利用しやすい施設の管理・運営を行います。	稲城ふれあいの森運営委員会を中心に施設の管理運営、整備を実施した。 (利用状況) 新型コロナウイルス感染症の影響により一般開放の中止などもあり年間利用者は1,181人となった。 (主な整備・補修内容) 森林環境譲与税を活用した施設整備により、南外周路に階段や手すりの整備を行い、利用者が安全に利用できるよう努めた。 土木課予算ではあるが、ナラ枯れの被害樹木の伐採を行った。(31本)	稲城ふれあいの森運営委員会を中心に施設の管理運営、整備を実施した。 (利用状況) 新型コロナウイルス感染症の影響により一般開放の中止などもあり年間利用者は2,986人となった。 (主な整備・補修内容) ①危険樹木伐採 ②施設内蜂対応 ③メイン通路高所枝折れ対応 ④テントサイト 腐食イス改修	稲城ふれあいの森運営委員会を中心に施設の管理運営、整備を実施した。 (利用状況) 利用者 3,698人 (主な整備・補修内容) ①危険樹木伐採 ②施設内蜂対応 ③メイン通路高所枝折れ対応 ④テントサイト 腐食イス改修	稲城ふれあいの森運営委員会を中心に施設の管理運営、整備を実施した。 (利用状況) 利用者 3,647人 (主な整備・補修内容) ①危険樹木伐採 ②施設内蜂対応 ③南の泉の高所枝折れ対応	稲城ふれあいの森運営委員会を中心に施設の管理運営、整備を実施する。
42	1-3-(3)-② 青少年指導者養成事業	児童青少年課	地域や社会で活躍できる人材を育てるため、ジュニアワーカーセミナー、青年ワーカーセミナーの内容を充実していきます。	稲城市青少年委員会を中心に実施した。 (ジュニアワーカーセミナー) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。(青年ワーカーセミナー) 参加者:14名 通年で4回のセミナーを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により2回のセミナーを実施した。	稲城市青少年委員会を中心に実施していく。 (ジュニアワーカーセミナー) 年間6回(3プログラム)にて各回で申込を実施する方法にて開催の計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、4回の実施となった。 延べ参加者:61名 (青年ワーカーセミナー) 通年で5回のセミナーを実施した。 参加者:17名	稲城市青少年委員会を中心に実施した。 (ジュニアワーカーセミナー) 通年で全8回にて開催 参加者数:41人(小学生27人、中学生14人) (青年ワーカーセミナー) 通年で全6回にて開催 参加者数:22人	稲城市青少年委員会を中心に実施した。 (ジュニアワーカーセミナー) 通年で全8回にて開催 参加者数:37人(小学生22人、中学生15人) (青年ワーカーセミナー) 通年で全6回にて開催 参加者数:19人	青少年員を中心に地域や社会で活躍できる人材を育てるため、ジュニアワーカーセミナー、青年ワーカーセミナーを実施していく。
42	1-3-(3)-③ 二十歳の式典(旧:成人式事業)	生涯学習課	新成人による「成人式実行委員会」を組織し、新成人の意見を聞きながら、式典を企画・運営します。	14人の新成人で成人式実行委員会を組織し、新成人の自由な意見を活かした式典の企画・運営を行った。市内新成人出席者:579人(出席率59.2%)。新型コロナウイルス感染症の影響により、語らいの場は中止した。	12人の新成人で成人式実行委員会を組織し、新成人の自由な意見を活かした式典の企画・運営を行った。市内新成人出席者:619人(出席率63.9%)。新型コロナウイルス感染防止対策を図った上で、語らいの場も実施した。	対象者13人で実行委員会を組織し、成人の意見を活かした企画・運営で「二十歳の式典」を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典は二部制としたが、対象者が一堂に会する語らいの場を一部と二部の間に実施した。市内出席者663人(出席率66.1%)。また、4月1日に成人となった18歳・19歳の新成人に向けて、市長・教育長からのメッセージ等を送付した。	対象者8人で実行委員会を組織し、成人の意見を活かした企画・運営で「二十歳の式典」を実施した。式典は、ようりランドオーロラスペースにて2部制で行い、ようりランド全体を会場とした語らいの場も実施した。市内出席者733人(出席率73.3%)。また、令和5年度に18歳を迎える新成人(923人)に向けて、市長・教育長からのメッセージ等を送付した。	令和6年度に20歳となる者で「二十歳の式典実行委員会」を組織し、実行委員の意見を活かした企画・運営を行う。 また、18歳の新成人に向けて、市長・教育長からのメッセージ等を送付する。
42	1-3-(3)-④ 青少年育成地区委員会への補助	児童青少年課	自然体験や伝統文化(塞の神・お祭り)など、地域での青少年健全育成活動を支援するため補助を行います。	稲城市青少年育成地区委員会への補助金の支出及び活動補助を行った。 (1)補助金 10地区計 2,576,920円 (2)キャンプ奨励費 新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンプを実施した地区がなかったため交付なし。 (3)主な活動補助 市内パトロールを夏休み期間にて実施。 新型コロナウイルス感染症の影響により一斉でのパトロールは中止した。	稲城市青少年育成地区委員会への補助金の支出及び活動補助を行った。 (1)補助金 10地区計 2,150,381円 (2)主な活動補助 市内パトロールを夏休み期間にて実施。 新型コロナウイルス感染症の影響により一斉でのパトロールは中止した。	稲城市青少年育成地区委員会へ補助金の支出及び活動補助を行った。 (1)補助金 10地区計 2,591,220円 (2)キャンプ奨励費 5団体計 109,500円 (3)主な活動補助 市内一斉夜間パトロールを7月29日に行った。	稲城市青少年育成地区委員会へ補助金の支出及び活動補助を行った。 (1)補助金 10地区計 2,583,680円 (2)キャンプ奨励費 7団体計 109,500円 (3)主な活動補助 市内一斉夜間パトロールを7月29日に行った。	補助金、キャンプ奨励費、市内一斉夜間パトロールなどの活動補助を実施するため、活動に要する経費の一部を補助することで、主体的な地域の活動を促進していく。
42	1-3-(3)-⑤ 青少年芸術文化活動補助事業	生涯学習課	青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行います。	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動団体が例年より規模を縮小する状況ではあったが、稲城市芸術文化団体連合会を通じて4団体に補助を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動団体が例年より規模を縮小する状況ではあったが、稲城市芸術文化団体連合会を通じて4団体に補助を行った。	青少年を中心に芸術文化活動を行っている6団体に稲城市芸術文化団体連合会を通じて補助を行った。	青少年を中心に芸術文化活動を行っている7団体に稲城市芸術文化団体連合会を通じて補助を行った。	青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行う。
42	1-3-(3)-⑥ 青少年問題協議会	児童青少年課	青少年の健全育成に関わる機関・団体の活動を効果的に進めるための協議や、青少年健全育成の課題について情報交換などを行います。	多摩中央警察署や多摩児童相談所等と交え、稲城市青少年問題協議会を年2回で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、7月の書面開催及び2月の会議を中止した。	多摩中央警察署や多摩児童相談所等と交え、稲城市青少年問題協議会を年2回で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、7月及び2月の会議を書面による報告として実施した。	多摩中央警察署や多摩児童相談所等と交え、稲城市青少年問題協議会を年2回開催した。 (1)第1回 令和4年7月14日開催(出席者数20名) (2)第2回 令和5年2月2日開催(出席者数20名) (3)議題 青少年健全育成に関する課題についての情報交換等	多摩中央警察署や多摩児童相談所等と交え、稲城市青少年問題協議会を年2回開催した。 (1)第1回 令和5年7月13日開催(出席者数21名) (2)第2回 令和6年2月26日開催(出席者数25名) (3)議題 青少年健全育成に関する課題についての情報交換等	家庭、学校、地域等の代表者の参加により、情報共有を図り健全育成環境の充実を図っていく。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
44	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <1		確かな学力の育成> (1)「知識及び技能」の習得、	思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養					
44	2-1-(1)-① 学習指導の改善・充実	指導課	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を推進するとともに、学習評価の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を推進するとともに、学習評価の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	学習指導の改善・充実を図る必要があるため。
44	2-1-(1)-② 授業改善の推進	指導課	市学力調査や全国学力・学習状況調査の結果などを、効果的に分析・活用し、授業改善推進プランの作成・実施などを通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	市学力調査や全国学力・学習状況調査の結果などを、効果的に分析・活用し、授業改善推進プランの作成・実施などを通じて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	学力調査等の結果をふまえ、授業改善を図る必要があるため。
44	2-1-(1)-③ 稲城市立学校教育研究会の充実	指導課	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	稲城市立学校教育研究会の充実を図る必要があるため。
45	2-1-(1)-④ 特色ある学校づくりの推進	指導課	児童・生徒及び地域環境を踏まえ、創意工夫し、SDGsの達成に向けたESDの視点を活かした特色ある教育活動を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	児童・生徒及び地域環境を踏まえ、創意工夫し、SDGsの達成に向けたESDの視点を活かした特色ある教育活動を推進できている。	2 課題がない。		2 内容を変更して継続	「特色のある学校づくり」の文言は対象が広すぎるため、この施策の方向性は「確かな学力の育成」であるため、「特色のある教育活動の推進」に改める。
45	2-1-(1)-⑤ 言語活動の充実	指導課	学習指導要領に基づき、学習の基盤となる言語能力を育むため、すべての教科において言語活動の充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	学習指導要領に基づき、学習の基盤となる言語能力を育むため、すべての教科において言語活動の充実を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	言語活動の充実を図る必要があるため。
45	2-1-(1)-⑥ 読書活動の推進	指導課・図書館課	児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実に努めます。総合学習・調べ学習を支援し、学校からの調査(レファレンス)に応じ、各教科及び総合的な学習の時間において、活用できる資料を提供します。	B 計画どおりに進んでいる。	(指導課) 児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実を図ることができている。 (図書館課) 図書館と学校(図書館活性化推進員)の間で情報交換を行うとともに、調べ学習や学級文庫の要望に対して適宜資料を貸出し、学校における読書活動の推進を支援している。 ※調べ学習への対応件数は、年々増加傾向にある。また、学級文庫の貸出利用率は、80%程度で推移している。	2 課題がない。		1 継続	(指導課) 学校図書館運営推進委員の配置により、学校図書館の利用推進を図る必要があるため。 (図書館課) 現行の事業を着実に継続することが適当である。
45	2-1-(1)-⑦ 情報活用能力の育成の推進	指導課	情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図ることができている。	1 課題がある。	国では平成29年10月に教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインを作成し、令和6年1月に改訂している。市では、市では、随時情報モラル、情報セキュリティについての情報提供や注意喚起を行っているが、GIGAスクール導入後のセキュリティポリシーを策定が必要である。	1 継続	情報活用能力の育成を推進する必要があるため。
45	2-1-(1)-⑧ 理数教育の充実	指導課	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	理数教育の充実を図る必要があるため。
45	2-1-(1)-⑨ 外国語教育の推進	指導課	外国語指導助手(ALT)などを活用し、小学校からの実践的な外国語教育を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	外国語指導助手(ALT)などを活用し、小学校からの実践的な外国語教育を推進している。	1 課題がある。	校長会からの要望として外国語指導助手の配置日数について、増要望がきている。	1 継続	外国語教育の推進を図る必要があるため。
46	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <2		豊かな心や創造性の涵養> (1)人権教育の推進						
47	2-2-(1)-① 人権教育の推進	指導課	人権尊重の理念を定着させるため、推進委員会を組織し、学校関係者の研修・啓発のための事業を展開します。また、学校における人権教育の充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	人権尊重の理念を定着させるため、推進委員会を組織し、学校関係者の研修・啓発のための事業を展開している。また、学校における人権教育の充実を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	人権教育の充実を図る必要があるため。
47	2-2-(1)-② 稲城市いじめ防止基本方針に基づき取組の推進	指導課	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、自尊感情や自己肯定感の育成や、いじめに関する授業等によるいじめの未然防止、児童・生徒へのアンケート実施等によるいじめの早期発見、組織的ないじめ事業への早期対応などに取り組みます。	B 計画どおりに進んでいる。	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、自尊感情や自己肯定感の育成や、いじめに関する授業等によるいじめの未然防止、児童・生徒へのアンケート実施等によるいじめの早期発見、組織的ないじめ事業への早期対応などに取り組みむことができている。	2 課題がない。		1 継続	稲城市いじめ防止基本方針に基づく取組を推進する必要があるため。
47	2-2-(1)-③ いじめ問題対策連絡協議会	子ども家庭支援センター課・指導課	稲城市におけるいじめ問題への組織的対応に係る関係機関の円滑な連携及び協力を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	(子ども家庭支援センター課) いじめ問題対策連絡協議会を7月に開催。関係機関と情報の連携を図り、円滑に努めた。 (指導課) いじめ問題対策連絡協議会については、7月に実施し、組織的対応に係る関係機関の円滑な連携及び協力を図ることができた。	2 課題がない。		1 継続	(子ども家庭支援センター課) 稲城市いじめ防止基本方針に基づく取組を推進する必要があるため。 (指導課) いじめ問題対策連絡協議会を継続する必要があるため。
47	2-2-(1)-④ 教育相談などの機能の充実	指導課	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の活用により、教育相談などの機能の充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の活用により、教育相談などの機能の充実を図ることができている。	1 課題がある。	教育相談数の増、相談内容の複雑化により、教育相談員やスクールソーシャルワーカーの増員を行ってきた。相談員の質や判断に差が出ないよう、相談員を現場で取りまとめる職員を配置する必要がある。 教育センターの組織を強化する必要がある。	1 継続	教育相談などの機能を組織的に見直す必要があるため。
47	2-2-(1)-⑤ 不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援	指導課	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室と連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組みます。	B 計画どおりに進んでいる。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や型の実ルームと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んでいる。	1 課題がある。	不登校者数の増により、教育相談員やスクールソーシャルワーカー、不登校支援員の増員、型の実ルームや、校内別室指導など対応をしているが、全体を管理する職員がいないため、教育センターとして組織を強化する必要がある。	1 継続	不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援が必要であるため。
48	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <2		豊かな心や創造性の涵養> (2)道徳心や社会性を身に付ける教育の推進						
48	2-2-(2)-① 道徳教育の推進	指導課	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うことができている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、道徳授業地区公開講座を開催できない時期があったが、オンラインや学校だよりによる開催をすることができている。	2 課題がない。		1 継続	道徳教育の推進が必要であるため。
48	2-2-(2)-② 国際理解教育の推進	指導課	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため他地域との交流を深めることは制限されたが、国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、人間として尊重し合える教育を推進することができている。	2 課題がない。		1 継続	国際理解教育の推進を図る必要があるため。
48	2-2-(2)-③ 野沢温泉村宿泊体験	指導課	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学びます。野沢温泉村と連携し、現地に「稲城100年の森」を育成します。野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学びます。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、宿泊体験ができない時期があったが、交流事業を再開することで、環境保全や自然を活かした暮らしを学ぶことができている。	1 課題がある。	野沢温泉村でのキャンプ場や民宿の受け入れ先の確保が難しくなっているため、宿泊場所や体験する内容を見直す必要がでてきている。	1 継続	他地域での自然や文化を学ぶ機会を検討しつつ、可能な範囲で交流する事業を継続していく。
48	2-2-(2)-④ 大空町教育交流	指導課	市内小学生の大空町への訪問、大空町児童の受け入れの交流活動を通じて、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育みます。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問交流ができない時期があったが、オンラインでの交流や給食交流を通して地域に対する理解を深めることができている。	1 課題がある。	市内小学生の大空町への訪問、大空町児童の受け入れの交流活事業は、教員と指導課職員にて大空町教育交流実行委員会を設置し、訪問事業の運営、引率をしているが、稲城市姉妹友好都市交流協会が設置されたことから、教員の働き方改革のため、事業運営の移管を検討する必要が出てきている。	1 継続	業務移管を検討しつつ、事業を継続していく。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	題名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
44	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進	<1 確かな学力の育成>	＜1＞「知識及び技能」の習得	「思考力、判断力、表現力等」の育成	「学びに向かう力、人間性等」の涵養			
44	2-1-(1)-① 学習指導の改善・充実	指導課	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を推進するとともに、学習評価の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図ります。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を実施し、基礎・基本の定着を図った。また、授業改善推進プランを作成、実施した。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を実施し、基礎・基本の定着を図った。また、授業改善推進プランを作成の上、HPにアップロードを行い実施した。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を実施し、基礎・基本の定着を図った。また、授業改善推進プランを作成の上、HPにアップロードを行い実施した。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を推進するとともに、学習評価の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を推進するとともに、学習評価の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。
44	2-1-(1)-② 授業改善の推進	指導課	市学力調査や全国学力・学習状況調査の結果などを、効果的に分析・活用し、授業改善推進プランの作成・実施などを通じて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ります。	市学力調査や全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、児童・生徒が主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、授業改善推進プランを作成し、授業改善を実施した。	市学力調査や全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、児童・生徒が主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、授業改善推進プランを作成し、授業改善を実施した。	市学力調査や全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、児童・生徒が主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、授業改善推進プランを作成し、授業改善を実施した。	市学力調査や全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、児童・生徒が主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、授業改善推進プランを作成し、授業改善を実施した。	市学力調査や全国学力・学習状況調査の結果などを、効果的に分析・活用し、授業改善推進プランの作成・実施などを通じて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。
44	2-1-(1)-③ 稲城市立学校教育研究会の充実	指導課	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、小・中学校合同の教科研究会を年間を通じて11回行い、研究の成果を紙面に発表した。また、研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、小・中学校合同の教科研究会を年間を通じて実施し、研究発表会を会場の他にオンラインでも実施した。また、研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の教科研究会を年間を通じて実施し、研究発表会を会場の他にオンラインでも実施した。また、研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図る。	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図る。
45	2-1-(1)-④ 特色ある学校づくりの推進	指導課	児童・生徒及び地域環境を踏まえ、創意工夫し、SDGsの達成に向けたESDの視点を活かした特色ある教育活動を推進します。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。	児童・生徒及び地域環境を踏まえ、創意工夫し、SDGsの達成に向けたESDの視点を活かした特色ある教育活動を推進する。
45	2-1-(1)-⑤ 言語活動の充実	指導課	学習指導要領に基づき、学習の基盤となる言語能力を育むため、すべての教科において言語活動の充実を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、ICTを活用した話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。	ICTを活用した話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。	ICTを活用した話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。	学習指導要領に基づき、学習の基盤となる言語能力を育むため、ICTを活用する等、すべての教科において言語活動の充実を図る。
45	2-1-(1)-⑥ 読書活動の推進	指導課・図書館	児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実に努めます。総合学習・調べ学習を支援し、学校からの調査(レファレンス)に応じ、各教科及び総合的な学習の時間において、活用できる資料を提供します。	(指導課)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、学校図書館運営推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で図書資料を活用することができた。 (図書館課)小学校140件、中学校21件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸し出すことで、児童・生徒の総合学習・調べ学習を支援した。学級文庫の貸出は、市立小学校184学級中157学級(支援学級含む)の利用があり、利用率は85%であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設への訪問・見学は行わなかったが、学校図書館運営推進委員会に参加し、読書活動における連携を図った。	(指導課)新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、学校図書館運営推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で学習センターの機能を果たし、図書資料を活用することができた。 (図書館課)小学校94件、中学校21件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸し出すことで、児童・生徒の総合学習・調べ学習を支援した。学級文庫の貸出は、市立小学校162学級(支援学級含む)の利用があり、利用率は88%であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設への訪問・見学は行わなかったが、学校図書館運営推進委員会に参加し、読書活動における連携を図った。	(指導課)学校図書館運営推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で学習センターの機能を果たし、図書資料を活用することができた。 (図書館課)小学校112件、中学校27件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸し出すことで、児童・生徒の総合学習・調べ学習を支援した。学級文庫の貸出は、市立小学校151学級(支援学級含む)の利用があり、利用率は79%であった。その他、学校図書館運営推進委員会に参加し、読書活動における連携を図った。	(指導課)学校図書館運営推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で学習センターの機能を果たし、図書資料を活用することができた。 (図書館課)新刊絵本を紹介する「子どもの本の会」が年間11回開催され、図書館司書を派遣し、参加人数延べ57人に絵本の紹介を行った。学級文庫の貸出は累計中。その他、学校図書館運営推進委員会に参加し、読書活動における連携を図った。	(指導課)児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実に努めます。探求的な学習・調べ学習を支援し、学校からの調査(レファレンス)に応じ、各教科及び総合的な学習の時間において、活用できる資料を提供する。 (図書館課)地域文庫がそれぞれの地域で読書活動を行う他、月1回開催される新刊絵本を読む「子どもの本の会」へ図書館司書を派遣し、絵本の紹介を行う。
45	2-1-(1)-⑦ 情報活用能力の育成の推進	指導課	情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図ります。	年度途中から導入したタブレット端末を活用し、プログラミング教育や情報モラル、情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図った。	タブレット端末を活用し、プログラミング教育や情報モラル・情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図った。	タブレット端末を活用し、プログラミング教育や情報モラル・情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図った。	タブレット端末を活用し、プログラミング教育や情報モラル・情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図った。	タブレット端末を活用し、情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図る。
45	2-1-(1)-⑧ 理数教育の充実	指導課	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験など、可能な限りで理数教育の充実を図った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験など、可能な限りで理数教育の充実を図った。	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験など、理数教育の充実を図った。	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験など、理数教育の充実を図った。	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験など、理数教育の充実を図る。
45	2-1-(1)-⑨ 外国語教育の推進	指導課	外国語指導助手(ALT)などを活用し、小学校からの実践的な外国語教育を推進します。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手(ALT)を派遣した。在宅勤務も含め小学校においては延べ311日、中学校においては延べ238日派遣した。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手(ALT)を派遣した。在宅勤務も含め小学校においては延べ401日、中学校においては延べ226日派遣した。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手(ALT)を派遣した。中学校においては延べ398日、中学校においては延べ227日派遣した。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手(ALT)を派遣した。中学校においては延べ398日、中学校においては延べ227日派遣した。	外国語指導助手(ALT)などを活用し、小・中学校の実践的な外国語教育を推進する。中学校では、留学生等との英語によるコミュニケーションの機会の充実を図る。
46	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進	<2 豊かな心や創造性の涵養>	(1)人権教育の推進					
47	2-2-(1)-① 人権教育の推進	指導課	人権尊重の理念を定着させるため、推進委員会を組織し、学校関係者の研修・啓発のための事業を展開します。また、学校における人権教育の充実を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため毎年実施している市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を中止した。市内全小・中学校の人権教育担当教員の参加による推進委員会を実施し、学校における人権教育の充実を図るための研修・情報交換を行った。	市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会をタブレット端末を活用し、オンライン開催した。市内全小・中学校の人権教育担当教員の参加による推進委員会を実施し、学校における人権教育の充実を図るための研修・情報交換を行った。	市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を、会場及びオンライン開催した。市内全小・中学校の人権教育担当教員の参加による推進委員会を実施し、学校における人権教育の充実を図るための研修・情報交換を行った。	市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を組織し、学校関係者の研修・啓発のための事業を展開する。また、市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を開催し、学校における人権教育の充実を図る。	人権尊重の理念を定着させるため、推進委員会を組織し、学校関係者の研修・啓発のための事業を展開する。また、市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を開催し、学校における人権教育の充実を図る。
47	2-2-(1)-② 稲城市いじめ防止基本方針に基づき取組の推進	指導課	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、自尊感情や自己肯定感の育成や、いじめに関する授業等によるいじめの未然防止、児童・生徒へのアンケート実施等によるいじめの早期発見、組織的ないじめ事業への早期対応などに取り組めます。	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、稲城市立いじめ防止啓発月間の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、稲城市立いじめ防止啓発月間の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、稲城市立いじめ防止啓発月間の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、稲城市立いじめ防止啓発月間の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、自尊感情や自己肯定感の育成や、いじめに関する授業等によるいじめの未然防止、児童・生徒へのアンケート実施等によるいじめの早期発見、組織的ないじめ事業への早期対応などに取り組む。
47	2-2-(1)-③ いじめ問題対策連絡協議会	子ども家庭支援センター課・指導課	稲城市におけるいじめ問題への組織的対応に係る関係機関の円滑な連携及び協力を図ります。	(子ども家庭支援センター課)協議会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。関係機関と情報の連携を図り、円滑に努めた。 (指導課)いじめ問題対策連絡協議会については、7月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、紙面による開催となった。	(子ども家庭支援センター課)協議会は新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催。関係機関と情報の連携を図り、円滑に努めた。 (指導課)いじめ問題対策連絡協議会については、7月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、紙面による開催となった。	(子ども家庭支援センター課)いじめ問題対策連絡協議会を7月に開催。関係機関と情報の連携を図り、円滑に努めた。 (指導課)いじめ問題対策連絡協議会については、7月に実施し、組織的対応に係る関係機関の円滑な連携及び協力を図ることができた。	(子ども家庭支援センター課)いじめ問題対策連絡協議会を7月に開催。関係機関と情報の連携を図り、円滑に努めた。 (指導課)いじめ問題対策連絡協議会については、7月に実施し、組織的対応に係る関係機関の円滑な連携及び協力を図ることができた。	(子ども家庭支援センター課)いじめ問題対策連絡協議会を7月に開催。関係機関と情報の連携を図り、円滑に努める。 (指導課)いじめ問題対策連絡協議会については、7月に実施し、組織的対応に係る関係機関の円滑な連携及び協力を図る。
47	2-2-(1)-④ 教育相談などの機能の充実	指導課	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の活用により、教育相談などの機能の充実を図ります。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の支援を行った。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の支援を行った。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の支援を行った。	教育相談員及びスクールソーシャルワーカーを増員し、いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の支援を行った。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、不登校支援員の活用により、相談の機能の充実を図る。
47	2-2-(1)-⑤ 不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援	指導課	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組みとともに、学校、教育相談室や適応指導教室と連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組めます。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んだ。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んだ。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んだ。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や梨の実ルーム、校外別室指導支援員、特別支援教育コーディネーター、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んだ。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や梨の実ルーム、校外別室指導支援員、特別支援教育コーディネーター、スクールソーシャルワーカー、不登校支援員と連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組む。
48	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進	<2 豊かな心や創造性の涵養>	(2)道徳心や社会性を身に付ける教育の推進					
48	2-2-(2)-① 道徳教育の推進	指導課	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進します。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うとともに、学校便り等を活用して、地域や保護者への理解・啓発を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うとともに、学校便り等を活用して、地域や保護者への理解・啓発を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座の開催、学校便り等の活用により、地域や保護者への理解・啓発を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座の開催、学校便り等の活用により、地域や保護者への理解・啓発を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進する。
48	2-2-(2)-② 国際理解教育の推進	指導課	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進します。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進した。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進した。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進した。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進した。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進する。中学校では、留学生等との英語によるコミュニケーションの機会の充実を図る。
48	2-2-(2)-③ 野沢温泉村宿泊体験	指導課	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学びます。野沢温泉村と連携し、現地に「稲城100年の森」を育成します。野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恵恩や活用について学びます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、野沢温泉村宿泊体験事業は中止した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、野沢温泉村宿泊体験事業については、小学校は6校のみ2泊3日にて、中学校は2校のみ3泊4日にて、自然、文化体験を実施することができた。	野沢温泉村宿泊体験事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努め、小学校は2泊3日にて、中学校は3泊4日にて、自然、文化体験を実施することができた。	野沢温泉村宿泊体験事業については、小学校は3泊4日にてテント泊と民泊泊を行い自然、文化体験を通して、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶことができた。中学校は3泊4日にてスノーシューやスキー体験を通して厳冬期を体験し、自然の恵恩や活用について学ぶことができた。	野沢温泉村で、キャンプ等の自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶ。野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恵恩や活用について学ぶ。
48	2-2-(2)-④ 大空町教育交流	指導課	市内小学生の大空町への訪問、大空町児童の受け入れの交流活動を通して、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育みます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月の市内小学生の大空町への訪問、1月の大空町の児童の受け入れ事業を中止し、代わりにビデオレターの交換や小学5年生が質問しあうオンライン交流を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月の市内小学生の大空町への訪問、1月の大空町の児童の受け入れ事業を中止し、代わりに令和5年2月に小学5年生が質問しあうオンライン交流を実施した。	4年ぶりに大空町と稲城市の児童が相互派遣・参入を実施した。8月に稲城市から大空町へ小学5年30人が訪問し、ホームステイや自然文化体験を通して、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育むことができた。また、1月には大空町から18人の児童が稲城市に来て、学校での交流を行った。	市内小学生と大空町との交流活動を通じて、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育む。	

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
49	2-2-(2)-⑤ 音楽鑑賞教室	指導課	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育てます。	B 計画どおりに進んでいる。	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育てることができている。	2 課題がない。		1 継続	予算が確保できる範囲で継続していく
49	2-2-(2)-⑥ 社会性を育む教育の推進	指導課	地域行事などの地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などへの参加を促し、社会参画の意識や公共の精神を育みます。	B 計画どおりに進んでいる。	地域行事などの地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などへの参加を促し、社会参画の意識や公共の精神を育むことができている。	2 課題がない。		6 他事業と統合	社会性を育む教育はすべての学習に当てはまり、具体的な取り組み結果として報告していくことが難しい。2-4-1(1)―⑧ESDの計画的な推進や、2-4-4-(2)③ボランティア活動の推進と統合を検討する。
49	2-2-(2)-⑦ 読書活動の推進(再掲)	指導課・図書館課	児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実に努めます。総合学習・調べ学習を支援し、学校からの調査(レファレンス)に応じ、各教科及び総合的な学習の時間において、活用できる資料を提供します。	B 計画どおりに進んでいる。	(指導課) 児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実を図ることができている。 (図書館課) 図書館と学校(図書館活性化推進員)の間で情報交換を行うとともに、調べ学習や学級文庫の要望に対して適宜資料を貸出し、学校における読書活動の推進を支援している。 ※調べ学習への対応件数は、年々増加傾向にある。また、学級文庫の貸出利用率は、80%程度で推移している。	2 課題がない。		1 継続	(指導課) 学校図書館運営推進委員の配置により、学校図書館の利用推進を図る必要があるため (図書館課) 現行の事業を着実に継続することが適当である。
49	2-2-(2)-⑧ 伝統・文化などに関する教育の推進	指導課	本市を中心とした地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて探究する学習を野沢温泉村や大空町との交流も活かしながら推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	本市を中心とした地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて探究する学習を野沢温泉村や大空町との交流も活かしながら推進することができている。	2 課題がない。		1 継続	伝統・文化などに関する教育を推進する必要があるため
51	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <3 健康で安全に生活する力の育成> (1)体力向上を図る取組の推進								
51	2-3-(1)-① 学校における体力向上の推進	指導課	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」などを掲げた体育活動に年間を通して取り組めます。また、連合体育行事などを契機とした体力向上を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」などを掲げた体育活動に年間を通して取り組み、縄跳び運動による体力向上を図ることができている。	1 課題がある。	学校における体力向上の推進に取り組む必要があるため	1 継続	学校における体力向上の推進に取り組む必要があるため
51	2-3-(1)-② 地域の人材活用の推進	指導課	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会を増やします。また、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会を提供することができている。また、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図ることができている。	2 課題がない。		2 内容を変更して継続	1-3-(2)-4の「地域の教材を活用した教育の推進」と区別がつきにくいこと、部活動やスポーツ活動に関しては、地域人材だけでなく、クラブ活動支援や読売ジャイアンツや東京ヴェルディなど企業の指導者の活用も推進されているため取り組み名を「体育及び部活動における外部指導者の活用」に改める。
51	2-3-(1)-③ 東京都体力・運動能力・運動習慣等調査等の活用	指導課	東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努めます。	B 計画どおりに進んでいる。	東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができている。	2 課題がない。		1 継続	東京都体力・運動能力、運動習慣等調査が継続される限り継続していく
51	2-3-(1)-④ スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進課	スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに地域住民や児童・生徒に対する実技指導、その他スポーツの推進のための助言指導を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	コロナ禍でも定例会を書面・リモート等で実施した。令和4年度からは主催事業等も再開し、稲城市のスポーツ推進に寄与してる。	2 課題がない。		1 継続	継続して、市民へのスポーツ推進を進めていく。
52	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <3 健康・安全に生活する力の育成> (2)健康教育・食育の推進								
52	2-3-(2)-① 健康・安全指導の充実(再掲)	指導課	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、心身の健康の保持増進に関する取組の充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、心身の健康の保持増進に取り組むことができている。	2 課題がない。		1 継続	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を継続する必要があるため
52	2-3-(2)-② 小・中学校保健安全に関する事業	学務課	学校保健安全法に基づき、就学時健康診断及び定期健康診断を行い、学校保健の充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	学校保健安全法に基づいた、就学時健康診断および定期健康診断を各学校と連携し、速やかな実施に努め、学校保健の充実が図られたため。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、学校保健安全法に基づいた、就学時健康診断及び定期健康診断を行い、公立小中学校の学校保健の充実及び継続した検診結果を確認していく必要があるため。
52	2-3-(2)-③ 食育の推進	指導課・学校給食課	全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士等の専門家を活用した授業実施に取り組めます。また、給食材料に地場産の野菜等を積極的に取り入れ、地産地消を推進します。さらに、行事食や各国のメニュー等を取り入れ、給食だよりを発行するなど、児童・生徒や保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりの充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	(指導課) 全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士等の専門家を活用した授業実施に取り組むことができている。 (学校給食課) 行事食や各国のメニュー等を取り入れた献立を提供し、給食だよりを発行した。また、JAとの情報交換会や園場見学等を活用しながら情報収集を行い、地場産農産物の積極的な使用に努めている。	1 課題がある。	(指導課) 特段の課題は見受けられない。 (学校給食課) 温暖化等の影響により、稲城市産の新高梨及び高尾ぶどうの給食での提供が困難になる可能性がある。品種の見直しや加工品としての提供等を検討していく。	1 継続	(学校給食課) 引き続き地場産農産物の積極的な使用に努めるとともに、給食だより等を通じて食に関する理解を深めてもらう機会づくりの充実を図る。 (指導課) 市の食育推進計画の施策でもあり、食育の推進に取り組む必要があるため
53	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <3 健康・安全に生活する力の育成> (3)安全教育・安全確保の推進								
53	2-3-(3)-① スクールガード・リーダーの配置	指導課	警察官OBによるスクールガード・リーダーを配置し、学校施設及び地域の安全点検・巡回、子ども、保護者、地域への安全指導・防犯に関する助言や講演会などを行います。	B 計画どおりに進んでいる。	全校ではないが、スクールガード・リーダーを配置し、学校施設及び地域の安全点検・巡回ができている。	1 課題がある。	スクールガードリーダーの後任が見つからない。令和5年度時点で5校配置ができいない。	6 他事業と統合	警察官OB、教員OB、警備会社勤務OBをスクールガード・リーダーとして任用しているが、後任が配置できない。多摩警察署の協力によるセーフティ教室や、PTAや自治会、地域ボランティアの協力による防犯パトロールを実施していることから、2-3-(3)-⑧防犯、犯罪被害防止教育の推進、2-3-(3)-⑫交通安全教育の推進と統合する。
53	2-3-(3)-② 「こども110番の家」の設置	総務契約課	緊急時(雨漢、災害等)に、児童・生徒が一時的に避難する「こども110番の家」を設置し、子どもの安全を確保します。	B 計画どおりに進んでいる。	第三次稲城市教育振興基本計画に基づき、令和2年度から「こども110番の家」の年度ごとの登録・削除件数について基本的には登録件数が上回るように働きかけ、大幅に減少することがないように保っている。	2 課題がない。		1 継続	こども110番の家の設置件数は概ね増加し、大幅な減少はしていないため、今後も「こども110番の家」設置し、子どもの安全を確保するため継続して実施する。 実施方法そのものの変更の必要が無いため、引き続き第四次稲城市教育振興基本計画に掲載し、翌年度以降も「こども110番の家」の設置を推進していく。
53	2-3-(3)-③ 防犯に対する情報提供	総務契約課	防犯に関する情報を、「地域安全情報」として稲城市メール配信サービスの登録者に配信します。	B 計画どおりに進んでいる。	第三次稲城市教育振興基本計画に基づき、令和2年度から防犯に関する情報を、稲城市メール配信サービスの登録者約14300人(令和6年5月時点)に平均110回(直近4年平均)配信している。	2 課題がない。		1 継続	稲城市メール配信サービスはシステムとして拡充・充実する余地もなく、縮小や実施方法の変更の必要も無いため、今後も継続して稲城市メール配信サービスの登録者へ地域安全情報として防犯に関する情報を配信する。
53	2-3-(3)-④ 防犯体制・警察との連携	総務契約課	PTAや防犯ボランティア団体、個人へ防犯資機材の貸出を行います。また、青色回転灯付パトロール車で下校時を中心に防犯パトロールを実施し、不審者情報等発生時には、多摩中央警察署と連携し、パトロールを強化します。	B 計画どおりに進んでいる。	第三次稲城市教育振興基本計画に基づき、令和2年度から登録団体の平均2団体増加を維持し、個人ボランティアの登録についても減少することなく維持し、それら登録団体や登録ボランティアへ防犯資機材を貸し出すことで、市に報告があるものだけでも、134団体が延べ回数約700回、延べ参加人数約3000人の防犯パトロールが行われている。また、職員による青色回転灯付パトロール車で防犯パトロールに加え、各自治会や防犯協会、更生保護女性会、シルバー人材センターに所属する地域の方々にも参加いただき、合計年間平均100回を超えるパトロールを実施している。	2 課題がない。		1 継続	登録団体や登録個人ボランティアの件数は減少することなく、概ね増加しており、防犯資機材の貸出によって防犯パトロールの実施も促進されており、青色回転灯付パトロール車で防犯パトロールについても、実施方法の変更等の必要は無いため、引き続き継続して行っていく。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

	主な取り組み	題名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
49	2-2-(2)-⑤ 音楽鑑賞教室	指導課	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育てます。	当初予定していた府中の森芸術劇場での音楽鑑賞教室はできなかったが、各学校の体育館にて管弦四重奏又は金管五重奏を実施し、市内の小・中学生が優れた音楽に直接触れ合う機会となり、良い音楽を愛好する心情や豊かな情操を培うとともに、生活を明るく潤いのあるものにする態度や習慣を養うことができた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、府中の森芸術劇場での音楽鑑賞教室は延期し、令和4年度に小学校5・6年、中学校1・2年合同での実施予定とした。	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育む。前年度に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期した府中の森芸術劇場にて音楽鑑賞教室を、小学校5・6年、中学校1・2年合同で実施した。	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育む。ハルテンノ多摩にて音楽鑑賞教室を、小学校5年生、中学校1年生が実施した。	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育む。ハルテンノ多摩にて音楽鑑賞教室を、小学校5年生、中学校1年生が実施する。
49	2-2-(2)-⑥ 社会性を育む教育の推進	指導課	地域行事などの地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などへの参加を促し、社会参画の意識や公共の精神を育みます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開した。	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開した。	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開した。	地域行事などの地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などへの参加を促し、社会参画の意識や公共の精神を育む。
49	2-2-(2)-⑦ 読書活動の推進(再掲)	指導課・図書館課	児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実に努めます。総合学習・調べ学習を支援し、学校からの調査(レファレンス)に応じ、各教科及び総合的な学習の時間において、活用できる資料を提供します。	(指導課)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、学校図書館運営推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で図書資料を活用することができた。 (図書館課)小学校140件、中学校21件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸し出すことで、児童・生徒の総合学習・調べ学習を支援した。学級文庫の貸出は、市立小学校184学級中157学級(支援学級含む)の利用があり、利用率は85%であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設への訪問・見学は行わなかったが、学校図書館運営推進委員会に参加し、読書活動における連携を図った。	(指導課)新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、学校図書館運営推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で図書資料を活用することができた。 (図書館課)小学校94件、中学校21件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸し出すことで、児童・生徒の総合学習・調べ学習を支援した。学級文庫の貸出は、市立小学校162学級(支援学級含む)の利用があり、利用率は88%であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設への訪問・見学は行わなかったが、学校図書館運営推進委員会に参加し、読書活動における連携を図った。	(指導課)学校図書館運営推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で学習センターの機能を果たし、図書資料を活用することができた。 (図書館課)小学校112件、中学校27件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸し出すことで、児童・生徒の総合学習・調べ学習を支援した。学級文庫の貸出は、市立小学校151学級(支援学級含む)の利用があり、利用率は79%であった。その他、学校図書館運営推進委員会に参加し、読書活動における連携を図った。	(指導課)学校図書館運営推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で学習センターの機能を果たし、図書資料を活用することができた。 (図書館課)新刊絵本を紹介する「子どもの本の会」が年間11回開催され、図書館司書を派遣し、参加人数延べ57人に絵本の紹介を行った。学級文庫の貸出は集中中。その他、学校図書館運営推進委員会に参加し、読書活動における連携を図った。	(指導課)児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実に努める。従来の学習・調べ学習を支援し、学校からの調査(レファレンス)に応じ、各教科及び総合的な学習の時間において、活用できる資料を提供する。 (図書館課)地域文庫がそれぞれの地域で読書活動を行う他、月1回開催される新刊絵本を読む「子どもの本の会」へ図書館司書を派遣し、絵本の紹介を行う。
49	2-2-(2)-⑧ 伝統・文化などに関する教育の推進	指導課	本市を中心とした地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて探究する学習を野沢温泉村や大空町との交流を活かしながら推進します。	タブレット端末を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて探究する学習を推進することができた。	タブレット端末を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて探究する学習を推進することができた。	タブレット端末を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて探究する学習を推進することができた。ゲストティーチャーを迎え、茶道や和楽器等に触れる機会を設定した。	タブレット端末を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて探究する学習を推進することができた。ゲストティーチャーを迎え、茶道や和楽器等に触れる機会を設定した。野沢温泉村や大空町との交流を通して他地域の伝統文化の理解を図った。	本市を中心とした地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて探究する学習を野沢温泉村や大空町との交流を活かしながら推進する。
51	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <3 健康で安全に生活する力の育成> (1)体力向上を図る取組の推進							
51	2-3-(1)-① 学校における体力向上の推進	指導課	体育、保健体育の授業方向向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」などを掲げた体育活動に年間を通して取り組みます。また、連合体育行事などを契機とした体力向上を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を制限しての実施であったが、体育、保健体育の授業方向向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」など、体育活動に年間を通して取り組んだ。また、オリンピック・パラリンピック教育などを契機として体力向上も図った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を制限しての実施であったが、体育、保健体育の授業方向向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」など、体育活動に年間を通して取り組んだ。また、体力向上実行委員会の施策として、短なわや長なわを用いた運動を取り入れて体力向上を図った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を制限しての実施であったが、体育、保健体育の授業方向向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」など、体育活動に年間を通して取り組んだ。また、体力向上実行委員会の施策として、短なわや長なわを用いた運動を取り入れて体力向上を図った。	体育、保健体育の授業方向向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」などを掲げた体育活動に年間を通して取り組む。また、体力向上実行委員会が中心となり、なわとび運動を契機とした体力向上を図る。	体育、保健体育の授業方向向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」などを掲げた体育活動に年間を通して取り組む。また、体力向上実行委員会が中心となり、なわとび運動を契機とした体力向上を図る。
51	2-3-(1)-② 地域の人材活用の推進	指導課	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会を増やします。また、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動内容を縮小しての実施であったが、地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動内容を縮小しての実施であったが、地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図った。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図った。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図った。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会を増やす。また、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図る。
51	2-3-(1)-③ 東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等の活用	指導課	東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努めます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、実施した体力調査結果を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努めた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、実施した各種体力調査結果を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努めた。	東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができたよう努めた。	東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができたよう努めた。	東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努める。
51	2-3-(1)-④ スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進課	スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに地域住民や児童・生徒に対する実技指導、その他スポーツの推進のための助言指導を行います。	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、定例会は全12回中10回の開催となった。	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催
52	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <3 健康・安全に生活する力の育成> (2)健康教育・食育の推進							
52	2-3-(2)-① 健康・安全指導の充実(再掲)	指導課	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、心身の健康の保持増進に関する取組の充実を図ります。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する資料の作成や活動の場の整備を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する資料の作成や活動の場の整備を図ることができた。	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、心身の健康の保持増進に関する取組の充実を図る。
52	2-3-(2)-② 小・中学校保健安全に関する事業	学務課	学校保健安全法に基づき、就学時健康診断及び定期健康診断を行い、学校保健の充実を図ります。	児童生徒の健康の保持増進に向け、各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、疾病などの予防・早期発見に努め、学校保健の充実を図った。 ・就学時健康診断 受診者数 905人 ・定期健康診断 小学校 受診者数 5,292人(在籍者数5,303人) 中学校 受診者数 2,323人(在籍者数2,371人)	児童生徒の健康の保持増進に向け、各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、疾病などの予防・早期発見に努め、学校保健の充実を図った。 ・就学時健康診断 受診者数 939人 ・定期健康診断 小学校 受診者数 5,314人(在籍者数5,329人) 中学校 受診者数 2,331人(在籍者数2,366人)	児童生徒の健康の保持増進に向け、各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、疾病などの予防・早期発見に努め、学校保健の充実を図った。 ・就学時健康診断 受診者数 901人 ・定期健康診断 小学校 受診者数 5,352人(在籍者数5,370人) 中学校 受診者数 2,279人(在籍者数2,380人)	児童生徒の健康の保持増進に向け、各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、疾病などの予防・早期発見に努め、学校保健の充実を図った。 ・就学時健康診断 受診者数 899人 ・定期健康診断 小学校 受診者数 5,347人(在籍者数5,391人) 中学校 受診者数 2,213人(在籍者数2,304人)	児童生徒の健康の保持増進に向け、各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、疾病などの予防・早期発見に努め、学校保健の充実を図る。
52	2-3-(2)-③ 食育の推進	指導課・学校給食課	全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士等の専門家を活用した授業実施に取り組めます。また、給食材料に地産産の野菜等を積極的に取り入れ、地産地消を推進します。さらに、行事食や各国のメニュー等を取り入れ、給食だよりを発行するなど、児童・生徒や保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりの充実を図ります。	(指導課)全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士を活用した授業実施と巡回指導に取り組んだ。 (学校給食課)給食材料に地産産の市内産の玉ねぎ、じゃがいも、高尾ぶどう、新高梨等を積極的に取り入れ、地元農産物への理解、地産地消を推進した。また、東京2020オリンピック・パラリンピック応援給食と称して、ギリシャ、タイ、フィンランド、ロシア、ノルウェーの代表料理をアレンジした給食を提供し、給食だよりを発行するなど、児童・生徒や保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりの充実を図った。	(指導課)全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士を活用した授業実施と巡回指導に取り組んだ。 (学校給食課)給食材料に地産産の玉ねぎ、じゃがいも、大根、白菜、長ねぎ等の野菜や梨、ぶどうを積極的に取り入れ、地産地消を推進した。また、給食献立に行事食や当地料理、世界の料理を取り入れ、給食だよりや施設見学等を通じて児童・生徒や保護者に食に関する理解の促進を図った。	(指導課)全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士等の専門家を活用した授業実施に取り組んだ。 (学校給食課)給食材料に地産産の玉ねぎ、じゃがいも、大根、白菜、長ねぎ等の野菜や梨、ぶどうを積極的に取り入れ、地産地消を推進した。また、給食献立に行事食や当地料理、世界の料理を取り入れ、給食だよりや施設見学等を通じて児童・生徒や保護者に食に関する理解の促進を図った。	(指導課)全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士等の専門家を活用した授業実施に取り組んだ。 (学校給食課)JAと連携し、給食材料に地産産の野菜等を積極的に取り入れ、地産地消を推進する。また、給食献立での行事食や各国のメニュー等の提供、給食だより等の広報物やInstagram等による情報発信を行う。	
53	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <3 健康・安全に生活する力の育成> (3)安全教育・安全確保の推進							
53	2-3-(3)-① スクールガード・リーダーの配置	指導課	警察官OBによるスクールガード・リーダーを配置し、学校施設及び地域の安全点検・巡回、子ども、保護者、地域への安全指導・防犯に関する助言や講演会などを行います。	警察官OBによるスクールガード・リーダーを配置し、小学校12校及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する助言等を全624回実施した。	警察官OBによるスクールガード・リーダーを配置し、小学校12校及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する助言等を全596回実施した。	警察官OBによるスクールガード・リーダーを配置し、小学校12校及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する助言等を全545回実施した。	警察官OBによるスクールガード・リーダーを配置し、小学校12校(6月からは7校)及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する助言等を全469回実施した。	警察官OBによるスクールガード・リーダーを配置し、学校施設及び地域の安全点検・巡回、子ども、保護者、地域への安全指導・防犯に関する助言等を行う。
53	2-3-(3)-② 「こども110番の家」の設置	総務契約課	緊急時(前漢、災害等)に、児童・生徒が一時的に避難する「こども110番の家」を設置し、子どもの安全を確保します。	・こども110番の家の設置を推進した。 「こども110番」の家の設置 956件(令和3年3月31日現在)	・こども110番の家の設置を推進した。 「こども110番」の家の設置 971件(令和4年3月31日現在)	こども110番の家の設置を推進した。 「こども110番」の家の設置 976件(令和5年3月31日現在)	こども110番の家の設置を推進した。 「こども110番」の家の設置 935件(令和6年3月31日現在)	引き続き、こども110番の家の設置を推進し、子どもの安全を確保する。
53	2-3-(3)-③ 防犯に対する情報提供	総務契約課	防犯に関する情報を、「地域安全情報」として稲城市メール配信サービスの登録者に配信します。	・「地域安全情報」として稲城市メール配信サービスの配信を令和2年度は83回実施した。	・「地域安全情報」として稲城市メール配信サービスの配信を令和3年度は125回実施した。	「地域安全情報」として稲城市メール配信サービスの配信を令和4年度は161回実施した。	「地域安全情報」として稲城市メール配信サービスの配信を令和5年度は95回実施した。	引き続き、随時、「地域安全情報」として稲城市メール配信サービスの配信を行う。
53	2-3-(3)-④ 防犯体制・警察との連携	総務契約課	PTAや防犯ボランティア団体、個人へ防犯資機材の貸出を行います。また、青色回転灯付パトロール車で下校時を中心に防犯パトロールを実施し、不審者情報等発生時には、多摩中央警察署と連携し、パトロールを強化します。	・青色回転灯防犯パトロール車の貸出 362回 ・職員による下校時を中心とした青色回転灯防犯パトロール車でのパトロールを実施した。 ・防犯資機材支給(団体及び個人) 令和3年3月31日現在の登録団体 126団体 令和3年3月31日現在の登録個人 26人	・青色回転灯防犯パトロール車の貸出 297回 ・職員による下校時を中心とした青色回転灯防犯パトロール車でのパトロールを実施した。 ・防犯資機材支給(団体及び個人) 令和4年3月31日現在の登録団体 129団体 令和4年3月31日現在の登録個人 26人	職員、防犯団体等による下校時を中心とした青色回転灯防犯パトロール車でのパトロールを実施した。 青色回転灯防犯パトロール車の貸出 262回 防犯資機材支給(団体及び個人) 令和5年3月31日現在の登録団体 132団体 令和5年3月31日現在の登録個人 27人	職員、防犯団体等による下校時を中心とした青色回転灯防犯パトロール車でのパトロールを実施した。 青色回転灯防犯パトロール車の貸出 191回 防犯資機材支給(団体及び個人) 令和6年3月31日現在の登録団体 134団体 令和6年3月31日現在の登録個人 27人	引き続き、PTAや防犯ボランティア団体、個人へ防犯資機材の貸出を行う。また、青色回転灯付パトロール車で下校時を中心に防犯パトロールを実施し、不審者情報等発生時には、多摩中央警察署と連携し、パトロールを強化する。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
54	2-3-(3)-⑤ 児童館	児童青少年課	自由な遊びの場を提供し、心身の健全育成、情操を豊かにすることを目的とした児童館事業を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	継続して、自由な遊びの場を提供し、心身の健全育成、情操を豊かにすることを目的とした児童館事業を実施している。	2 課題がない。		1 継続	継続して、自由な遊びの場を提供し、心身の健全育成、情操を豊かにすることを目的とした児童館事業を実施するため。
54	2-3-(3)-⑥ 学童クラブ	児童青少年課	放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	継続して、放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図っている。	2 課題がない。		1 継続	継続して、放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図るため。
54	2-3-(3)-⑦ 放課後子ども教室	生涯学習課	小学校全校・全学年を対象に放課後の児童の安全・安心な居場所を確保し、事業の充実を図ります。	A 計画した以上の成果が出ている。	令和5年度にオンラインによる申し込みを開始し、24時間申し込みが可能になったことから利便性が向上した。また、おやつ提供、利用時間の延長を開始し、必要としている市民のニーズに応えることができた。	2 課題がない。		3 拡充・充実	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保することに加え、国から示されている、学童との「連携型」「校内交流型」についても関係課と調整しながら検討していく。
54	2-3-(3)-⑧ 防犯・犯罪被害防止教育の推進	指導課	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭わない、事件に巻き込まれないための未然防止対応について学習を進めます。	B 計画どおりに進んでいる。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭わない、事件に巻き込まれないための未然防止対応について学習を進めることができている。	2 課題がない。		1 継続	防犯・犯罪被害防止教育を推進する必要があるため
54	2-3-(3)-⑨ 児童虐待対応事業	子ども家庭支援センター課・指導課	児童虐待の防止・早期発見・早期対応のために、家族及び地域住民や学校等の関係機関等からの虐待通告に対し、子ども家庭支援センターで迅速に対応します。	B 計画どおりに進んでいる。	(子ども家庭支援センター課) 令和2年度新規虐待相談件数194件。 地域住民や関係機関からの通告、児童相談所からの送致に関して迅速に対応した。 (指導課) 児童虐待の防止・早期発見・早期対応のため、日頃より関係機関との連携を図り、児童・生徒に虐待の形跡が確認された場合は、速やかに子ども家庭支援センターへ通告するなどの対応を実施した。	2 課題がない。		1 継続	(子ども家庭支援センター課) 児童虐待の防止・早期発見・早期対応のため。 (指導課) 子ども家庭支援センター課と連携を図りながら早期発見・早期対応を行う必要があるため。
54	2-3-(3)-⑩ 要保護児童対策地域協議会(再掲)	子ども家庭支援センター課	児童虐待の防止及び早期発見・早期対応のために、代表者会議では要保護児童対策の検討及び関係機関の連携を強化。実務者会議では要保護児童等の実態把握や支援を行っているケースの総合的な把握・進行管理等について協議・検討、個別ケース検討会議では個別の案件について具体的な支援の内容を検討します。	B 計画どおりに進んでいる。	要保護児童等の実態把握や支援を行っているケースの総合的な把握・進行管理等に努めた。	2 課題がない。		1 継続	協議会の継続により事業概要記載事項を継続していく必要がある。
54	2-3-(3)-⑪ 防災教育の推進	指導課	各学校において様々な災害を想定した防災教育や、地域と連携した防災訓練などを実施します。また、マイ備蓄としての全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備します。	B 計画どおりに進んでいる。	各学校において様々な災害を想定した防災教育や、地域と連携した防災訓練などを実施している。また、マイ備蓄としての全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備することができている。	2 課題がない。		1 継続	防災教育の推進を図る必要があるため
54	2-3-(3)-⑫ 交通安全教育の推進	指導課	警察と連携し、交通ルールの理解や、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取組の充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	警察と連携し、交通ルールの理解や、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取組の充実を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	交通安全教育の推進を図る必要があるため
55	2-3-(3)-⑬ 情報モラル教育の推進	指導課	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットやSNSなどの適正利用やトラブル防止のため、情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットやSNSなどの適正利用やトラブル防止のため、情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進することができている。	1 課題がある。	国では平成29年10月に教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインを作成し、令和6年1月に改訂している。市では「稲城市立小中学校校務用パソコン情報共有ネットワークシステム情報セキュリティ実施手順」は策定されているが、GIGAスクール導入後のセキュリティポリシーを策定していない。	1 継続	情報モラル教育の推進を図る必要があるため
55	2-3-(3)-⑭ 薬物乱用防止教室事業	指導課	学習指導要領に基づき、薬物乱用防止教室の実施や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語の活用など、薬物乱用防止の取組を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	学習指導要領に基づき、薬物乱用防止教室の実施や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語の活用など、薬物乱用防止の取組を推進することができている。	2 課題がない。		1 継続	薬物乱用防止の取り組みを推進する必要があるため
55	2-3-(3)-⑮ アレルギー疾患への組織的対応	学務課・指導課	学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患への対応を行うため、家庭、関係機関等と連携し、個々の状況の把握や情報共有を行うとともに、教職員が正確な知識を身に付け、校内で組織的に対応できる体制の維持・充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	(学務課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患へ対応するため、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、情報収集・共有することで、事故防止が図られたため。 (指導課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患への対応を行うため、家庭、関係機関等と連携し、個々の状況の把握や情報共有を行うとともに、教職員が正確な知識を身に付け、校内で組織的に対応できる体制の維持・充実を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患へ対応するため、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、情報収集・共有することで、継続して事故防止に努める必要があるため。
55	2-3-(3)-⑯ 食物アレルギー対応食の提供	学校給食課	新たな学校給食共同調理場第一調理場において、食物アレルギー対応食の提供を実施します。専用の調理室で調理した除去食または代替食を予め申請した児童・生徒に提供していきます。	B 計画どおりに進んでいる。	申請のあった児童・生徒への食物アレルギー対応食を適切に提供した。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、申請のあった児童・生徒への食物アレルギー対応食を適切に提供していく。
59	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <4 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD)の推進> (1)環境・防災・国際理解などの社会の変化に自律的に対応できる力の育成								
59	2-4-(1)-① 環境教育の推進	指導課	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、多摩川、三沢川、大丸用水や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組みます。	B 計画どおりに進んでいる。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、多摩川、三沢川、大丸用水や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組むことができている。	2 課題がない。		1 継続	市の環境基本計画の施策でもあり、環境教育の推進を図る必要があるため
59	2-4-(1)-② 防災教育の推進(再掲)	指導課	各学校において様々な災害を想定した防災教育や、地域と連携した防災訓練などを実施します。また、マイ備蓄としての全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備します。	B 計画どおりに進んでいる。	各学校において様々な災害を想定した防災教育や、地域と連携した防災訓練などを実施している。また、マイ備蓄としての全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備することができている。	2 課題がない。		1 継続	防災教育の推進を図る必要があるため
59	2-4-(1)-③ ユネスコ・スクールへの登録	指導課	市内全小・中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践します。	B 計画どおりに進んでいる。	市内全小・中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践することができている。	2 課題がない。		6 他事業と統合	16校がユネスコ・スクールに登録し、2校は国内審査を終え、ユネスコ本部に申請段階である。今後は2-4-(1)-⑧ESDの計画的な推進に含める。
59	2-4-(1)-④ 野沢温泉村宿泊体験(再掲)	指導課	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学びます。 野沢温泉村と連携し、現地に「稲城100年の森」を育成します。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学びます。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、宿泊体験ができない時期があったが、交流事業を再開することで、環境保全や自然を活かした暮らしを学ぶことができている。	1 課題がある。	野沢温泉村でのキャンプ場や民宿の受け入れ先の確保が難しくなっているため、宿泊場所や体験する内容を見直す必要がでてきている。	1 継続	他地域での自然や文化を学ぶ機会を検討しつつ、可能な範囲で交流する事業を継続していく。
60	2-4-(1)-⑤ 農業体験、園芸体験、河川を活用した体験	指導課	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川、三沢川、大丸用水や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などへの理解を深めます。	B 計画どおりに進んでいる。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川、三沢川、大丸用水や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などへの理解を深めることができている。	2 課題がない。		1 継続	農業体験学習については市食育推進計画の取り組みでもあり、園芸体験、河川を活用した体験もあわせて推進する必要があるため
60	2-4-(1)-⑥ 福祉教育の推進	指導課	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通して、思いやりの心や実践的態度を育みます。	B 計画どおりに進んでいる。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通じて、思いやりの心や実践的態度を育むことができている。	2 課題がない。		1 継続	福祉教育は市の市保健福祉総合計画の施策でもあり、取り組む必要があるため

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
54	2-3-(3)-⑤ 児童館	児童青少年課	自由な遊びの場を提供し、心身の健全育成、情操を豊かにすることを目的とした児童館事業を実施します。	文化・スポーツ・創作活動を通じ、子ども達の心と体の成長や発達が目れるよう、児童館事業を実施した。 令和2年度市内5児童館の延利用者数34,224人 新型コロナウイルス感染症の影響により4月1日から6月7日まで閉館し、6月8日より感染症対策を行いながら開館した。	文化・スポーツ・創作活動を通じ、子ども達の心と体の成長や発達が目れるよう、児童館事業を実施した。 令和3年度市内5児童館の延利用者数59,526人	文化・スポーツ・創作活動を通じ、子ども達の心と体の成長や発達が目れるよう、児童館事業を実施した。 令和4年度市内5児童館の延利用者数69,014人	文化・スポーツ・創作活動を通じ、子ども達の心と体の成長や発達が目れるよう、児童館事業を実施した。 令和5年度市内5児童館の延利用者数75,430人	自由な遊びの場を提供し、心身の健全育成、情操を豊かにすることを目的とした児童館事業を実施する。
54	2-3-(3)-⑥ 学童クラブ	児童青少年課	放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。	市内15学童クラブで実施した。 放課後の一定時間の預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図った。 市内15学童クラブ 延在籍者数 8,653人 新型コロナウイルス感染症の影響により、4月20日から5月31日まで臨時閉所とした。	市内15学童クラブで実施した。 放課後の一定時間の預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図った。 市内15学童クラブ 延在籍者数 8,681人	市内16学童クラブで実施した。 放課後の一定時間の預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図った。 市内16学童クラブ 延在籍者数 10,710人	市内16学童クラブで実施した。 放課後の一定時間の預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図った。 市内16学童クラブ 延在籍者数 10,760人	放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図る。
54	2-3-(3)-⑦ 放課後子ども教室	生涯学習課	小学校全校・全学年を対象に放課後の児童の安全・安心な居場所を確保し、事業の充実を図ります。	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保した。 全学年登録率：35.1% 低学年登録率：50.5% 学童クラブ入所児童を除く低学年登録率：66.9%(3月末時点)	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保した。 全学年登録率：27.8% 低学年登録率：44.4% 学童クラブ入所児童を除く低学年登録率：59.5%(3月末時点)	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保した。 全学年登録率：28.9% 低学年登録率：44.3% 学童クラブ入所児童を除く低学年登録率：63.6%(3月末時点)	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保した。 午後6時までの利用時間延長とおやつの提供を試行実施として行った。 全学年登録率：34.5% 低学年登録率：50.7%	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保する。 また、開室時間の拡大とおやつの提供を本実施し、必要としている市民のニーズに応えていく。
54	2-3-(3)-⑧ 防犯・犯罪被害防止教育の推進	指導課	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭わない、事件に巻き込まれないための未然防止対応について学習を進めます。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭わない、事件に巻き込まれないための未然防止対応について学習を進める。
54	2-3-(3)-⑨ 児童虐待対応事業	子ども家庭支援センター課・指導課	児童虐待の防止・早期発見・早期対応のために、家族及び地域住民や学校等の関係機関等からの虐待通告に対し、子ども家庭支援センターで迅速に対応します。	(子ども家庭支援センター課) 令和2年度新規虐待相談件数194件。 地域住民や関係機関からの通告、児童相談所からの送致に関して迅速に対応した。 (指導課) 児童虐待の防止・早期発見・早期対応のため、日頃より関係機関との連携を図り、児童・生徒に虐待の形跡が確認された場合は、速やかに子ども家庭支援センターへ通告するなどの対応を実施した。	(子ども家庭支援センター課) 令和3年度新規虐待相談件数204件。 地域住民や関係機関からの通告、児童相談所からの送致に関して迅速に対応した。 また、保育園や小・中学校にチラシを配布し、虐待の早期発見・早期対応につながるよう努めた。 (指導課) 児童虐待の防止・早期発見・早期対応のため、日頃より関係機関との連携を図り、児童・生徒に虐待の形跡が確認された場合は、速やかに子ども家庭支援センターへ通告するなどの対応を実施した。	(子ども家庭支援センター課) 令和4年度新規虐待相談件数167件。 地域住民や関係機関からの通告、児童相談所からの送致に関して迅速に対応した。 また、保育園や小・中学校にチラシを配布し、虐待の早期発見・早期対応につながるよう努めた。 (指導課) 児童虐待の防止・早期発見・早期対応のため、日頃より関係機関との連携を図り、児童・生徒に虐待の形跡が確認された場合は、速やかに子ども家庭支援センターへ通告するなどの対応を実施した。	(子ども家庭支援センター課) 令和4年度新規虐待相談件数集計中。 地域住民や関係機関からの通告、児童相談所からの送致に関して迅速に対応した。 また、保育園や小・中学校にチラシを配布し、虐待の早期発見・早期対応につながるよう努めた。 (指導課) 保育園や小・中学校にチラシを配布し、本人、保護者から子ども家庭支援センターに連絡できるよう周知を行い、早期発見・早期対応のための強化を図る。	(子ども家庭支援センター課) 保育園や小・中学校にチラシを配布し、本人、保護者から子ども家庭支援センターに連絡できるよう周知を行い、早期発見・早期対応のための強化を図る。 (指導課) 児童虐待の防止・早期発見・早期対応のため、日頃より関係機関との連携を図り、児童・生徒に虐待の形跡が確認された場合は、速やかに子ども家庭支援センターへ通告するなどの対応を実施する。
54	2-3-(3)-⑩ 要保護児童対策地域協議会(再掲)	子ども家庭支援センター課	児童虐待の防止及び早期発見・早期対応のために、代表者会議では要保護児童対策の検討及び関係機関の連携を強化、実務者会議では要保護児童等の実態把握や支援を行っているケースの総合的な把握・進行政管理等について協議・検討、個別ケース検討会議では個別の案件について具体的な支援の内容を検討します。	代表者会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止、実務者会議は、見相との進行政管理会議を4回、特定妊婦部会を1回、個別ケース検討会議を32回行った。	代表者会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催、実務者会議は、見相との進行政管理会議を4回、特定妊婦部会を1回、個別ケース検討会議を25回行った。	代表者会議を7月に開催、実務者会議として児童相談所との進行政管理会議を4回、特定妊婦部会を3回、虐待予防検討会を10回、個別ケース検討会議を34回行った。	代表者会議を7月に開催、実務者会議として児童相談所との進行政管理会議を4回、特定妊婦部会を3回、虐待予防検討会を10回、個別ケース検討会議を28回行った。	児童虐待の防止及び早期発見・早期対応のために、代表者会議では要保護児童対策の検討及び関係機関の連携を強化、実務者会議では要保護児童等の実態把握や支援を行っているケースの総合的な把握・進行政管理等について協議・検討、個別ケース検討会議では個別の案件について具体的な支援の内容を検討する。
54	2-3-(3)-⑪ 防災教育の推進	指導課	各学校において様々な災害を想定した防災教育や、地域と連携した防災訓練などを実施します。また、マイ備蓄としての全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備します。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	各学校において様々な災害を想定した防災教育や、地域と連携した防災訓練などを実施する。また、マイ備蓄としての全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備する。
54	2-3-(3)-⑫ 交通安全教育の推進	指導課	警察と連携し、交通ルールの理解や、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取組の充実を図ります。	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取り組みの充実を図った。	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取り組みの充実を図った。	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取り組みの充実を図った。	警察と連携し、交通ルールの理解や、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取り組みの充実を図った。	警察と連携し、交通安全ルールの理解や、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取組の充実を図る。
55	2-3-(3)-⑬ 情報モラル教育の推進	指導課	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットやSNSなどの適正利用やトラブル防止のため、情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進します。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため、情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進した。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため、情報モラル教育の年間指導計画を活用し、情報モラル教育を推進した。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため、情報モラル教育の年間指導計画を活用し、情報モラル教育を推進した。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため、情報モラル教育の年間指導計画を活用し、情報モラル教育を推進した。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットやSNSなどの適正利用やトラブル防止のため、情報モラル教育の年間指導計画を活用し、情報モラル教育を推進する。
55	2-3-(3)-⑭ 薬物乱用防止教室事業	指導課	学習指導要領に基づき、薬物乱用防止教室の実施や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語の活用など、薬物乱用防止の取組を推進します。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施した。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施した。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施した。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施した。	学習指導要領に基づき、薬物乱用防止教室の実施や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語の活用など、薬物乱用防止の取組を推進する。
55	2-3-(3)-⑮ アレルギー疾患への組織的対応	学務課・指導課	学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患への対応を行うため、家庭、関係機関等と連携し、個々の状況の把握や情報共有を行うとともに、教職員が正確な知識を身に付け、校内で組織的に対応できる体制の維持・充実を図ります。	(学務課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患へ対応するため、「学校生活管理指導表」の取扱いを市独自の運用方法から国のガイドラインに則った取扱いとする等として「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を策定し、その対応方法等について学校及び学校給食課と共通理解を図った。 (指導課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患への対応を行うため、家庭、関係機関等と連携し、個々の状況の把握や情報共有を行うとともに、教職員が正確な知識を身に付けるための校内研修の実施や非常時の組織的対応に関する体制の維持・充実を図った。	(学務課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患へ対応するため、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、情報収集・共有することで、事故防止に努めた。 (指導課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患への対応を行うため、家庭、関係機関等と連携し、個々の状況の把握や情報共有を行うとともに、教職員が正確な知識を身に付けるための校内研修の実施や非常時の組織的対応に関する体制の維持・充実を図った。	(学務課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患へ対応するため、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、情報収集・共有することで、事故防止に努めた。 (指導課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患への対応を行うため、家庭、関係機関等と連携し、個々の状況の把握や情報共有を行うとともに、教職員が正確な知識を身に付けるための校内研修の実施や非常時の組織的対応に関する体制の維持・充実を図った。	(学務課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患へ対応するため、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、情報収集・共有することで、事故防止に努めた。 (指導課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患への対応を行うため、家庭、関係機関等と連携し、個々の状況の把握や情報共有を行うとともに、教職員が正確な知識を身に付けるために、年度初めに校内研修を実施し、非常時の組織的対応に関する体制の維持・充実を図る。	
55	2-3-(3)-⑯ 食物アレルギー対応食の提供	学校給食課	新たな学校給食共同調理場第一調理場において、食物アレルギー対応食の提供を実施します。専用の調理室で調理した除去食または代替食を予め申請した児童・生徒に提供していきます。	令和3年4月からの調理場稼働開始に向けて、各小中学校より食物アレルギー対応食(除去食または代替食)を希望する児童・生徒の申請を受け付け、提供すべく諸準備を行った。	稲城市立学校給食共同調理場第一調理場において、専用の調理室で調理した食物アレルギー対応食(除去食または代替食)の提供を、各小中学校より申請のあった児童・生徒18人に対し実施した。	稲城市立学校給食共同調理場第一調理場において、申請のあった児童・生徒20人に対し、専用の調理室で調理した食物アレルギー対応食(除去食または代替食)を提供した。	稲城市立学校給食共同調理場第一調理場において、申請のあった児童・生徒23人に対し、専用の調理室で調理した食物アレルギー対応食(除去食または代替食)を提供した。	稲城市立学校給食共同調理場第一調理場において、申請のあった児童・生徒に対し、専用の調理室で調理した食物アレルギー対応食(除去食または代替食)を提供する。
59	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜4 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD)の推進＞ (1)環境・防災・国際理解などの社会の変化に自律的に対応できる力の育成							
59	2-4-(1)-① 環境教育の推進	指導課	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、多摩川、三沢川、大丸用水や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組めます。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、総合的な学習の時間等を活用して、多摩川や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組んだ。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、総合的な学習の時間等を活用して、多摩川や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組んだ。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、多摩川、三沢川、大丸用水や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組んだ。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、多摩川、三沢川、大丸用水や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組んだ。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、多摩川、三沢川、大丸用水や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組む。
59	2-4-(1)-② 防災教育の推進(再掲)	指導課	各学校において様々な災害を想定した防災教育や、地域と連携した防災訓練などを実施します。また、マイ備蓄としての全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備します。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	各学校において様々な災害を想定した防災教育や、地域と連携した防災訓練などを実施する。また、マイ備蓄としての全児童・生徒の「子ども防災自助バック」を学校に整備する。
59	2-4-(1)-③ ユネスコ・スクールへの登録	指導課	市内全小・中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践します。	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践した。	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践した。	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践した。(2校は申請中)	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践した。2校は国内審査を終え、キャンディード校として承認されたが、ユネスコ本部に申請し登録待ちである。	市内全小・中学校がユネスコ・スクール(2校はキャンディード校)として、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践する。
59	2-4-(1)-④ 野沢温泉村宿泊体験(再掲)	指導課	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学びます。 野沢温泉村と連携し、現地に「稲城100年の森」を育成します。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恵恩や活用について学びます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、野沢温泉村宿泊体験事業は中止した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、野沢温泉村宿泊体験事業については、小学校は6校のみ2泊3日にて、中学校は2校のみ3泊4日にて、自然、文化体験を実施することができた。	野沢温泉村宿泊体験事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努め、小学校は3泊3日にて、中学校は3泊4日にて、自然、文化体験を実施することができた。	野沢温泉村宿泊体験事業については、小学校は3泊4日にてテント泊と民宿泊を行い自然、文化体験を通して、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶことができた。中学校は3泊4日にてスノーシューやスキー体験を通して厳冬期を体験し、自然の恵恩や活用について学ぶことができた。	野沢温泉村で、キャンプ等の自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶ。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恵恩や活用について学ぶ。
60	2-4-(1)-⑤ 農業体験、園芸体験、河川を活用した体験	指導課	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川、三沢川、大丸用水や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などへの理解を深めます。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川、三沢川、大丸用水や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などへの理解を深める。
60	2-4-(1)-⑥ 福祉教育の推進	指導課	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通じて、思いやりの心や実践的態度を育みます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動内容を縮小しての実施であったが、総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通じて、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動内容を縮小しての実施であったが、総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通じて、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行った。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通じて、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行った。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通じて、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行った。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通じて、思いやりの心や実践的態度を育む。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
60	2-4-(1)-⑦ オリンピック・パラリンピックのレガシーを生かした取組の推進	指導課	東京2020大会以降もオリンピック・パラリンピック教育の成果を生かし、各学校の特色を生かした「学校2020レガシー」の取組を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	東京2020大会以降もオリンピック・パラリンピック教育の成果を生かし、各学校の特色を生かした「学校2020レガシー」の取組を推進することができている。	2 課題がない。		1 継続	令和4年度から「学校2020レガシー」として、オリンピック・パラリンピック教育で重点的に育成してきた5つの資質を継続・発展させることとなったため、「学校2020レガシーの推進」として取り組んでいく。 (参考)5つの資質 ①ボランティアマインド②障害者理解③スポーツ志向④日本人としての自覚と誇り⑤豊かな国際感覚
60	2-4-(1)-⑧ ESDの計画的な推進	指導課	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行っている。ESDの視点を生かした教育課程を編成し、環境教育や防災教育、福祉教育等に取り組んでいる。	2 課題がない。		1 継続	ESDの計画的な推進に取り組む必要があるため
61	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <4 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD)の推進> (2)社会的・職業的自立を図る教育の推進								
61	2-4-(2)-① 中学生ESD卒業プログラム	指導課	義務教育という守られた環境の中で暮らしてきた中学校3年生に、自ら選択した進路先に踏み出す時期において、「ここからが大人への第一歩」であり、卒業後は自立した稲城市民であるという自覚を促します。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値(不易)の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	義務教育という守られた環境の中で暮らしてきた中学校3年生に、自ら選択した進路先に踏み出す時期において、「ここからが大人への第一歩」であり、卒業後は自立した稲城市民であるという自覚を促している。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値(不易)の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施できている。	2 課題がない。		1 継続	社会的・職業的自立を図る教育を推進するため、中学生ESD卒業プログラムを継続する必要があるため
61	2-4-(2)-② 職場体験事業	指導課	市内中学校において職場での体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めます。	B 計画どおりに進んでいる。	市内中学校において職場での体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができている。	2 課題がない。		1 継続	社会的・職業的自立を図る教育を推進するため、職場体験事業を継続する必要があるため
61	2-4-(2)-③ ボランティア活動の推進	指導課	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組み、公共のために役に立とうとする意欲・態度を育みます。	B 計画どおりに進んでいる。	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組み、公共のために役に立とうとする意欲・態度を育むことができている。	2 課題がない。		1 継続	社会的・職業的自立を図る教育として、ボランティア活動を推進する必要があるため
63	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (1)教員の資質・能力の向上								
63	2-5-(1)-① 教員の研修・研究の充実	指導課	教員の資質向上・授業改善を図るために、教員が子ども向き合う時間を確保しつつ研修方法を見直しながら内容を充実するとともに、各校の研修・研究を支援します。	B 計画どおりに進んでいる。	教員の資質向上・授業改善を図るために、教員が子どもと向き合う時間を確保しつつ研修方法を見直しながら内容を充実することができている。また、各校の研修・研究を支援するために交付金を交付できている。	2 課題がない。		1 継続	教員の研修・研究の充実を図る必要があるため
63	2-5-(1)-② 稲城市立学校教育研究会の充実(再掲)	指導課	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	稲城市立学校教育研究会の充実を図る必要があるため
63	2-5-(1)-③ 校内OJTの実施	指導課	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取組の推進を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取組の推進を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	教員の資質・能力の向上のために、校内OJTに取り組む必要があるため
63	2-5-(1)-④ 服務事故防止研修の実施	指導課	子どもや保護者・地域から信頼される学校運営を行うために、服務事故防止研修を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	子どもや保護者・地域から信頼される学校運営を行うために、服務事故防止研修を実施することができている。	2 課題がない。		1 継続	服務事故防止に取り組む必要があるため
64	2-5-(1)-⑤ 学校運営協議会(旧:学校運営連絡協議会)(再掲)	指導課	地域に根ざした学校運営のため協議会を設置し、定期的な意見交換、協議を行い、地域に開かれた学校を目指します。	B 計画どおりに進んでいる。	これまで、学校運営連絡協議会を設置し、学校と地域団体との連絡会を実施していたが、令和4年度から全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する場へ移行することができた。	2 課題がない。		1 継続	全校に設置した学校運営協議会において、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議し、学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを推進する必要があるため
64	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (2)教員が子どもと向き合う時間の確保								
64	2-5-(2)-① 学校における働き方改革の実現に向けた環境整備	指導課・教育総務課	教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、働き方改革の実現に向けた環境整備を図り、教員の負担軽減を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	(指導課) 教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、働き方改革の実現に向けた環境整備を図り、教員の負担軽減を図ることができている。 (教育総務課) 統合型校務支援システムの導入、電話音声対応メッセージによる自動応答の運用を通じて環境整備を進めてきた。 出退勤システムの導入により、客観的な勤務状況を記録できるよう整備した。	1 課題がある。	(指導課) 教員の時間外勤務の増加、土日の部活動の負担など改善すべき課題がある。 (教育総務課) 長時間勤務が記録されている教職員が認められているため、働き方改革について、計画に基づき教育委員会・学校における取組みを総合的に推進していく必要がある。	1 継続	学校における働き方改革の実現に向けて、人的支援、ICT機器の活用など環境整備を図る必要があるため
64	2-5-(2)-② 学校及び教員が担う業務の明確化及び適正化	指導課・教育総務課	教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、学校が担うべき業務を明確化及び適正化するなど、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	(指導課) 市立小中学校全校にスクール・サポート・スタッフを配置し、教員の負担軽減に努めるほか、学校における事務職員の標準的な職務の内容を市教育委員会規則上に定めて、学校において事務職員が担うべき業務を明確化させた。 (教育総務課) 学校開放の予約において、公共施設予約システムによる運用を行い、教員の負担軽減を図った。 また、学校事務員の事務作業の業務改善を図り、校務運営への参画が容易な環境づくりを進めた。	2 課題がない。		1 継続	学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図る必要があるため。
64	2-5-(2)-③ スクールカウンセラー等の活用	指導課	各小・中学校にスクールカウンセラーを配置するとともに、教育センターに教育相談員を配置し、児童・生徒や保護者、教員を対象とした相談を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	各小・中学校にスクールカウンセラーを配置するとともに、教育センターに教育相談員を配置し、児童・生徒や保護者、教員を対象とした相談を実施することができている。	1 課題がある。	スクールカウンセラーは各校1名、1名加配による19人体制で行っているが、学校によっては、相談数が多く予約が取りにくいことがある。市の教育相談員と連携できる体制を構築する必要がある。	1 継続	カウンセラー等に専門家に相談することで、教員を支える体制をつくることができるため
65	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (3)特別支援教育の充実								
65	2-5-(3)-① 特別支援教育体制の充実	指導課	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒への指導・支援として、各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒への指導・支援として、各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	特別支援教育体制の充実を図る必要があるため。
65	2-5-(3)-② 特別支援教育の専門性向上	指導課	教員研修の実施や、特別支援学校との連携、特別支援教育相談室による巡回相談などにより、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	教員研修の実施や、特別支援学校との連携、特別支援教育相談室による巡回相談などにより、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	特別支援教育の専門性を向上する必要があるため。
65	2-5-(3)-③ 就学相談	指導課	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、特別支援教育相談室において、就学相談を行います。また、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を設け、専門医の面談及び支援会議を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学相談、就学支援委員会を設け、専門医の面談及び支援会議を実施できている。	1 課題がある。	特別支援教育相談室で相談数や、就学支援委員会の審査対象者数が増加している。教育相談員を増員しているが、相談員の質や判断に差が出ないよう、相談員を現場で取りまとめる職員が必要である。教育センターとして組織を強化する必要がある。	1 継続	児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた、きめ細やかな指導や相談が必要であるため。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	題名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
60	2-4-(1)-⑦ オリンピック・パラリンピックのレガシーを生かした取組の推進	指導課	東京2020大会以降もオリンピック・パラリンピック教育の成果を生かし、各学校の特色を生かした「学校2020レガシー」の取組を推進します。	これまでのオリンピック・パラリンピック教育の取組を生かし、各学校で「学校2020レガシー」の取組を推進した。	これまでのオリンピック・パラリンピック教育の取組を生かし、各学校で「学校2020レガシー」の取組を推進した。	東京2020大会以降もオリンピック・パラリンピック教育の成果を生かし、各学校の特色を生かした「学校2020レガシー」の取組を推進した。	東京2020大会以降もオリンピック・パラリンピック教育の成果を生かし、各学校の特色を生かした「学校2020レガシー」の取組を推進した。	東京2020大会以降もオリンピック・パラリンピック教育の成果を生かし、各学校の特色を生かした「学校2020レガシー」の取組を推進する。
60	2-4-(1)-⑧ ESDの計画的な推進	指導課	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行います。	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行った。	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行った。	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行った。	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行った。	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行う。
61	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進	指導課	2-4-(2)-① 中学生ESD卒業プログラム	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <4 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD)の推進> (2)社会的・職業的自立を図る教育の推進				
61	2-4-(2)-① 中学生ESD卒業プログラム	指導課	義務教育という守られた環境の中で暮らしてきた中学校3年生に、自ら選択した進路先に踏み出す時期において、「ここからが大人への第一歩」であり、卒業後は自立した稲城市民であるという自覚を促します。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値(不易)の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施します。	ESD卒業プログラムに取り組むことで、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値(不易)の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の一部を縮小しての実施であったが、ESD卒業プログラムに取り組むことで、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値(不易)の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施した。	ESD卒業プログラム(認知症サポーター中学生養成講座、地域との連携による国際理解教育、地域との連携によるキャリア教育、その他将来の地域や社会の担い手となるための自覚や資質を高める学習活動)に取り組むことで、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。	ESD卒業プログラム(認知症サポーター中学生養成講座、地域との連携による国際理解教育、地域との連携によるキャリア教育、その他将来の地域や社会の担い手となるための自覚や資質を高める学習活動)に取り組むことで、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。	ESD卒業プログラム(認知症サポーター中学生養成講座、地域との連携による国際理解教育、地域との連携によるキャリア教育、その他将来の地域や社会の担い手となるための自覚や資質を高める学習活動)に取り組む、義務教育という守られた環境の中で暮らしてきた中学生に、自ら選択した進路先に踏み出す時期において、「ここからが大人への第一歩」であり、卒業後は自立した稲城市民であるという自覚を促す。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値(不易)の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施する。
61	2-4-(2)-② 職場体験事業	指導課	市内中学校において職場での体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めます。	市内全中学校における職場体験学習事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したが、保護者や地域の方に職種に関する講演をいただくなどして、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。	市内全中学校における職場体験学習事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止したが、保護者や地域の方、企業の方に職種に関する講演をいただくなどして、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。	市内全中学校における職場体験学習事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止したが、保護者や地域の方、企業の方に職種に関する講演をいただくなどして、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。	市内中学校において職場での体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。	市内中学校において職場での体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高める。
61	2-4-(2)-③ ボランティア活動の推進	指導課	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組み、公共のために役に立とうとする意欲・態度を育みます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組むことができた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組むことができた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組むことができた。	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組み、公共のために役に立とうとする意欲・態度を育むことができた。	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組み、公共のために役に立とうとする意欲・態度を育む。
63	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進	指導課	2-5-(1)-① 教員の研修・研究の充実	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (1)教員の資質・能力の向上				
63	2-5-(1)-① 教員の研修・研究の充実	指導課	教員の資質向上・授業改善を図るために、教員が子どもと向き合う時間を確保しつつ研修方法を見直しながら内容を充実するとともに、各校の研修・研究を支援します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催の仕方や内容を一部変更した実施であったが、教員の資質向上・授業改善をめざして研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援することができた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催の仕方やオンライン開催に変更した実施であったが、教員の資質向上・授業改善をめざして研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援することができた。	教員の資質向上・授業改善を図るために、教員が子どもと向き合う時間を確保しつつ研修方法を見直しながら実施した。校内研究会講師謝礼や研究奨励校に交付金補助等の支援を実施した。	教員の資質向上・授業改善を図るために、教員が子どもと向き合う時間を確保しつつ研修方法を見直しながら実施した。校内研究会講師謝礼や研究奨励校に交付金補助等の支援を実施した。	教員の資質向上・授業改善を図るために、教員が子どもと向き合う時間を確保しつつ研修方法を見直しながら内容を充実するとともに、各校の研修・研究を支援する。
63	2-5-(1)-② 稲城市立学校教育研究会の充実(再掲)	指導課	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、小・中学校合同の教科研究会を年間を通して11回行い、研究の成果を紙面に発表した。また、研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、小・中学校合同の教科研究会を年間を通して実施し、研究の成果を紙面に発表した。また、研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の教科研究会を年間を通して実施し、研究発表会を会場の他にオンラインでも実施した。また、研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の教科研究会を年間を通して実施し、研究発表会を会場の他にオンラインでも実施した。また、研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図る。
63	2-5-(1)-③ 校内OJTの実施	指導課	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取組の推進を図ります。	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくために、校内OJTの取組を推進することができた。	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくために、校内OJTの取組を推進することができた。	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくために、校内OJTの取組を推進することができた。	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくために、校内OJTの取組を推進することができた。	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくために、校内OJTの取組を推進する。
63	2-5-(1)-④ 服務事故防止研修の実施	指導課	子どもや保護者・地域から信頼される学校運営を行うために、服務事故防止研修を実施します。	子どもや保護者・地域から信頼される学校運営を行うために、毎回の校長会にて校内研修で取り組む視点を示したり、東京都教育委員会が発出している「ふくむニュースレター」を活用した事故防止研修を実施したりした。	子どもや保護者・地域から信頼される学校運営を行うために、毎回の校長会にて校内研修で取り組む視点を示したり、東京都教育委員会が発出している「ふくむニュースレター」を活用した事故防止研修を実施したりした。	定例校長会において校内研修で取り組む視点の提示や、東京都教育委員会が発出している「ふくむニュースレター」を活用した服務事故防止研修を実施した。	子どもや保護者・地域から信頼される学校運営を行うために、定例校長会において校内研修で取り組む視点の提示や、東京都教育委員会が発出している「ふくむニュースレター」を活用した服務事故防止研修を実施する。	子どもや保護者・地域から信頼される学校運営を行うために、定例校長会において校内研修で取り組む視点の提示や、東京都教育委員会が発出している「ふくむニュースレター」を活用した服務事故防止研修を実施する。
64	2-5-(1)-⑤ 学校運営協議会(旧:学校運営連絡協議会)(再掲)	指導課	地域に根ざした学校運営のための協議会を設置し、定期的な意見交換、協議を行い、地域に開かれた学校を目指す。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得よう努めた。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得よう努めた。	令和4年度から全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、場へ移行した。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに努めた。	全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する場へ移行した。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに努めた。学校運営協議会会長連絡会を開催し、情報共有を図った。	全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに推進する。学校運営協議会会長連絡会を開催し、情報共有を図る。
64	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進	指導課	2-5-(2)-① 学校における働き方改革の実現に向けた環境整備	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (2)教員が子どもと向き合う時間の確保				
64	2-5-(2)-① 学校における働き方改革の実現に向けた環境整備	指導課・教育総務課	教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、働き方改革の実現に向けた環境整備を図り、教員の負担軽減を図ります。	(指導課)教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、働き方改革の実現に向け、主管会議の回数を見直すなど、教員の負担軽減を図った。 (教育総務課)教員の在校時間を客観的に把握することができるよう、小・中学校に出勤管理システムを導入した。また、勤務時間外における電話応対メッセージによる音声応答を導入することにより、教員の負担軽減を図り、教員の働き方改革を推進した。	(指導課)教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、働き方改革の実現に向け、主管会議の回数を見直すなど、教員の負担軽減を図った。 (教育総務課)出勤管理システムや電話応対メッセージによる音声応答の運用により、教員の働き方改革を推進した。	(指導課)教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、働き方改革の実現に向け、主管会議の回数を見直すなど、教員の負担軽減を図った。 (教育総務課)令和4年度に稲城市立学校における働き方改革実施計画が満了するため、第二次稲城市立学校における働き方改革実施計画(令和5年度から令和7年度まで)を策定するとともに、出勤管理システムや電話応対メッセージによる音声応答の運用により、教員の働き方改革を推進した。	(指導課)教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、働き方改革の実現に向け、主管会議の回数を見直すなど、教員の負担軽減を図る。 (教育総務課)統合型学校支援システムの導入後、学校からフィードバックを受けた内容などに基づき改修を行い、更なる環境整備を進めていく。	
64	2-5-(2)-② 学校及び教員が担う業務の明確化及び適正化	指導課・教育総務課	教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、学校が担うべき業務を明確化及び適正化するなど、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図ります。	(指導課)教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、タブレット端末に係る諸業務について、学校が担うべき業務を明確化及び適正化して、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図った。 (教育総務課)電話応対メッセージによる音声応答を導入し、勤務時間外における教員の業務の適正化をおこなうことで、教員の負担軽減を図った。	(指導課)教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、タブレット端末の活用や、学校が担うべき業務を明確化及び適正化するなど、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図った。 (教育総務課)令和4年度に稲城市立学校における働き方改革実施計画が満了するため、第二次稲城市立学校における働き方改革実施計画(令和5年度から令和7年度まで)を策定するとともに、電話応対メッセージによる音声応答、及び公共施設予約システムを導入し、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図った。	(指導課)教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、タブレット端末の活用や、学校が担うべき業務を明確化及び適正化するなど、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図った。 (指導課)令和4年度に稲城市立学校における働き方改革実施計画が満了するため、第二次稲城市立学校における働き方改革実施計画(令和5年度から令和7年度まで)を策定するとともに、電話応対メッセージによる音声応答、及び公共施設予約システムを導入し、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図った。	(指導課)教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、タブレット端末の活用や、学校が担うべき業務を明確化及び適正化するなど、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図る。 (教育総務課)統合型学校支援システムの導入後、学校からフィードバックを受けた内容などに基づき改修を行い、更なる環境整備を進めていく。	
64	2-5-(2)-③ スクールカウンセラー等の活用	指導課	各小・中学校にスクールカウンセラーを配置するとともに、教育センターに教育相談員を配置し、児童・生徒や保護者、教員を対象とした相談を実施します。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施した。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施した。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施した。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施した。	各小・中学校にスクールカウンセラーを配置するとともに、教育センターに教育相談員を配置し、児童・生徒や保護者、教員を対象とした相談を実施する。
65	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進	指導課	2-5-(3)-① 特別支援教育体制の充実	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (3)特別支援教育の充実				
65	2-5-(3)-① 特別支援教育体制の充実	指導課	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒への指導・支援として、各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図ります。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するため整備・充実を図った。また、特別支援学級の固定級を小学校4校及び中学校2校に、特別支援教室を全小・中学校に設置し、校内における支援体制を構築し、推進することができた。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するため整備・充実を図った。また、特別支援学級の固定級を小学校4校及び中学校2校に、特別支援教室を全小・中学校に設置し、校内における支援体制を構築し、推進することができた。	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒への指導・支援として、各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒への指導・支援として、各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒への指導・支援として、各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図る。
65	2-5-(3)-② 特別支援教育の専門性向上	指導課	教員研修の実施や、特別支援学校との連携、特別支援教育相談室による巡回相談などにより、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図ります。	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。また、特別支援教育相談室による巡回相談の実施や研修を通して、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員が発達障害についての理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図った。	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。また、特別支援教育相談室による巡回相談の実施や研修を通して、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員が発達障害についての理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図った。	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。また、特別支援教育相談室による巡回相談の実施や研修を通して、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員が発達障害についての理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図った。	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図る。	教員研修の実施や、特別支援学校との連携、特別支援教育相談室による巡回相談などにより、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図る。
65	2-5-(3)-③ 就学相談	指導課	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、特別支援教育相談室において、就学相談を行います。また、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を設け、専門医の面談及び支援会議を行います。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行い、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談147件、転学相談16件、入級・入室相談77件、相談のみ55件、就学支援委員会11回開催	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行うとともに、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談112件、転学相談16件、入級・入室相談89件、相談のみ65件、就学支援委員会11回開催	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行うとともに、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談123件、転学相談15件、入級・入室相談106件、相談のみ83件、就学支援委員会11回開催	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、特別支援教育相談室において、就学相談を行う。また、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を設け、専門医の面談及び支援会議を行う。	

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	題名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
65	2-5-(3)-④ 障害児保育巡回訪問指導事業	おやこ包括支援センター課(旧:子ども家庭支援センター課)	心身に障害のある乳幼児を早期に発見し、適切な療育につなげていくため、公立保育所へ巡回訪問等を行います。発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	公立保育所へ巡回訪問を行い、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を実施。 この結果、保育内容等の見直しもでき、保育の充実等にもつながった。	2 課題がない。		1 継続	心身に障害のある乳幼児を早期に発見し、適切な療育につなげていくため、公立保育所へ巡回訪問等を行います。発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行います。
66	2-5-(3)-⑤ 保育所等訪問支援	障害福祉課	学校、保育所、幼稚園等で集団生活を営む障害のある児童・生徒に対し、その学校等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	保育所、幼稚園から小学校入学前後までの利用が多い。ここ数年利用者がやや減少している理由は定かでないが、今後、関係者との会議などで聞き取りをしていく。	1 課題がある。	利用者数の減少の理由について関係者からの聞き取りをして必要な対応をする。(例:事業の周知不足や教育と福祉の連携不足があれば、それに応じて必要な対応をする)	1 継続	第3期稲城市障害児福祉計画で令和6年度の利用者数(見込み)が示されている。
66	2-5-(3)-⑥ 学童クラブにおける障害児保育事業	児童青少年課	障害のある児童・生徒の放課後の居場所として、各学童クラブへの受け入れ体制を整えます。	B 計画どおりに進んでいる。	継続して、障害のある児童・生徒の放課後の居場所として、各学童クラブへの受け入れ体制を整えている。	2 課題がない。		1 継続	継続して、障害のある児童・生徒の放課後の居場所として、各学童クラブへの受け入れ体制についている。
66	2-5-(3)-⑦ 放課後等ディサービス事業	障害福祉課	小・中学校等に就学している障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行います。	A 計画した以上の成果が出ている。	利用希望者の増加、事業所数の増加による。	2 課題がない。		1 継続	第3期稲城市障害児福祉計画で令和6年度の利用者数(見込み)が示されている。
68	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (4)学校経営・学校評価の充実								
68	2-5-(4)-① 学校評価の推進とその結果に基づく学校運営の改善	指導課	学校評価を適切に実施・公表するとともに、校長・副校長・教務主任を対象とした研修会などを実施し、PDCAサイクルに基づく学校運営の改善に努めます。	B 計画どおりに進んでいる。	学校評価を適切に実施・公表するとともに、校長・副校長・教務主任を対象とした研修会などを実施し、PDCAサイクルに基づく学校運営の改善に努めている。	2 課題がない。		1 継続	学校評価の推進とその結果に基づく学校運営の改善を図る必要があるため。
68	2-5-(4)-② 学校運営協議会(旧:学校運営連絡協議会)(再掲)	指導課	地域に根ざした学校運営のため協議会を設置し、定期的な意見交換、協議を行い、地域に開かれた学校を目指します。	B 計画どおりに進んでいる。	これまで、学校運営連絡協議会を設置し、学校と地域団体との連絡会を実施していたが、令和4年度から全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する場へ移行することができた。	2 課題がない。		1 継続	全校に設置した学校運営協議会において、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議し、学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを推進する必要があるため。
69	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (5)学校図書館の充実								
69	2-5-(5)-① 学校図書館整備の促進	指導課・教育総務課	学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通じて、読書活動の推進を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	(指導課) 学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通じて、読書活動の推進を図ることができた。 (教育総務課) システムの導入及び学校配当予算により、学校図書館の整備を実施することができた。	2 課題がない。		1 継続	(指導課) 学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通じて、読書活動の推進を図る必要があるため。
69	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (6)就学困難な子どもへの援助の推進								
69	2-5-(6)-① 就学相談(再掲)	指導課	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、特別支援教育相談室において、就学相談を行います。また、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を設け、専門医の面談及び支援会議を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学相談、就学支援委員会を設け、専門医の面談及び支援会議を実施できている。	1 課題がある。	特別支援教育相談室で相談数や、就学支援委員会の審査対象者数が増加している。教育相談員を増員しているが、相談員の質や判断に差が出ないよう、相談員を現場で取りまとめる職員が必要である。 教育センターとして組織を強化する必要がある。	1 継続	児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた、きめ細やかな指導や相談が必要であるため。
69	2-5-(6)-② 就学援助	学務課	本市に在住し、公立の小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、世帯の収入に応じて、学用品・通学用品費、新入学用品費、学校給食費、校外活動参加費などの一部を援助し、保護者の経済的な負担を軽減します。	B 計画どおりに進んでいる。	本市に在住し、公立の小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、世帯の収入に応じて、学用品・通学用品費、新入学用品費、学校給食費、校外活動参加費などの一部を援助する就学援助制度を周知し、学校と連携して保護者への援助を実施することで、経済的な負担軽減している。	2 課題がない。		1 継続	本市に在住し、公立の小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、引き続き学用品・通学用品費、新入学用品費、学校給食費、校外活動参加費などの一部を援助することで、保護者の経済的な負担を軽減するため。
70	2-5-(6)-③ 不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援(再掲)	指導課	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室と連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組めます。	B 計画どおりに進んでいる。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や梨の実ルームと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んでいる。	1 課題がある。	不登校者数の増により、教育相談員やスクールソーシャルワーカー、不登校支援員の増員、梨の実ルームや、校内別室指導など対応をしているが、全体を管理する職員がいないため、教育センターとして組織を強化する必要がある。	1 継続	不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援が必要であるため。
70	2-5-(6)-④ 外国人児童・生徒などの教育及び帰国児童・生徒の支援の推進	指導課	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアや補助員を活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援に取り組んだ。	1 課題がある。	児童・生徒が話することができる言語によっては、ボランティアや補助員を探すことが困難になってきている。	1 継続	日本語指導ができるボランティア、補助員の充実を図る必要があるため。
72	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <6 学校施設・設備の充実> (1)学校施設などの整備の推進								
72	2-6-(1)-① 学校施設の整備	教育総務課・防災課	校舎等の学校施設については、計画的な改修と維持補修などにより、安全・安心を確保するとともに、環境面に配慮した学校施設などの整備を推進します。また、災害時における防災拠点としての機能維持を図ります。 都市基盤整備の進展等に伴う、児童・生徒の増加に対して、校舎の増改築などの必要な対策を講じます。	B 計画どおりに進んでいる。	(教育総務課) 計画的に学校施設の改修と、維持補修を実施することができたため。	2 課題がない。		1 継続	(教育総務課) 学校施設は児童生徒が活用するとともに、防災拠点ともなっていることから、引き続き計画的な改修と維持補修を行っていく必要がある。
72	2-6-(1)-② 学校ICT環境の整備	教育総務課・指導課	情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図るため、多様な教育活動に対応したICT機器などの学習機器の整備を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	(指導課) GIGAスクール構想に基づいたタブレット端末の整備、大型掲示装置の整備を推進してきた。	1 課題がある。	(教育総務課) 校務用パソコンの環境整備を実施した。 (指導課) 学校ICT機器を整備するためには、補助金を活用することで整備できたが、故障対応、経年劣化に対する補助がないため、随時買い替えが難しい。	1 継続	(指導課) 多様な子どもたち一人ひとりの、資質・能力を一層確実に育成できる、個別最適化された、教育ICT環境を推進する必要があるため。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
65	2-5-(3)-④ 障害児保育巡回訪問指導事業	おやこ包括支援センター課 (旧:子ども家庭支援センター課)	心身に障害のある乳幼児を早期に発見し、適切な療育につなげていくため、公立保育所へ巡回訪問等を行います。発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行います。	子ども家庭支援センターの臨床心理士等の専門職が公立保育所へ巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行った。	子ども家庭支援センターの臨床心理士等の専門職が、必要に応じて、公立保育所へ巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行った。(1件 1回)	子ども家庭支援センターの臨床心理士等の専門職が、公立保育所へ巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行った。(2回)	公立保育所へ巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行った。(2回)	公立保育所へ巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行う。(2回)
66	2-5-(3)-⑤ 保育所等訪問支援	障害福祉課	学校、保育所、幼稚園等で集団生活を営む障害のある児童・生徒に対し、その学校等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援を行います。	支援が必要な児童に支援費を給付した。 実績 31人、169日	支援が必要な児童に支援費を給付した。 実績 49人、179日	支援が必要な児童に支援費を給付した。 実績 36人、120日	支援が必要な児童に支援費を給付した。 実績 32人、103日	第7期稲城市障害児福祉計画で数値目標(微増)を示している。
66	2-5-(3)-⑥ 学童クラブにおける障害児保育事業	児童青少年課	障害のある児童・生徒の放課後の居場所として、各学童クラブへの受け入れ体制を整えた。	市内15学童クラブで受け入れ体制を整えた。 実績 8学童クラブ 19人	市内15学童クラブで受け入れ体制を整えた。 実績 10学童クラブ 23人	市内16学童クラブで受け入れ体制を整えた。 実績 11学童クラブ 22人	市内16学童クラブで受け入れ体制を整えた。 実績 11学童クラブ 21人	障害のある児童・生徒の放課後の居場所として、各学童クラブへの受け入れ体制を整える。
66	2-5-(3)-⑦ 放課後等デイサービス事業	障害福祉課	小・中学校等に就学している障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行います。	支援が必要な児に支援費を給付した。 実績 186人、16,321日	支援が必要な児に支援費を給付した。 実績 211人、22,037日	支援が必要な児に支援費を給付した。 実績 225人、21,710日	支援が必要な児に支援費を給付した。 実績 231人、24,279日	第7期稲城市障害児福祉計画で数値目標(増加)を示している。
68	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <4 教育環境の整備> (4)学校経営・学校評価の充実							
68	2-5-(4)-① 学校評価の推進とその結果に基づく学校運営の改善	指導課	学校評価を適切に実施・公表するとともに、校長・副校長・教務主任を対象とした研修会などを実施し、PDCAサイクルに基づく学校運営の改善に努めます。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めた。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めた。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めた。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めた。	学校評価を適切に実施・公表するとともに、校長・副校長・教務主任を対象とした研修会などを実施し、PDCAサイクルに基づく学校運営の改善に努める。
68	2-5-(4)-② 学校運営協議会(旧:学校運営連絡協議会)(再掲)	指導課	地域に根ざした学校運営のための協議会を設置し、定期的な意見交換、協議を行い、地域に開かれた学校を目指します。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得よう努めた。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得よう努めた。	令和4年度から全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、場へ移行した。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに努めた。	全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに努めた。学校運営協議会会長連絡会を開催し、情報共有を図る。	全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに推進する。学校運営協議会会長連絡会を開催し、情報共有を図る。
69	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (5)学校図書館の充実							
69	2-5-(5)-① 学校図書館整備の促進	指導課・教育総務課	学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通じて、読書活動の推進を図ります。	(指導課) 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書館の整備を実施した。	(指導課) 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書館の整備を実施した。 また、図書館蔵書管理システムを小中学校16校に導入した。	(指導課) 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書館の整備を実施した。 また、小学校2校に、図書館蔵書管理システムを導入し、全校への導入を完了した。	(指導課) 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書館の整備を実施した。	(指導課) 学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通じて、読書活動の推進を図る。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書館の整備を実施する。
69	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (6)就学困難な子どもへの援助の推進							
69	2-5-(6)-① 就学相談(再掲)	指導課	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、特別支援教育相談室において、就学相談を行います。また、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を設け、専門医の面談及び支援会議を行います。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行い、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談147件、転学相談8件、入級・入室相談77件、相談のみ55件 就学支援委員会11回開催	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行い、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談106件、転学相談16件、入級・入室相談70件、相談のみ74件 就学支援委員会10回開催	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行うとともに、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談112件、転学相談16件、入級・入室相談89件、相談のみ65件 就学支援委員会11回開催	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行うとともに、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談123件、転学相談15件、入級・入室相談106件、相談のみ83件 就学支援委員会11回開催	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、特別支援教育相談室において、就学相談を行う。また、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を設け、専門医の面談及び支援会議を行う。
69	2-5-(6)-② 就学援助	学務課	本市に在住し、公立の小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、世帯の収入に応じて、学用品・通学用品費、新入学学用品費、学校給食費、校外活動参加費などの一部を援助し、保護者の経済的な負担を軽減します。	就学援助費受給者に対し、学用品・通学用品費等の援助を行った。 受給者 小学生 531人(準要保護児童506人・要保護児童25人) 中学生 300人(準要保護生徒277人・要保護生徒23人)	就学援助費受給者に対し、学用品・通学用品費等の援助を行った。 受給者 小学生 520人(準要保護児童497人・要保護児童23人) 中学生 283人(準要保護生徒269人・要保護生徒14人)	就学援助費受給者に対し、学用品・通学用品費等の援助を行った。 受給者 小学生 514人(準要保護児童495人・要保護児童19人) 中学生 288人(準要保護生徒268人・要保護生徒20人)	就学援助費受給者に対し、学用品・通学用品費等の援助を行った。 受給者 小学生 502人(準要保護児童481人・要保護児童21人) 中学生272人(準要保護生徒258人・要保護生徒14人)	本市に在住し、公立の小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、世帯の収入に応じて、学用品・通学用品費、新入学学用品費、学校給食費、校外活動参加費などの一部を援助し、保護者の経済的な負担を軽減します。
70	2-5-(6)-③ 不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援(再掲)	指導課	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室と連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組めます。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んだ。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んだ。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んだ。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や梨の実ルーム、校外別室指導支援員、特別支援教育コーディネーター、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んだ。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や梨の実ルーム、校外別室指導支援員、特別支援教育コーディネーター、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組む。
70	2-5-(6)-④ 外国人児童・生徒などの教育及び帰国児童・生徒の支援の推進	指導課	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進します。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進した。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアや補助員を活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進した。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアや補助員を活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進した。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進する。	
72	2「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <6 学校施設・設備の充実> (1)学校施設などの整備の推進							
72	2-6-(1)-① 学校施設の整備	教育総務課・防災課	校舎等の学校施設については、計画的な改修と維持補修などにより、安全・安心を確保するとともに、環境面に配慮した学校施設などの整備を推進します。また、災害時における防災拠点としての機能維持を図ります。都市基盤整備の進展等に伴う、児童・生徒の増加に対して、校舎の増改築などの必要な対策を講じます。	(教育総務課) 学校施設における安全・安心の確保のため、必要となる施設の維持補修を実施した。 また、空調設備設置工事(二中、平尾小)、負荷開閉器改修工事(三小、四小)、体育館屋上防水改修工事(若葉台小)を実施した。 (防災課) 災害時における防災拠点として、防災倉庫等の機能維持を図った。	(教育総務課) 学校施設における安全・安心の確保のため、必要となる施設の維持補修を実施した。 また、負荷開閉器改修工事(長峰小、二中)、フェンス設置工事(一小)、普通教室整備工事(四小)、空調設置工事(六中)を実施した。 (防災課) 災害時における避難所として、防災倉庫等の機能維持を図った。	(教育総務課) 学校施設における安全・安心の確保のため、必要となる施設の維持補修を実施した。 また、校舎増築工事(南山小)、普通教室整備工事(四小、平尾小、南山小)、空調設備工事(六小、若葉台小、向陽台小、五中)を実施した。 (防災課) 災害時における避難所として、防災倉庫等の機能維持を図った。	(教育総務課) 学校施設における安全・安心の確保のため、必要となる施設の維持補修を実施した。 また、校舎増築工事(南山小)、普通教室整備工事(平尾小)、空調設備工事(長峰小、若小、平尾小、二中、四中)、屋上防水及び外壁改修工事(二中)を実施した。 (防災課) 災害時における防災拠点として、防災倉庫等の機能維持を図った。	(教育総務課) 引き続き、適切な施設の維持補修を実施する。 また、普通教室整備工事(二小、平尾小)、特別教室空調設備設置工事(二小、三小を除く小学校)、バリアフリートイレ設置工事(城山小)、屋上防水改修工事(四中)を実施する。 (防災課) 災害時における防災拠点として、防災倉庫等の機能維持を図る。
72	2-6-(1)-② 学校ICT環境の整備	教育総務課・指導課	情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図るため、多様な教育活動に対応したICT機器などの学習機器の整備を推進します。	(教育総務課) 校務用パソコンの環境整備を実施した。 (指導課) GIGAスクール構想の実現として、小中学校に児童・生徒・教員に1人1台タブレット端末を整備した。	(教育総務課) 校務用パソコンの環境整備を実施した。 (指導課) 引き続き、GIGAスクール構想の実現として、小中学校に児童・生徒・教員に1人1台タブレット端末を整備し、学習活動の充実を図った。	(教育総務課) 校務用パソコンの環境整備を実施した。 (指導課) 引き続き、GIGAスクール構想の実現として、小中学校の児童・生徒・教員に1人1台タブレット端末を整備し、学習活動の充実を図った。	(教育総務課) 校務用パソコンの環境整備を実施した。 (指導課) 引き続き、GIGAスクール構想の実現として、小中学校の児童・生徒・教員に1人1台タブレット端末を整備し、学習活動の充実を図った。	(教育総務課) タブレット端末等を活用し、多様な子ども達一人ひとりに個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の整備を推進する。令和7年度に予定される第2期GIGAスクール構想の実現に向けた整備を検討する。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <6 学校施設・設備の充実> (2)学校給食共同調理場の施設の充実									
73	2-6-(2)-① 学校給食共同調理場建替移転事業	土木課・建築保全課・学務課・学校給食課	学校給食共同調理場第一調理場の建替移転をすすめ、調理・洗浄業務の民間委託化を行い、衛生管理に配慮した、安全でおいしい学校給食の提供及び食物アレルギー対応食の提供を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	(土木課・建築保全課) 第一調理場建替移転工事完了(令和2年9月11日) (学務課) 関係各課と連携し、学校給食共同調理場第一調理場の建替移転に係る旧第一調理場跡地の土地の整備や売却を遅滞なく進めることができた。 (学校給食課) 民間委託により、衛生管理に配慮した安全安心な学校給食の提供及び食物アレルギー対応食の提供を行った。	2 課題がない。		1 継続	(学校給食課) 引き続き、民間委託により安全安心な給食及び食物アレルギー対応食の提供を行っていく。
73	2-6-(2)-② 学校給食共同調理場整備事業	学校給食課	衛生管理に留意しつつ、施設や設備の維持・管理にともなう修繕を随時行います。	B 計画どおりに進んでいる。	保守点検及び日常点検を適切に実施し、施設・設備等の計画的な維持・管理及び緊急的な修繕を実施した。	1 課題がある。	第二調理場においては、施設・設備ともに老朽化が進行していることから、計画的・緊急的な維持管理に加え、計画的な更新を実施していく必要がある。	1 継続	引き続き、保守点検及び日常点検を適切に実施していくとともに、第二調理場の施設・設備を計画的に更新していく。
3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (1)学びの提供や支援									
75	3-1-(1)-① 子ども100ポイントラリー	生涯学習課	子どもが自ら目標をもって楽しく生涯学習活動に参加し、達成感を味わうことができるように「子ども100ポイントラリー」を実施します。	C 計画の一部に遅れが見られる。	新型コロナウイルスの影響で、地域行事などへの参加で得られるポイント収集ができなくなっていたが、今後は回復見込みである。	2 課題がない。		1 継続	子どもが自ら目標をもって楽しく生涯学習活動に参加し、達成感を味わうことができるように「子ども100ポイントラリー」を実施する。
75	3-1-(1)-② 市民講師システムの整備(再掲)	生涯学習課	市民の学習成果を活かし、市民同士の「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備します。	B 計画どおりに進んでいる。	人材バンク登録者やいなぎICカレッジ講師希望の市民講師を積極的に活用している。	2 課題がない。		1 継続	人材バンク登録者やいなぎICカレッジ講師希望の市民講師を積極的に活用している。いなぎICカレッジ講師等に市民講師を活用する。
75	3-1-(1)-③ 各公民館まつり	生涯学習課	公民館で活動する団体が日頃の学習成果を発表し、地域における交流の機会を支援します。	B 計画どおりに進んでいる。	市内5館の公民館でまつりを実施し、学習成果の発表や地域における交流の機会として活用していただいている。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、公民館で活動する団体が日頃の学習成果を発表し、地域における交流の機会を支援する。
76	3-1-(1)-④ 公民館主催事業	生涯学習課	現代テーマごと、重点対象者ごとの支援課題に応じた事業を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行っている。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、現代テーマごと、重点対象者ごとの支援課題に応じた事業を実施する。
76	3-1-(1)-⑤ プラザ主催事業	生涯学習課	プラザにおいて、学習機会や市民同士の交流機会を設け、各種の人材育成や人材活用を行うため、指定管理者の民間ノウハウを活かし、事業を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	「プラザカルチャーフェスタや市民写真展の開催、またプラザホール運営のレセプションist養成などで、人材育成や人材活用の他、事業実施も民間事業家のノウハウを活用している。	2 課題がない。		1 継続	「プラザにおいて、学習機会や市民同士の交流機会を設け、各種の人材育成や人材活用を行うため、指定管理者の民間ノウハウを活かし、事業を実施する。
76	3-1-(1)-⑥ いなぎICカレッジの充実	生涯学習課	生涯学習事業の中心的役割を果たす「いなぎICカレッジ」については、市民ボランティア理事による企画運営を、市が会場の確保とPRなどで支援します。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルスの影響で、受講生定員の縮小が必要な時期も、いち早くオンライン講座や会議に対応するなど、市民ボランティア理事会による理想的な企画運営ができています。生涯学習課事務局は会場確保や講座PRなど側面的支援に努めている。	2 課題がない。		1 継続	生涯学習事業の中心的役割を果たす「いなぎICカレッジ」については、市民ボランティア理事による企画運営を、市が会場の確保とPRなどで支援する。
76	3-1-(1)-⑦ 生涯学習宅配便講座(再掲)	生涯学習課	子育てに関するテーマなど、10人以上のグループからの申請により、市職員や市民ボランティア講師を派遣し出前講座を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	令和5年度まで、内容の充実の改善を図りつつ、活用実績の向上が図れた。	2 課題がない。		2 内容を変更して継続	より一層市民ニーズに寄り添うとともに、講座メニューの増加に努める。
76	3-1-(1)-⑧ 市民企画提案講座	生涯学習課	主催講座を市民から募集し、提案者と公民館がともに作りあげていく講座により、生涯学習活動の振興を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	市民の企画提案により社会教育活動及び芸術・文化活動その他の生涯学習活動の振興に資するものから講座を開催している。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、主催講座を市民から募集し、提案者と公民館がともに作りあげていく講座により、生涯学習活動の振興を図る。
76	3-1-(1)-⑨ 生涯学習だより「ひろば」発行	生涯学習課	月1回発行し、教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを広く市民に周知します。	A 計画した以上の成果が出ている。	令和5年度から全面カラー印刷に刷新し、より読みやすい紙面作りができた。	2 課題がない。		2 内容を変更して継続	令和6年度より4面での発行となり紙面数が減ったため、掲載内容を精査して、市民に情報発信を行う。
76	3-1-(1)-⑩ 社会教育関係団体補助金	生涯学習課	市民の学習活動の推進を図るため、社会教育関係団体に対し、補助金を交付します。	B 計画どおりに進んでいる。	申請のあった社会教育関係団体に補助金を交付した。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、市民の学習活動の推進を図るため、社会教育関係団体に対し、補助金を交付する。
76	3-1-(1)-⑪ 文化センターの整備	生涯学習課	自主的な学習を行う団体を支援するために、施設の適切な管理やサービスの維持に努めます。	B 計画どおりに進んでいる。	稲城市組織条例及び同規則により維持管理を実施している。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、自主的な学習を行う団体を支援するために、施設の適切な管理やサービスの維持に努める。
3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (2)生涯学習活動の「担い手」の育成支援									
77	3-1-(2)-① 人材バンクの整備(再掲)	市民協働課・生涯学習課	市民の学習成果や特技などを活かした自己表現の機会や各種行政委員会・審議会委員として活用できる人材バンクについて、活用の促進に向けた周知を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	(市民協働課) 広報・HP等にて人材バンクへの登録者を募集し、1名登用することができた。 (生涯学習課) 人材バンク登録者について、生涯学習宅配便講座講師やいなぎICカレッジ講師として可能な限り活用できている。	1 課題がある。	(市民協働課) 課題の内容・登用率の向上 解決方法：引き続き庁内への周知を継続し、積極的な制度利用を呼び掛けていく。 (生涯学習課) 人材バンク登録者について、生涯学習宅配便講座講師やいなぎICカレッジ講師として可能な限り活用する。	1 継続	(市民協働課) 引き続き広報やHP等にて人材バンクへの登録者募集を周知していく。 (生涯学習課) 人材バンク登録者について、生涯学習宅配便講座講師やいなぎICカレッジ講師として可能な限り活用する。
77	3-1-(2)-② サポーターの育成(再掲)	生涯学習課	自分の技能や経験を活かしたい人、学びたい人をつなぐサポーターの役割を担う人材の育成を支援します。	B 計画どおりに進んでいる。	シニアサポーター、子ども若者サポーターの役割を担う人材を活用、育成を図っている。	2 課題がない。		1 継続	自分の技能や経験を活かしたい人、学びたい人をつなぐサポーターの役割を担う人材の育成を支援する。
77	3-1-(2)-③ 市民講師システムの整備(再掲)	生涯学習課	市民の学習成果を活かし、市民同士の「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備します。	B 計画どおりに進んでいる。	人材バンク登録者やいなぎICカレッジ講師希望の市民講師を積極的に活用している。	2 課題がない。		1 継続	人材バンク登録者やいなぎICカレッジ講師希望の市民講師を積極的に活用している。いなぎICカレッジ講師等に市民講師を活用する。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

	主な取り組み	題名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
73	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進	<6 学校施設・設備の充実> (2)学校給食共同調理場の施設の充実						
73	2-6-(2)-① 学校給食共同調理場建替移転事業	土木課・建築保全課・学務課・学校給食課	学校給食共同調理場第一調理場の建替移転をすめ、調理・洗浄業務の民間委託化を行い、衛生管理に配慮した、安全でおいしい学校給食の提供及び食物アレルギー対応食の提供を行います。	令和2年9月 南山土地区画整理地内に新第一調理場を建設し、移転した。新しい第一調理場では国の衛生基準に適合した、徹底した衛生管理による安全・安心な給食を調理できるとともに、食物アレルギー対応食専用の調理スペースを備えることで、食物アレルギーを持つ児童・生徒への食物アレルギー対応食の提供が可能となった。 (建築保全課) 第一調理場解体工事アスベスト調査委託(令和2年7月1日～8月30日)・第一調理場建替移転工事(平成30年12月19日～令和2年9月11日)を実施した。 (学務課) 食物アレルギー対応マニュアルを作成するとともに、事業に必要な、厨房用消耗品・消火器・竣工式用消耗品等の消耗品及び厨房機器・業務用洗濯乾燥機・初度備品・AV機器等の備品を購入した。 (学校給食課) 令和3年4月からの調理場稼働開始に向けて、国の衛生基準に適合し衛生管理に配慮した施設設備により、安全でおいしい学校給食の提供及び食物アレルギー対応食の提供を行うための諸準備を行った。また、新第一調理場の建替移転に合わせ、調理・洗浄業務の民間委託化を行った。	(土木課) ・旧調理場跡地に整備する新設道路の設計(幅員5m、延長約80m) ・第二倉庫用地(農林水産省所有地)取得 (学校給食課) 令和3年4月に建替移転した新第一調理場において、安全でおいしい学校給食の提供及び食物アレルギー対応食の提供を開始した。令和3年度より新第一調理場において調理・洗浄業務の民間委託を開始した。	(土木課) ・旧調理場跡地に整備する新設道路の工事(幅員5m、延長約80m) (学校給食課) 令和3年度に引き続き、第一調理場において、衛生管理に配慮した施設設備により、安全でおいしい学校給食の提供及び食物アレルギー対応食の提供を行った。また、第一調理場の調理・洗浄業務については、引き続き業務委託により民間事業者が行った。	(学校給食課) 令和4年度に引き続き、民間委託により、衛生管理に配慮した安全安心な学校給食の提供及び食物アレルギー対応食の提供を行った。	(学校給食課) 引き続き、施設及び設備の保守点検を適切に行い、民間委託により衛生管理に配慮した安全安心な学校給食の提供及び食物アレルギー対応食の提供を行っている。 (学務課) 学校給食共同調理場第一調理場の建替移転の内、駐車場、駐輪場及び倉庫整備に向け、関係各課と調整を行っている。 (土木課) ・旧調理場跡地に整備する新設道路の舗装工事(幅員5m、延長約60m) ・第一調理場の用地買収(約1387㎡)
73	2-6-(2)-② 学校給食共同調理場整備事業	学校給食課	衛生管理に留意しつつ、施設や設備の維持・管理にともなう修繕を随時行います。	衛生面に留意し、安定的かつ継続的に給食提供を行えるように、施設や設備等の修繕を適切に行った。	保守点検により、施設・設備等の計画的な維持・管理を実施した。稼動開始から22年を経過した第二調理場において、衛生管理に留意しつつ、施設や設備の維持・管理に伴う修繕を適切に行った。	保守点検により、施設・設備等の計画的な維持・管理を実施するとともに、日常点検により、施設・設備等の緊急的な維持・管理を実施した。また、稼動開始から23年を経過した第二調理場においては、施設・設備ともに老朽化が進行していることから、衛生管理に留意しつつ、施設や設備の維持・管理に伴う修繕を適切に行った。	保守点検により、施設・設備等の計画的な維持・管理を実施するとともに、日常点検により、施設・設備等の緊急的な維持・管理を実施した。また、稼動開始から24年を経過した第二調理場においては、施設・設備ともに老朽化が進行していることから、衛生管理に留意しつつ、施設や設備の維持・管理に伴う修繕を適切に行った。	引き続き、保守点検により、施設・設備等の計画的な維持・管理を実施するとともに、日常点検により、施設・設備等の緊急的な維持・管理を実施する。
75	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興	<1 生涯学習の推進> (1)学びの提供や支援						
75	3-1-(1)-① 子ども100ポイントラリー	生涯学習課	子どもが自ら目標をもって楽しく生涯学習活動に参加し、達成感を味わうことができるように「子ども100ポイントラリー」を実施します。	事業PR冊子を例年通り1000部作成、新1年生全員に学校を通じて配布した。新型コロナウイルス感染症の影響により対象事業の中止が多く参加機会がなかったため、初めて子ども博士が誕生しない年度となった。	事業PR冊子を例年通り1,120部作成、新1年生全員に学校を通じて配布した。	新1年生の増加に対応し、事業PR冊子1,120部作成、新1年生全員に学校を通じて配布した。夏休み前には、市内小学生全員に、事業案内チラシを配布した。	子ども100ポイントラリー事業の周知啓発を改善するため、事業案内冊子を小学1年生向けに平易に改善した。新小学1年生全員に配布したほか、夏休み前には、小学生全員に、事業案内チラシを学校配布した。	新1年生全員に事業案内冊子を学校を通じて配布する。生涯学習だより「ひろば」での事業PRのほか、夏休み前には、事業案内チラシを市内小学生全員に配布して、事業参加促進を図る。
75	3-1-(1)-② 市民講師システムの整備(再掲)	生涯学習課	市民の学習成果を活かし、市民同士の「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備します。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」においては、市民講師による市民のための講座を実施しており、令和2年度は47講座529人が年間を通じて学習活動を行った。新たな取り組みとして、市民講師等を活用し、短期間・少人数で実施する「特別講座」を企画し、28講座271人が受講した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて継続実施した。令和2年度から新たな取り組みとして28講座開催した短期間・少人数の「特別講座」を継続し、48講座を実施した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて継続実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響対策で企画実施した「短期間・少人数で企画する特別講座」については、16講座実施し、126人が受講した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて継続実施した。新型コロナウイルスの影響が縮小し、市民講師が55講座759回登壇し、延べ9,618人が受講した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて実施。また、市民講師を生産学習宅配便講座の講師として、市民講師による「まなびあい」システムの運用を図る。
75	3-1-(1)-③ 各公民館まつり	生涯学習課	公民館で活動する団体が日頃の学習成果を発表し、地域における交流の機会を支援します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、各公民館まつりは下記のとおりとなった。 中央公民館交流まつり(9月15日・16日)：中止 第二文化センター市民まつり(3月13日・14日)：中止 平尾まつり(第三文化センターまつり会場)(11月8日)：中止 第四文化センターのつどい(2月20日・21日)：中止 城山文化センターまつり(11月14日・15日)：中止	新型コロナウイルス感染症の影響により、各公民館まつりは下記のとおりとなった。 中央公民館交流まつり(11月～1月末日)：インターネット上にて実施 第二文化センター市民まつり(3月12日・13日)：中止 平尾まつり(第三文化センターまつり会場)(11月14日)：中止 第四文化センターのつどい(2月19日・20日)：中止 城山文化センターまつり(11月13日・14日)：中止	各公民館まつりは下記のとおり実施した。 中央公民館交流まつり(9月17日・18日) 第二文化センター市民まつり(3月11日・12日) 平尾まつり(第三文化センターまつり会場)(11月13日) 第四文化センターのつどい(2月18日・19日) 城山文化センターまつり(11月12日・13日)	各公民館まつりは下記のとおり実施した。 中央公民館交流まつり(9月16日・17日) 第二文化センター市民まつり(3月9日・10日) 平尾まつり(第三文化センターまつり会場)(11月12日) 第四文化センターのつどい(2月17日・18日) 城山文化センターまつり(11月18日・19日)	各公民館まつりを下記のとおりに実施する。 中央公民館交流まつり：9月 第二文化センター市民まつり：3月 平尾まつり(第三文化センターまつり会場)：11月 第四文化センターのつどい：2月 城山文化センターまつり：11月
76	3-1-(1)-④ 公民館主催事業	生涯学習課	現代テーマごと、重点対象者ごとの支援課題に応じた事業を実施します。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で27講座、延べ2,627人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で25講座、延べ1,628人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で30講座、延べ6,078人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で29講座、延べ5,431人の参加があった。また、昭和48年6月に開催した稲城市立公民館が、開館50周年を迎えたことから、これを記念するための式典及び公演会(講演会及び演奏会)を実施し、延べ292人の参加があった。	引き続き、時代に即した社会経済情勢や身近な日常生活に関するテーマに、指定管理者の民間ノウハウを活かした事業展開を図っていく。
76	3-1-(1)-⑤ プラザ主催事業	生涯学習課	プラザにおいて、学習機会や市民同士の交流機会を設け、各種の人材育成や人材活用を行うため、指定管理者の民間ノウハウを活かし、事業を実施します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期は市公共施設に準じた休館に伴う事業の延期等があったが、下半期は利用者の定員を半数とするなど十分な感染拡大防止対策を講じて事業を実施した。	新型コロナウイルス感染拡大状況を見極めながら、計画回数 of 生涯学習事業50講座を開催日程変更しながら実施できた。	引き続き、感染症対策等に努めながら、時代に即した日常生活に関するテーマでの講座や、市内在住のプロ音楽家集団(1 MUJICAアンサンブルコンサート)などの事業展開を図った。	時代に即した日常生活に関するテーマでの講座や、市内在住のプロ音楽家集団(1 MUJICAアンサンブルコンサート)などの事業展開を図った。	引き続き、時代に即した社会経済情勢や身近な日常生活に関するテーマに、指定管理者の民間ノウハウを活かした事業展開を図っていく。
76	3-1-(1)-⑥ いなぎICカレッジの充実	生涯学習課	生涯学習事業の中心的役割を果たす「いなぎICカレッジ」については、市民ボランティア理事による企画運営を、市が会場の確保とPRなどで支援します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、規模等を縮小しての実施だったが、新たに「特別講座」28講座を増設しカレッジの存続支援に努めた。また、従来の一般教養講座は47講座529人、プロフェッサー講座は5講座88人の参加があった。	新型コロナウイルス感染対策を図り、「一般教養講座」50講座622人、「プロフェッサー講座」9講座166人、「特別講座」48講座402人を企画運営できた。	いなぎICカレッジの「一般教養講座」54講座694人、「プロフェッサー講座」12講座211人、「特別講座」16講座126人を企画運営について、会場の確保やPR、講座運営の側面的支援ができた。	いなぎICカレッジの「一般教養講座」55講座759回、延べ受講生9,618人、「プロフェッサー講座」15講座60回、延べ受講生3,685人などの企画運営について、会場の確保やPR、講座運営の側面的支援ができた。	いなぎICカレッジ理事회가企画する講座の受講生募集PR、会場確保など、ICカレッジ事務局として側面的支援に努める。
76	3-1-(1)-⑦ 生涯学習宅配便講座(再掲)	生涯学習課	子育てに関するテーマなど、10人以上のグループからの申請により、市職員や市民ボランティア講師を派遣し出前講座を実施します。	職員が講師として登壇する「職員講師編」44講座、市民が講師となる「市民ボランティア講師編」14講座、NPO等講師編0講座、官庁等講師編1講座、企業講師編4講座の計67講座をメニューとして用意し、実施件数4件、参加者数61人であった。	職員が講師として登壇する「職員講師編」45講座、市民が講師となる「市民ボランティア講師編」13講座、NPO・企業等講師編0講座、官公庁等講師編1講座の計67講座をメニューとして用意した。また、講座を再編成し、NPO等講師編及び企業講師編を一つにまとめた。	職員が講師として登壇する「職員講師編」45講座、市民が講師となる「市民ボランティア講師編」15講座、NPO・企業等講師編14講座、官公庁等講師編2講座の計76講座をメニューとして用意し、19講座911人の受講があった。	職員が講師として登壇する「職員講師編」46講座、市民が講師となる「市民ボランティア講師編」9講座、NPO・企業等講師編16講座、官公庁等講師編1講座の計72講座をメニューとして用意し、27講座1,100人の受講があった。	事業の充実。新たに、官民連携などを図り、講座メニューを充実する。引き続き、オンライン配信可能な講座の拡充を推進する。
76	3-1-(1)-⑧ 市民企画提案講座	生涯学習課	主催講座を市民から募集し、提案者と公民館がともに作りあげていく講座により、生涯学習活動の振興を図ります。	教育・高齢化・情報化の分野から公民館運営審議会でご審議し5講座を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により提案者から申し出があり、1講座を中止し、4講座を開催した。(延べ参加者数258人)	市民の企画提案により少子化・福祉・高齢化・教育・情報化の分野から3講座を開催した。(延べ参加者数309人)	市民の企画提案により国際化・安全・教育・人権の分野から5講座を開催した。(延べ参加者数309人)	市民の企画提案により、教育や環境など社会教育活動及び芸術・文化活動その他の生涯学習活動の振興に資するものから4講座を開催した。(延べ参加者数243人)	市民の企画提案により社会教育活動及び芸術・文化活動その他の生涯学習活動の振興に資するものから講座を開催する。
76	3-1-(1)-⑨ 生涯学習だより「ひろば」発行	生涯学習課	月1回発行し、教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを広く市民に周知します。	毎月1回の発行を行い、教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業など広く周知を行った。	毎月1回の発行を行い、教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業など広く周知を行った。	月1回発行し、教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを広く市民に周知した。	令和5年度には全面カラー印刷に刷新し、より読みやすい紙面作りができた。	令和6年度より月1回4面での発行となったが、引き続き、主催事業及び社会教育団体の事業などを広く市民に周知する。
76	3-1-(1)-⑩ 社会教育関係団体補助金	生涯学習課	市民の学習活動の推進を図るため、社会教育関係団体に対し、補助金を交付します。	社会教育関係団体2団体8事業に補助金を交付した。	社会教育関係団体2団体8事業に補助金を交付した。	社会教育関係団体2団体8事業に補助金を交付した。	社会教育関係団体2団体8事業に対し、補助金を交付した	市民の学習活動の推進を図るため、社会教育関係団体に対し、補助金を交付する。
76	3-1-(1)-⑪ 文化センターの整備	生涯学習課	自主的な学習を行う団体を支援するために、施設の適切な管理やサービスの維持に努めます。	稲城市組織条例及び同規則により維持管理を実施した。 主な生涯学習課の修繕実績 中央文化センター空調設備改修工事 8月4日～11月27日	稲城市組織条例及び同規則により維持管理を実施した。 主な生涯学習課の修繕実績 城山文化センター 管路内洗浄・管内支障物撤去修繕 7月20日～21日	稲城市組織条例及び同規則により維持管理を実施した。 主な生涯学習課の修繕実績 稲城市城山文化センター空調設備改修工事 令和4年8月5日～令和5年3月31日	稲城市組織条例及び同規則により維持管理を実施した。 主な生涯学習課の修繕実績 稲城市中央文化センター湧水槽ポンプ等修繕 1月30日～2月16日	稲城市組織条例及び同規則により維持管理を実施する。
77	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興	<1 生涯学習の推進> (2)生涯学習活動の「担い手」の育成支援						
77	3-1-(2)-① 人材バンクの整備(再掲)	市民協働課・生涯学習課	市民の学習成果や特技などを活かした自己表現の機会や各種行政委員会・審議会委員として活用できる人材バンクについて、活用の促進に向けた周知を行います。	(市民協働課) 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が1件、登録抹消が2件あり、合計で71名(令和3年3月31日現在)の登録となった。 (生涯学習課) 令和2年度では、32部門に延べ139名の登録があり、生涯学習宅配便講座(後述)やいなぎICカレッジ講師として、18名を活用した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市民グループ等への紹介はなかった。	(市民協働課) 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が1件、登録抹消が2件あり、合計で70名(令和3年3月31日現在)の登録となった。 (生涯学習課) 32部門に延べ146名の登録があった。特に新登録者を生涯学習宅配便講座やいなぎICカレッジ講師として積極的に活用している。	(市民協働課) 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が4件、登録抹消が4件あり、合計で70名(令和5年3月31日現在)の登録となった。 (生涯学習課) 32部門に延べ83名(登録者情報の刷新70人減、新規登録9人増)の登録があった。人材バンク登録者については、生涯学習宅配便講座講師やいなぎICカレッジ講師として可能な限り活用できている。	(市民協働課) 引き続き、広報・HP等で周知を行い、各種行政委員会・審議会委員として活用できる人材バンクを整備する。 (生涯学習課) 人材バンク登録者について、登録者情報の刷新、登録者の活用拡大に向けたPR(動画・オンラインなど)の取り組みを推進する。	
77	3-1-(2)-② サポーターの育成(再掲)	生涯学習課	自分の技能や経験を活かしたい人、学びたい人をつなぐサポーターの役割を担う人材の育成を支援します。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」事業には、新規登録者が5人あった。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」新規登録者を、生涯学習宅配便講座講師につなげた。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」事業には、新規登録者がなかった。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」事業に、新規9人の登録があった。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」新規登録者を、生涯学習宅配便講座講師などにつなげる。
77	3-1-(2)-③ 市民講師システムの整備(再掲)	生涯学習課	市民の学習成果を活かし、市民同士の「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備します。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」においては、市民講師による市民のための講座を実施しており、令和2年度は47講座529人が年間を通じて学習活動を行った。新たな取り組みとして、市民講師等を活用し、短期間・少人数で実施する「特別講座」を企画し、28講座271人が受講した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて継続実施した。令和2年度から新たな取り組みとして28講座開催した短期間・少人数の「特別講座」を継続し、48講座を実施した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて継続実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響対策で企画実施した「短期間・少人数で企画する特別講座」については、16講座実施し、126人が受講した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて継続実施した。新型コロナウイルスの影響が縮小し、市民講師が55講座759回登壇し、延べ9,618人が受講した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて実施。また、市民講師を生産学習宅配便講座の講師として、市民講師による「まなびあい」システムの運用を図る。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
77	3-1-(2)-④ 生涯学習宅配便講座(再掲)	生涯学習課	子育てに関するテーマなど、10人以上のグループからの申請により、市職員や市民ボランティア講師を派遣し出前講座を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	令和5年度まで、内容の充実の改善を図りつつ、活用実績の向上が図れた。	2 課題がない。		2 内容を変更して継続	より一層市民ニーズに寄り添うとともに、講座メニューの増加に努める。
77	3-1-(2)-⑤ 公民館主催事業(再掲)	生涯学習課	現代テーマごと、重点対象者ごとの支援課題に応じた事業を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行っている。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、現代テーマごと、重点対象者ごとの支援課題に応じた事業を実施する。
77	3-1-(2)-⑥ プラザ主催事業(再掲)	生涯学習課	プラザにおいて、学習機会や市民同士の交流機会を設け、各種の人材育成や人材活用を行うため、指定管理者の民間ノウハウを活かし、事業を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	プラザカルチャーフェスタや市民写真展の開催、またプラザホール運営のレセプションист養成などで、人材育成や人材活用の他、事業実施も民間事業家のノウハウを活用している。	2 課題がない。		1 継続	プラザにおいて、学習機会や市民同士の交流機会を設け、各種の人材育成や人材活用を行うため、指定管理者の民間ノウハウを活かし、事業を実施する。
78	3-1-(2)-⑦ 市民企画提案講座(再掲)	生涯学習課	主催講座を市民から募集し、提案者と公民館がともに作りあげていく講座により、生涯学習活動の振興を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	市民の企画提案により社会教育活動及び芸術・文化活動その他の生涯学習活動の振興に資するものから講座を開催している。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、主催講座を市民から募集し、提案者と公民館がともに作りあげていく講座により、生涯学習活動の振興を図る。
78	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (3)文化財の保護と普及								
78	3-1-(3)-① 文化財保護思想の普及	生涯学習課	文化財の講座、見学会、展示会などを通して、郷土の歴史や文化財にふれる機会を提供し、文化財保護思想の普及を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	文化財保護事業として、市内文化財をテーマに文化財講座と郷土資料室講座を開催した。また、平屋の古民家の一般公開を実施して市民に向けて郷土の歴史に触れる機会を提供した。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、文化財講座や古民家公開・指定文化財の現地見学などの事業を開催して、郷土の歴史に触れる場や機会を提供していく。
78	3-1-(3)-② 郷土芸能の保存・伝承	生涯学習課	稲城の各地域で伝えられてきた郷土芸能の保存・伝承を図ります。また隔年で実施している郷土芸能まつりを継続し、郷土芸能保存会の活動を支援します。	B 計画どおりに進んでいる。	神社の例大祭などで公演される郷土芸能について、写真撮影と動画撮影を行い記録保存を図った。また、コロナウイルスにより中止が続いていた郷土芸能まつりを6年ぶりに郷土芸能保存会と連携して開催した。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、郷土芸能の記録保存を図り、データ化した資料をデジタルアーカイブズで広く公開することで郷土芸能の保存と普及を図る。
79	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (4)郷土資料室と文化財保管の充実								
79	3-1-(4)-① 文化財資料の調査と収集・保管・公開	生涯学習課	歴史資料、民俗資料など各分野の文化財調査を実施し、稲城の歴史と文化財の把握に努めます。また調査により明らかになった文化財資料を収集し、分類・整理・保管・公開・活用を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	近世・近代の文書資料や指定文化財候補の文化財について文化財調査を実施した。調査の結果は、文化財調査報告書にまとめた。調査終了後の資料は、収蔵庫へ保管した。また、報告書を読覧した方からの質疑や資料の閲覧に対応した。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、文化財調査を実施して資料の性格を把握する。判明した内容は目録にまとめて整理して資料の散逸を防ぎ管理していく。
79	3-1-(4)-② 郷土資料室の整備・充実	生涯学習課	稲城の歴史や文化財を市民に公開する施設として、郷土資料室の整備・充実に努めます。また模型資料の作成や展示替えなどにより、展示資料の充実を進め、見学者の増加を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	展示室内に、新規に解説パネルや地形模型を追加して公開を開始した。また、昆虫標本や民具資料の展示替えを行った。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、収蔵庫保管の資料や新指定文化財に係る資料で公開可能な資料があれば新規に展示を行うか展示替えを実施して郷土資料室を充実化を図る。
79	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (5)文化・芸術の振興								
79	3-1-(5)-① 市民文化祭・芸術祭	生涯学習課	市内で活動する自主グループの作品展示や発表、市内外で活躍する芸術家の作品の展示や発表などを通じて、市民の芸術・文化による交流を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	1のまちいなぎ市民まつりの開催に伴い、総合体育館における市民文化祭・芸術祭展示部門を開催した。自主グループや芸術家の作品が数多く展示され、多くの来場者が芸術にふれる機会を提供することができた。また、中央文化センターにおいてステージ部門を行い、演劇、ダンス、舞踊や楽器演奏等、様々な団体や個人の発表機会を提供した。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、稲城市民文化祭・芸術祭実行委員会の主導により、市民が稲城市の芸術文化に触れる機会を提供する。
79	3-1-(5)-② 各種コンサート	生涯学習課	プラザホールなどで行われるコンサートや、サロンコンサート、ミニコンサートなど、市民が芸術・文化にふれ、交流できる場の提供を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	サロンコンサートとして芸術文化団体連合会が1公演実施した。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、市民が芸術・文化にふれ、交流できる場の提供を図る。
80	3-1-(5)-③ 大空町芸術文化交流	生涯学習課	それぞれの市・町で行う文化祭に相互に参加し、姉妹都市自治体との交流と芸術文化の向上を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	稲城市芸術文化団体連合会と大空町の文化芸術団体が、相互交流を行うことで、芸術文化の向上を図ることができた。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、稲城市と大空町との交流において芸術文化の向上を図る。
80	3-1-(5)-④ 青少年芸術文化活動補助事業(再掲)	生涯学習課	青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行っている。	2 課題がない。		1 継続	引き続き、青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくために補助を行う。
80	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (6)図書館資料の充実整備								
80	3-1-(6)-① 資料の充実整備	図書館課	市民ニーズの把握に努め資料の充実整備を進めます。また、オンラインデータベース等電子資料については、情報提供機能の充実を進めながら活用していきます。	B 計画どおりに進んでいる。	購入・寄贈受入れその他の方法により資料の充実整備を進めている。オンラインデータベース等の電子資料は、司書職員のレファレンス対応業務に用いるのみならず、教職員や一般利用者を対象とした講習会を定期的に開催することで、図書館サービスの認知度の向上及び新たな需要の喚起につながっている。	2 課題がない。		1 継続	現行の事業を着実に継続することが適当である。
80	3-1-(6)-② 資料展示	図書館課	社会で関心をもたれるテーマ、地域で課題となっているテーマなどに沿った図書や視聴覚などの資料を展示し、幅広い情報を提供するとともに、読書への関心を高めます。	B 計画どおりに進んでいる。	社会で関心を持たれるテーマ・地域で話題となっているテーマに沿った資料を展示し、幅広い情報を利用者に提供することができる。	2 課題がない。		1 継続	現行の事業を着実に継続することが適当である。
81	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (7)市民の学習を支援する図書館サービスの充実								
81	3-1-(7)-① レファレンスサービスの充実	図書館課	図書館利用者が、学習・研究・調査を目的として、必要な資料・情報などを求めた際に、資料の検索・提供を行い、情報活用を支援を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	利用者からのレファレンスへの個別対応、特定のテーマにそった資料の目録の作成や、図書館利用促進のための講座を定期的に開催している。また、全館で各館のレファレンス事例を共有し、類似事例の対応に役立てるとともに、レファレンス対応演習を適宜行い、司書職員の情報検索能力向上を図ることができている。	2 課題がない。		1 継続	現行の事業を着実に継続することが適当である。
81	3-1-(7)-② 講演会事業	図書館課	著者などを講師にした講演会を開催し、市民の興味に応え、読書への関心を高めます。	A 計画した以上の成果が出ている。	講演会においては、毎回講演のテーマに沿った資料を会場に展示してそのまま借りられる体制をとっており、参加者が講演のテーマに関連資料を通じて深められるよう配慮がなされている。 (例：令和4年度の子ども読書イベント「図書館らくご」において、会場に落語その他の日本の伝統芸能に関する本を展示) また、令和4年度実施のヤングアダルト講座や令和5年度実施の稲城市立図書館50周年記念講演会は、市民のみならず他地域の方々からも大きな反響があり、広く内外に稲城市立図書館の魅力を伝えることができたものと考えられる。	2 課題がない。		1 継続	現行の事業を着実に継続することが適当である。
81	3-1-(7)-③ 図書館ボランティアの活動支援	図書館課	ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修など、図書館ボランティアの各種活動支援を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	図書館ボランティアの意見も取り入れながら、参加者の技能や意欲を向上させるのに資する研修を行うことができているほか、ボランティア活動に必要な物品の調達を通じた後方支援も適宜行っていることによる。	2 課題がない。		1 継続	現行の事業を着実に継続することが適当である。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	題名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
77	3-1-(2)-④ 生涯学習宅配便講座(再掲)	生涯学習課	子育てに関するテーマなど、10人以上のグループからの申請により、市職員や市民ボランティア講師を派遣し出前講座を実施します。	職員が講師として登壇する「職員講師編」44講座、市民が講師となる「市民ボランティア講師編」14講座、NPO等講師編0講座、官公庁等講師編1講座、企業等講師編4講座の計67講座をメニューとして用意し、実施件数4件、参加者数61人であった。	職員が講師として登壇する「職員講師編」45講座、市民が講師となる「市民ボランティア講師編」13講座、NPO・企業等講師編8講座、官公庁等講師編1講座の計67講座をメニューとして用意した。また、講座を再編成し、NPO等講師編及び企業講師編を一つにまとめた。	職員が講師として登壇する「職員講師編」45講座、市民が講師となる「市民ボランティア講師編」15講座、NPO・企業等講師編14講座、官公庁等講師編1講座の計76講座をメニューとして用意し、19講座911人の受講があった。	職員が講師として登壇する「職員講師編」46講座、市民が講師となる「市民ボランティア講師編」9講座、NPO・企業等講師編16講座、官公庁等講師編2講座の計72講座をメニューとして用意し、27講座1,100人の受講があった。	事業の充実、新たに、官民連携などを図り、講座メニューを充実する。引き続き、オンライン配信可能な講座の拡充を推進する。
77	3-1-(2)-⑤ 公民館主催事業(再掲)	生涯学習課	現代テーマごと、重点対象者ごとの支援課題に応じた事業を実施します。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で27講座、延べ2,627人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で25講座、延べ1,628人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で30講座、延べ6,078人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で29講座、延べ5,431人の参加があった。また、昭和48年6月に開館した稲城市立公民館が、開館50周年を迎えたことから、これを記念するための式典及び公演会(講演会及び演奏会)を実施し、延べ292人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行う。
77	3-1-(2)-⑥ プラザ主催事業(再掲)	生涯学習課	いプラザにおいて、学習機会や市民同士の交流機会を設け、各種の人材育成や人材活用を行うため、指定管理者の民間ノウハウを活かし、事業を実施します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期は市公共施設に準じた休館に伴う事業の延期等があったが、下半期は利用者の定員を半数とするなど十分な感染拡大防止対策を講じて事業を実施した。	新型コロナウイルス感染拡大状況を見極めながら、計画回数の生涯学習事業50講座を開催日程変更等しながら実施できた。	引き続き、感染症対策等に努めながら、時代に即した日常生活に関するテーマでの講座や、市内在住のプロ音楽家集団(I MUJICAアンサンブルコンサート)などの事業展開を図った。	時代に即した日常生活に関するテーマでの講座や、市内在住のプロ音楽家集団(I MUJICAアンサンブルコンサート)などの事業展開を図った。	引き続き、時代に即した社会経済情勢や身近な日常生活に関することをテーマに、指定管理者の民間ノウハウを活かした事業展開を図っていく。
78	3-1-(2)-⑦ 市民企画提案講座(再掲)	生涯学習課	主催講座を市民から募集し、提案者と公民館がともに作りあげていく講座により、生涯学習活動の振興を図ります。	教育・高齢化・情報化の分野から公民館運営審議会で審議し5講座を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により提案者から申し出があり、1講座を中止し、4講座を開催した。(延べ参加者数258人)	市民の企画提案により少子化・福祉・高齢化・教育・情報化の分野から3講座を開催した。(延べ参加者数222人)	市民の企画提案により国際化・安全・教育・人権の分野から5講座を開催した。(延べ参加者数309人)	市民の企画提案により、教育や環境など社会教育活動及び芸術・文化活動その他の生涯学習活動の振興に資するものから4講座を開催した。(延べ参加者数243人)	市民の企画提案により社会教育活動及び芸術・文化活動その他の生涯学習活動の振興に資するものから講座を開催する。
78	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (3)文化財の保護と普及							
78	3-1-(3)-① 文化財保護思想の普及	生涯学習課	文化財の講座、見学会、展示会などを通して、郷土の歴史や文化財にふれる機会を提供し、文化財保護思想の普及を図ります。	文化財講座を4回実施し、延べ参加者数73名であった。また、郷土資料室講座は2回実施予定のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回が中止となったが、そのあとの1回は荒天であっても実施することができ、延べ参加者数は4人であった。	文化財講座を年4回実施し、延べ参加者数が40人であった。また、郷土資料室講座を年2回実施する予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響で全2回を中止した。	文化財講座を4回実施し、延べ参加者数54名であった。また、郷土資料室講座を2回実施し、延べ参加者数29名であった。	文化財講座を3回実施し、延べ参加者数47名であった。また、郷土資料室講座を2回実施し、延べ参加者数22名であった。	文化財講座を年4回実施する。郷土資料室講座を年2回実施する。生涯学習宅配便講座を実施する。講座では、市内の歴史と文化財を取りあげて郷土の歴史を普及する。
78	3-1-(3)-② 郷土芸能の保存・伝承	生涯学習課	稲城の各地域で伝えられてきた郷土芸能の保存・伝承を図ります。また隔年で実施している郷土芸能まつりを継続し、郷土芸能保存会の活動を支援します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、稲城の各地域で伝えられていたさまざまな行事が中止となったほか、構成市9自治体で実施する多摩川流域郷土芸能フェスティバルが中止となった。	郷土芸能まつりを隔年で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。多摩川流域郷土芸能フェスティバルも新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	構成市9自治体で実施する多摩川流域郷土芸能フェスティバルに参加した。青洲囃子が公演を行い、公演内容を記録した。	隔年実施の稲城市ふるさと郷土芸能まつりを6年ぶりに開催した。市内郷土芸能団体10団体による公演で延べ来観者数450名であった。構成市9自治体で実施する多摩川流域郷土芸能フェスティバルに参加した。大丸囃子が公演を行い、公演内容を記録した。	多摩川流域郷土芸能フェスティバルに参加する。デジタルアーカイブズに郷土芸能団体の写真や動画を掲載して普及を図る。
79	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (4)郷土資料室と文化財保管の充実							
79	3-1-(4)-① 文化財資料の調査と収集・保管・公開	生涯学習課	歴史資料、民俗資料など各分野の文化財調査を実施し、稲城の歴史と文化財の把握に努めます。また調査により明らかになった文化財資料を収集し、分類・整理・保管・公開・活用を図ります。	歴史資料、民俗資料など各分野の文化財調査を実施したほか、調査により明らかになった文化財資料の分類・整理・保管に努めた。また、市内の貴重な文化財2件について「令和2年度稲城市指定文化財」として指定し、生涯学習より「ひろい」で広くPRし周知に努めたほか、それぞれの指定文化財について一般公開を行った。 【令和2年度稲城市指定文化財】 1 常楽寺の飛天図及び龍図 2 富士講関係資料	歴史資料の文化財調査を実施したほか、調査により明らかになった文化財資料の分類・整理・保管に努めた。古文書調査では、文化財収蔵庫保管の近世・近現代文書史料について、分類・整理作業、調査目録作成作業を実施し、調査報告書の作成に向けて作業を実施した。	歴史資料の文化財調査を実施した。古文書調査では、調査目録作成作業を進め、資料の翻刻と整理、原稿の作成、編集を行い調査報告書を作成し、稲城市の古文書(三)を発行した。調査が完了した資料は、文化財収蔵庫に保管して整理した。	指定文化財候補の旧報恩寺の仏像や仏具資料の文化財調査を実施した。調査内容は、整理した資料の目録作成や撮影・寸法を測り台帳に記録した。調査が完了した資料は、収納箱に保管して整理した。また、稲城市デジタルアーカイブズに市内文化財の写真や解説等を電子データ化し、webデータベースのLB Museum.SaaSに掲載して公開しました。	指定文化財候補の文化財調査を実施する。仏像・仏具資料の調査、分類整理作業、社寺調査などを進める。また、稲城市デジタルアーカイブズには新規に閲覧データを追加していくとともに郷土芸能の動画掲載、古民家関連の案内動画の作成、小学校等の学習教材として活用できるデータを掲載する。
79	3-1-(4)-② 郷土資料室の整備・充実	生涯学習課	稲城の歴史や文化財を市民に公開する施設として、郷土資料室の整備・充実に努めます。また模型資料の作成や展示替えなどにより、展示資料の充実を進め、見学者の増加を図ります。	郷土資料室において展示あるいは保管されている貴重な文化財を後世に語り継いで残しているために、新しく防炎カーテンを設置したほか、昆虫標本の保存のための防腐剤の交換作業を行った。	企画展示、展示替え等により、郷土資料室の充実を図った。企画展示は「稲城の昆虫展」を1回と「古写真で見る稲城の移り変わり」を1回の計2回を実施した。	企画展示として、城山体験学習館において昆虫標本の展示を行った。民俗展示室の展示替えを実施し、収蔵資料を新規に公開して、展示室の充実化を進めた。昆虫標本の保存のための防腐剤の交換作業を行った。	企画展示として、城山体験学習館において昆虫標本の展示を行った。歴史展示室と民俗展示室の展示替えを実施し、大丸道跡や稲城の地形模型等を新規に公開して、展示室の充実化を進めた。昆虫標本の保存のための防腐剤の交換作業を行った。	企画展示を2回実施し、市内の歴史や文化財について展示を通して発信する。新規に和紙の展示や新指定文化財の展示に備えて解説パネルを事前に準備して公開に備える。
79	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (5)文化・芸術の振興							
79	3-1-(5)-① 市民文化祭・芸術祭	生涯学習課	市内で活動する自主グループの作品展示や発表、市内外で活躍する芸術家の作品の展示や発表などを通じて、市民の芸術・文化による交流を図ります。	新型コロナウイルス感染症の影響により、1のまちいなぎ市民まつりが中止となり、通常開催はできなかったが、芸術文化団体連合会のホームページ上で、発表の場を設け、インターネット文化祭を開催することで活動意欲が継続できるように取り組みを行った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、1のまちいなぎ市民まつりが中止となり、通常開催はできなかったが、芸術文化団体連合会のホームページ上で、発表の場を設け、インターネット文化祭を開催することで活動意欲が継続できるように取り組みを行った。	1のまちいなぎ市民まつりの開催に伴い、総合体育館における市民文化祭・芸術祭展示部門を開催した。自主グループや芸術家の作品が数多く展示され、多くの来場者が芸術にふれる機会を提供することができた。また、中央文化センターにおいてステージ部門を行い、演劇やダンス、舞踊や楽器演奏等、様々な団体や個人の発表機会を提供した。 総動員数 5,483人	1のまちいなぎ市民まつりの開催に伴い、総合体育館における市民文化祭・芸術祭展示部門を開催した。自主グループや芸術家の作品が数多く展示され、多くの来場者が芸術にふれる機会を提供することができた。また、中央文化センターにおいてステージ部門を行い、演劇、ダンス、舞踊や楽器演奏等、様々な団体や個人の発表機会を提供した。 総動員数 6,112人	市内で活動する自主グループの作品展示や発表、市内外で活躍する芸術家の作品の展示や発表などを通して、市民の芸術・文化による交流を図る。また、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送っていた園芸大会を実施予定。
79	3-1-(5)-② 各種コンサート	生涯学習課	いプラザホールなどで行われるコンサートや、サロンコンサート、ミニコンサートなど、市民が芸術・文化にふれ、交流できる場の提供を図ります。	いプラザホール主催事業として12公演、サロンコンサートとして芸術文化団体連合会が1公演実施した。	いプラザホール主催事業として12公演実施した。サロンコンサートは出演者の都合により中止となった。	いプラザホール主催事業として12公演、サロンコンサートとして芸術文化団体連合会が1公演実施した。	いプラザホール主催事業として12公演、サロンコンサートとして芸術文化団体連合会が1公演実施した。	いプラザホール主催事業として12公演、サロンコンサートとして芸術文化団体連合会が1公演実施し、市民が芸術・文化にふれ、交流できる場を提供する。
80	3-1-(5)-③ 大空町芸術文化交流	生涯学習課	それぞれの市・町で行う文化祭に相互に参加し、姉妹都市自治体との交流と芸術文化の向上を図ります。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施を見送った。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施を見送った。	大空町から文化団体協議会長及び劇団その他の団員が来訪し、稲城市民文化祭ステージ部門に出演し、市内公共施設を視察した。その後、交流会を開催し、芸術文化に関する意見交換を行った。	稲城市芸術文化団体連合会が大空町を訪問し、大空町民文化展には華道協会が製作した作品を展示した。また、茶道協会は茶会を開催し、芸術文化について相互交流を行った。	大空町の団体が稲城市に訪問し、市民文化祭の見学を行うほか、相互交流を行うことで芸術文化の向上を図る。
80	3-1-(5)-④ 青少年芸術文化活動補助事業(再掲)	生涯学習課	青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行います。	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動団体が例年より規模を縮小する状況ではあったが、稲城市芸術文化団体連合会を通じて4団体に補助を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動団体が例年より規模を縮小する状況ではあったが、稲城市芸術文化団体連合会を通じて4団体に補助を行った。	青少年を中心に芸術文化活動を行っている6団体に稲城市芸術文化団体連合会を通じて補助を行った。	青少年を中心に芸術文化活動を行っている7団体に稲城市芸術文化団体連合会を通じて補助を行った。	青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行う。
80	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (6)図書館資料の充実整備							
80	3-1-(6)-① 資料の充実整備	図書館課	市民ニーズの把握に努め資料の充実整備を進めます。また、オンラインデータベース等電子資料については、情報提供機能の充実を進めながら活用していきます。	市民ニーズの把握に努めるとともに、新聞書評の内容も注視しながら選書・資料の受入れを行った。年度を通して、全館で、図書15,383冊、視聴覚資料664点を受け入れた。中央図書館に「小木新造文庫」コーナーを新設し、平成31年度巡回展示会で用いた江戸・東京に関する資料を6月から配架した。	市民ニーズの把握に努めるとともに、新聞書評の内容も注視しながら資料の充実整備を進めた。年度を通して、全館で、図書14,388冊、視聴覚資料659点を受け入れた。	市民ニーズの把握に努めるとともに、新聞書評の内容も注視しながら資料の充実整備を進めた。年度を通して、全館で、図書14,905冊、視聴覚資料649点を受け入れた。	市民ニーズの把握に努めるとともに、新聞書評の内容も注視しながら資料の充実整備を進めた。年度を通して、全館で、図書14,801冊、視聴覚資料619点を受け入れた。また、一般利用者及び小中学校教員向けにオンラインデータベース利用講座を年間4回(計8回)行った。	市民ニーズの把握に努めるとともに、新聞書評の内容も注視しながら資料の充実整備を進める。また、オンラインデータベース利用講座を継続して行い、稼働率の向上を図る。
80	3-1-(6)-② 資料展示	図書館課	社会で関心をもたれるテーマ、地域で課題となっているテーマなどに沿った図書や視聴覚などの資料を展示し、幅広い情報を提供するとともに、読書への関心を高めます。	四季折々の館内展示に加え、SDGs関連資料の展示や、過去の展示を振り返るコーナーを新設して幅広い情報を提供するとともに、読書への関心を高めた。市内6館を回る巡回展示会では、「平成という時代」というテーマで、平成時代の出来事、流行をとりあげた資料や、当時ベストセラーとなった資料396冊を集めて展示。延べ717冊の貸出があった。	四季折々の館内展示に加え、SDGs関連資料の展示や、中央図書館開館15周年記念事業の一環として、利用者が推薦する本の紹介をまとめた双方向型の展示を行い、読書への関心を高めた。市内6館を回る巡回展示会では、「本で楽しむアートの世界」～あなただけの美術館を見つけてませんか?～というテーマで、地域資料や市民による著作物を中心に407冊を集めて展示。延べ315冊の貸出があった。	四季折々の館内展示に加え、SDGs関連資料の展示や、外部機関とのタイアップによる特設展示を行った他、稲城市出身の第167回直木賞作家窪美澄氏の特別展示を行い、読書への関心を高めた。市内6館を回る巡回展示会では、「本で楽しむアートの世界」～あなただけの美術館を見つけてませんか?～というテーマで、美術関連資料を中心に421冊を集めて展示。延べ913冊の貸出があった。	四季折々の館内展示に加え、SDGs関連資料の展示や、外部機関とのタイアップによる特設展示を行った他、稲城市出身の第167回直木賞作家窪美澄氏の特別展示を行い、読書への関心を高めた。毎年度10月から翌年3月にかけて行っている巡回展示会では「図書館っておもしろい!」をテーマに、各館で図書館に関する資料(図書館の歴史・図書館の運営に関するものや、図書館を舞台とした小説等)376点を展示し、延べ620点の貸出があった。	四季折々の館内展示、外部機関とのタイアップによる特設展示、及び巡回展示会により、引き続き市民へ幅広い情報提供を行う。
81	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (7)市民の学習を支援する図書館サービスの充実							
81	3-1-(7)-① レファレンスサービスの充実	図書館課	図書館利用者が、学習・研究・調査を目的として、必要な資料・情報などを求めた際に、資料の検索・提供を行い、情報活用を支援を行います。	利用者からのレファレンス(年間341件)に対応した。児童書・地域資料・ビジネスといった特定のテーマについて、ブックリストを作成して市民や学校教職員の利用に供したほか、各世代向けに図書館の利用のための講座を開催した。	利用者からのレファレンス(年間376件)に対応した。児童書・地域資料・ビジネスといった特定のテーマについて、ブックリストを作成して市民や学校教職員の利用に供するほか、各世代向けの図書館の利用のための講座を開催した。	利用者からのレファレンス(年間446件)に対応した。児童書・地域資料・ビジネスといった特定のテーマについて、ブックリストを作成して市民や学校教職員の利用に供するほか、各世代向けの図書館の利用のための講座を開催した。	利用者からのレファレンス(年間559件)に対応した。児童書・地域資料・ビジネスといった特定のテーマについて、ブックリストを作成して市民や学校教職員の利用に供するほか、各世代向けの図書館の利用のための講座を開催した。	利用者からのレファレンスに対応する。児童書・地域資料・ビジネスといった特定のテーマについて、ブックリストを作成して市民や学校教職員の利用に供するほか、各世代向けの図書館の利用のための講座を開催する。
81	3-1-(7)-② 講演会事業	図書館課	著者などを講師にした講演会を開催し、市民の興味に応え、読書への関心を高めます。	著者などの講演会を開催し、市民の興味に応えとともに、講演会テーマに沿った展示を行い、読書への関心を高めた。ヤングアダルト向け 9月13日実施 テーマ「ショートショート」の書き方講座 一般向け 8月17日実施 テーマ「現代農協発! 野菜作りのコツと裏ワザ」講座 11月28日実施 テーマ「イライラと上手に付き合おう～アンガーマネジメント」 市民向け 3月7日実施 テーマ「親子で楽しむ春の星座」	著者などの講演会を開催し、市民の興味に応えとともに、講演会テーマに沿った展示を行い、読書への関心を高めた。○ヤングアダルト向け 3月21日実施 テーマ「文章が変われば世界が変わる! 相手を本気にさせる文章教室」 ○一般向け 1月9日実施 テーマ「『国道16号線』と多摩の未来」 ○市民向け 11月7日実施 テーマ「親子で楽しむ科学あそび」	著者などの講演会を開催し、市民の興味に応えとともに、講演会テーマに沿った展示を行い、読書への関心を高めた。○ヤングアダルト向け 10月30日実施 テーマ「小説を書こう!」 ○一般向け 11月13日実施 テーマ「人生を豊かにする稲城の歩き方」 ○市民向け 8月28日実施 テーマ「親子で楽しむ科学あそび」	著者などの講演会を開催し、市民の興味に応えとともに、講演会テーマに沿った展示を行い、読書への関心を高めた。○稲城市立図書館50周年記念講演会 7月1日実施(講師:窪美澄氏) ○ヤングアダルト向け 11月4日実施 テーマ「10代のためのスケザネ講座～物語の読み方～」 ○一般向け 12月16日実施 テーマ「稲城の教育の先駆者たち」 ○市民向け 7月17日実施 テーマ「親子で楽しむ科学あそび」	市民の知的好奇心を満たし、読書への関心につながるようなテーマによる講演会を開催する。
81	3-1-(7)-③ 図書館ボランティアの活動支援	図書館課	ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修など、図書館ボランティアの各種活動支援を行います。	図書館で活動するボランティアの各種支援活動を行った。音訳講習会:音訳ボランティア向けに、年6回実施 図書館ボランティア養成講座:2月13日実施 読み聞かせボランティア講座:11月11日、11月25日実施 おはなしサポート講座:11月26日実施	図書館で活動するボランティアの各種支援活動を行った。音訳講習会:音訳ボランティア向けに、年6回実施 図書館ボランティア養成講座:2月13日実施 おはなしサポート講座:10月5日・10月19日実施 読み聞かせボランティア研修:7月15日実施	図書館で活動するボランティアの各種支援活動を行った。音訳講習会:音訳ボランティア向けに、年6回実施 図書館ボランティア養成講座:11月23日実施 おはなしサポート講座:10月11日・10月25日実施 読み聞かせボランティア研修:7月28日実施	図書館で活動するボランティアの各種支援活動を行った。音訳講習会:音訳ボランティア向けに、年6回実施 図書館ボランティア養成講座:2月18日実施 おはなしサポート講座:10月10日・10月17日実施 読み聞かせボランティア研修:7月27日実施	図書館ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修などを行い、ボランティア従事者の新規開拓、及び経験者の技能向上を図る。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」・一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
81	3-1-(7)-④ 学校図書館整備の促進(再掲)	指導課・教育総務課	学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通じて、読書活動の推進を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	(指導課) 学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通じて、読書活動の推進を図ることができた。 (教育総務課) システムの導入及び学校配当予算により、学校図書の整備を実施することができた。	2 課題がない。		1 継続	(指導課) 学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通じて、読書活動の推進を図る必要があるため。
82	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (8)子どもの読書活動の推進								
82	3-1-(8)-① 第三次稲城市子ども読書活動推進計画の推進(再掲)	図書館課	読書は、言葉や感性を磨き、想像力を高め、創造力を豊かにします。学校・家庭・地域・図書館であらゆる機会とあらゆる場所において、主体的に読書を行い、生きぬく力を育むことができるよう、子どもの読書活動を支援し推進します。	A 計画した以上の成果が出ている。	子育て世代や未就学児・児童・生徒を対象にした各種イベントの開催や、市立小学校1年生に対する「1ねんせいバック」の配付を通じて、子どもの読書活動を支援し推進する環境が整備できたことによる。 未就学児・児童・生徒向けの図書館利用促進の取組成果として特記すべきものとしては、以下が挙げられる。 ○銀行通帳形式で自身の読書記録を作成できる「読書通帳」の配布数が想定を上回っており、第三次稲城市子ども読書活動推進計画において掲げた配布目標(令和6年度末時点で11,000冊)を令和4年度中に達成することができた。 ○令和4年度にロールプレイングゲーム形式で図書館の利用方法を紹介するウェブコンテンツ「おいでよ 稲城市立図書館」を公開し、図書館の利用や職場体験学習	2 課題がない。		1 継続	GIGAスクール構想の実施等によるスマートフォン・タブレットをはじめとするモバイル機器の普及や、SNSからの情報摂取量の増大といった環境変化の中においても、引き続き子どもたちがあらゆる場所で本に親しめる環境を形成するため、現行の事業を着実に継続することが必要である。
82	3-1-(8)-② 図書館ボランティアの活動支援(再掲)	図書館課	ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修など、図書館ボランティアの各種活動支援を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	図書館ボランティアの意見も取り入れながら、参加者の技能や意欲を向上させるのに資する研修を行うことができるほか、ボランティア活動に必要な物品の調達を通じた後方支援も適宜行っていることによる。	2 課題がない。		1 継続	現行の事業を着実に継続することが適当である。
82	3-1-(8)-③ 幼児期読書支援事業(再掲)	図書館課	絵本の読み聞かせ、おはなし会などの事業を通して本の楽しさを知る機会を作ります。	B 計画どおりに進んでいる。	コロナ禍においても、感染拡大防止対策(人数制限・マスク着用・消毒・ウェブコンテンツの活用)を行いながら、絵本の読み聞かせ、おはなし会をはじめとした本の楽しさを知る機会を子育て世代や子どもたちに提供することができている。	2 課題がない。		1 継続	現行の事業を着実に継続することが適当である。
82	3-1-(8)-④ 地域の読書環境の推進(再掲)	図書館課	地域文庫では、本の貸し出し・読み聞かせの会・読書会などにより、地域の子ども・保護者へ本を紹介するとともに、「本はともだち いなぎの子」読書イベントに参加します。 また、図書館職員を講師とした新刊絵本を読み合う「子どもの本の会」を主催し、一般に公開します。 これらの活動を通じて、子どもたちにおはなしの楽しさを伝える文庫活動をPRし、文庫活動の交流を推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	図書館から地域文庫に対する支援活動を適宜行うことができる。	2 課題がない。		1 継続	現行の事業を着実に継続することが適当である。
84	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <2 スポーツ・レクリエーション活動の振興> (1)スポーツ・レクリエーション活動の普及								
84	3-2-(1)-① 体力づくり運動推進事業	スポーツ推進課	「市民ひとり1スポーツ」を目標に生涯スポーツを推進し、市民の健康維持・体力の増進を図るための事業を実施します。	B 計画どおりに進んでいる。	コロナ禍では中止となっていたが、令和4年度から再開し、参加人数も増えている。	2 課題がない。		1 継続	継続して「市民ひとり1スポーツ」を目標に生涯スポーツを推進し、市民の健康維持・体力の増進を図るための事業を広く実施していく。
84	3-2-(1)-② 市民体育大会運営事業	スポーツ推進課	広く市民の間にスポーツを普及し、日頃の練習の成果を発揮できる機会を提供するとともに、市民の健康・体力づくりや市民交流を図るため、市民体育大会を開催します。	B 計画どおりに進んでいる。	コロナ禍で中止していた時期もあるが、広く市民の間にスポーツを普及し、日頃の練習の成果を発揮できる機会を提供するとともに、市民の健康・体力づくりや市民交流を図るために市民体育大会が開催できている。	2 課題がない。		1 継続	継続して、広く市民の間にスポーツを普及し、日頃の練習の成果を発揮できる機会を提供するとともに、市民の健康・体力づくりや市民交流を図るため、市民体育大会を開催していく。
84	3-2-(1)-③ 東京ヴェルディ、読売ジャイアンツ、東京サンレーヴス等支援推進事業	スポーツ推進課 ↓ 観光課(R6から)	東京ヴェルディ、読売ジャイアンツ、東京サンレーヴスのプロスポーツやトップアスリートなどの競技、試合を直接観戦する機会の充実を図り、スポーツの魅力を感じてもらえる機会を創出します。	B 計画どおりに進んでいる。	東京ヴェルディ、読売ジャイアンツなどプロスポーツやトップアスリートなどの競技、試合を直接観戦する機会の充実を図り、スポーツの魅力を感じてもらえる機会を提供できている。	2 課題がない。	2 内容を変更して継続		東京サンレーヴスの撤退があったため、実施内容を変更し継続をする。 また、令和6年度より観光課にホームタウン支援推進係が新設されたことから、事業内容については観光課にて随時見直しながら実施していく。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
81	3-1-(7)-④ 学校図書館整備の促進(再掲)	指導課・教育総務課	学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通して、読書活動の推進を図ります。	(指導課) 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書館の整備を実施した。	(指導課) 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書館の整備を実施した。 また、図書館蔵書管理システムを小中学校16校に導入した。	(指導課) 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書館の整備を実施した。 また、小学校2校に、図書館蔵書管理システムを導入し、全校への導入を完了した。	(指導課) 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書館の整備を実施した。	(指導課) 学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通して、読書活動の推進を図る。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書館の整備を実施する。
82	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (8)子どもの読書活動の推進	図書館課	読書は、言葉や感性を磨き、想像力を高め、創造力を豊かにします。学校・家庭・地域・図書館であらゆる機会とあらゆる場所において、主体的に読書を行い、生きぬく力を育むことができるよう、子どもの読書活動を支援し推進します。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の1年目にあたる。 市内全図書館で、読書通帳を946冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、有料の販売分も含めると1,078冊に至った。 夏休み前には、小学1年生向けに「としよかん1ねんせいバック」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙等を配布し、本に親しむ環境づくりを行った。 10月4日の子ども読書イベント「アニマシオン～読書が楽しくなる魔法～」には、講演会に19人、実演に21人が参加した。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の2年目にあたる。 市内全図書館で、読書通帳を1,135冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、有料の販売分も含めると1,277冊に至った。 夏休み前には、小学1年生向けに「としよかん1ねんせいバック」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙等を配布し、本に親しむ環境づくりを行った。 令和3年度の子どもの読書イベントは、「丸ごと稲城の書ばなし～今年の秋は稲城をもっと好きになる～」と題し、10月27日～11月3日の間、城山体験学習館にて稲城の書ばなし紙しばいの原画を展示、11月3日に城山公園交流広場にて紙しばいの読み聞かせを行うとともに、読み聞かせのの様子をインターネット配信を行った。11月3日の紙しばい読み聞かせには、延べ109人に越えたいだいた。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の3年目にあたる。 市内全図書館で、読書通帳を1,248冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、有料の販売分も含めると1,386冊に至った。 夏休み前には、小学1年生向けに「としよかん1ねんせいバック」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙等を配布し、本に親しむ環境づくりを行った。 令和4年度の子どもの読書イベントは、「図書館らくご」と題し、図書館司書の資格を持ち、全国の図書館や学校で「図書館寄席」等で活躍されている参語家の人給事務局治師恵を講師に招き、小学生向けの入門落語、中学生以上向けの古典落語の実演と、関連本の紹介を内容とするイベントを実施し、延べ67人に参加いただいた。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の4年目にあたる。 市内全図書館で、読書通帳を1,108冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、有料の販売分も含めると1,235冊に至った。 夏休み前には、小学1年生向けに「としよかん1ねんせいバック」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙等を配布し、本に親しむ環境づくりを行った。 ※梱包用封筒には、稲城市立図書館50周年を記念し、井上ジェット氏に新規にデザインいただいた「本を読む稲城なしのすけ」のイラストを用いた。 令和5年度の子どもの読書イベントは、図書館ボランティア及び地域文庫運営者の協力を得て、「本の世界をだいぼうけん おはなしの宝島へGO!! 2023」と題して実施した。会場となる城山体験学習館及び城山公園交流広場をテーマパークに見立てて複数のブースを設け、人形劇・ペープサート・読み聞かせの実演を行った。来場者は延べ1,168人であった。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の5年目にあたる。 市内全図書館での読書通帳の発行、小学校1年生向けの「としよかん1ねんせいバック」の配布を通じて、本に親しむ環境づくりを継続する。 令和6年度においては、読書週間にあわせ、「外で読もうデー」の開催を予定しており、児童への読み聞かせやこどもえいが会の上映を計画している。 また、10月20日(日)に、恐竜をテーマとした子ども読書イベントを予定している。
82	3-1-(8)-① 図書館ボランティアの活動支援(再掲)	図書館課	ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修など、図書館ボランティアの各種活動支援を行います。	図書館で活動するボランティアの各種支援活動を行った。 音訳講習会：音訳ボランティア向けに、年6回実施 図書館ボランティア養成講座：11月1日実施 読み聞かせボランティア講座：11月11日、11月25日実施 おはなしサポート講座：11月26日実施	図書館で活動するボランティアの各種支援活動を行った。 音訳講習会：音訳ボランティア向けに、年6回実施 ボランティア養成講座：2月13日実施 おはなしサポート講座：10月5日・10月19日実施 読み聞かせボランティア研修：7月15日実施	図書館で活動するボランティアの各種支援活動を行った。 音訳講習会：音訳ボランティア向けに、年6回実施 ボランティア養成講座：11月23日実施 おはなしサポート講座：10月11日・10月25日実施 読み聞かせボランティア研修：7月28日実施	図書館で活動するボランティアの各種支援活動を行った。 音訳講習会：音訳ボランティア向けに、年6回実施 ボランティア養成講座：2月18日実施 おはなしサポート講座：10月10日・10月17日実施 読み聞かせボランティア研修：7月27日実施	図書館ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修などを行い、ボランティア従事者の新規開拓、及び経験者の技能向上を図る。
82	3-1-(8)-③ 幼児期読書支援事業(再掲)	図書館課	絵本の読み聞かせ、おはなし会などの事業を通して本の楽しさを知る機会を作ります。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度を通じて全館で読み聞かせ事業を中止した。読み聞かせ事業の代替として、全館で「おうちでおはなし会セット」や「図書館福袋」を作成し、利用者へ貸し出した。 保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、対象者714人のうち707人に絵本をはじめとする赤ちゃんバックをプレゼントした。	令和3年10月から、参加人数を制限し、完全予約制としたうえで各館での読み聞かせ事業を再開した。読み聞かせ事業の代替として、全館で「ひよこ印おうちでおはなし会セット」や「図書館福袋」を作成し、利用者へ貸し出した。 また、保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、対象者648人のうち646人に絵本をはじめとする赤ちゃんバックをプレゼントした。	令和4年度途中から各館での読み聞かせ事業を再開し、多数の参加を得た。「おひざにだっこのおはなし会」を256回開催し、2,111人、「えほんのじかん」を151回開催し、1373人の参加があった。その他「おはなしの会」「アニマシオン」「おはなし会」等も再開した。 また、保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、対象者669人のうち667人に絵本をはじめとする赤ちゃんバックをプレゼントした。	令和5年度における読み聞かせイベントの開催数及び参加者数は、以下のとおりであった。 「おひざにだっこのおはなし会」：316回開催、延べ3,281人参加 「えほんのじかん」：174回開催、延べ1,958人参加 その他「おはなしの会」「アニマシオン」「おはなし会」等も実施。 また、保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、対象者659人のうち651人に絵本をはじめとする赤ちゃんバックをプレゼントした。	各館における絵本の読み聞かせ、おはなし会を実施する。 また、保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、絵本を通じて赤ちゃんとその家族がふれあいの時間を持つことを応援する。
82	3-1-(8)-④ 地域の読書環境の推進(再掲)	図書館課	地域文庫では、本の貸し出し・読み聞かせの会・読書会などにより、地域の子ども・保護者へ本を紹介するとともに、「本はともだち いなぎの子」読書イベントに参加します。 また、図書館職員を講師とした新刊絵本を読み合う「子どもの本の会」を主催し、一般に公開します。 これらの活動を通じて、子どもたちにおはなしの楽しさを伝える文庫活動をPRし、文庫活動の交流を推進します。	新刊絵本を読む「子どもの本の会」を年間9回開催し、42人が参加した。	新刊絵本を読む「子どもの本の会」を年間7回開催し、27人が参加した。	新刊絵本を紹介する「子どもの本の会」が年間11回開催され、図書館司書を派遣し、参加人数延べ56人に絵本の紹介を行った。	新刊絵本を紹介する「子どもの本の会」が年間11回開催され、図書館司書を派遣し、参加人数延べ57人に絵本の紹介を行った。	地域文庫がそれぞれの地域で読書活動を行う他、月1回開催される新刊絵本を読む「子どもの本の会」へ図書館司書を派遣し、絵本の紹介を行う。
84	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <2 スポーツ・レクリエーション活動の振興> (1)スポーツ・レクリエーション活動の普及							
84	3-2-(1)-① 体力づくり運動推進事業	スポーツ推進課	「市民ひとり1スポーツ」を目標に生涯スポーツを推進し、市民の健康維持・体力の増進を図るための事業を実施します。	市民水泳大会、稲城市スポーツフェア、シルバーハイキング、市民ロードレース大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	・シルバーハイキング(11月17日 参加人数22人) ※5月19日に予定していた春の回は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。 ・稲城市小中学生マラソン大会(旧市民ロードレース大会)(12月5日 参加人数843人) ・市民水泳大会、稲城市スポーツフェアは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	・市民水泳大会(8月28日、参加人数70人) ・稲城市スポーツフェア(10月10日、参加人数延べ2030人) ・シルバーハイキング(5月18日参加人数18人、11月16日参加人数25人) ・稲城市小中学生マラソン大会(旧市民ロードレース大会)(12月4日、参加人数1096人)	・市民水泳大会(8月27日、参加人数延べ203人) ・稲城市スポーツフェア(10月9日、参加人数延べ911人) ・シルバーハイキング(5月17日参加人数26人、11月15日参加人数25人) ・稲城市小中学生マラソン大会(旧市民ロードレース大会)(11月26日、参加人数1,044人)	・市民水泳大会(8月25日) ・シルバーハイキング(5月15日、11月13日) ・稲城市小中学生マラソン大会(12月1日)
84	3-2-(1)-② 市民体育大会運営事業	スポーツ推進課	広く市民の間にスポーツを普及し、日頃の練習の成果を発揮できる機会を提供するとともに、市民の健康・体力づくりや市民交流を図るため、市民体育大会を開催します。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	新型コロナウイルス感染症の影響により、総合開会式及び3競技(卓球、スキー、フリアボール)を中止した。 (参加人数 19競技 延べ4,281人)	新型コロナウイルス感染症の影響により、1競技(スキー)を中止した。また、雨天によりグラウンドの状況が不良のため、総合開会式を中止とした。 (参加人数 21競技 延べ5,307人)	21競技の種目で市民体育大会を実施した。(参加人数 21競技 延べ4,817人)	21競技の種目で市民スポーツ・レクリエーション大会を実施予定。(9月～2月)。
84	3-2-(1)-③ 東京ヴェルディ、読売ジャイアンツ、東京サンレーヴス等支援推進事業	スポーツ推進課 ↓ 観光課(R6から)	東京ヴェルディ、読売ジャイアンツ、東京サンレーヴスのプロスポーツやトップアスリートなどの競技、試合を直接観戦する機会の充実を図り、スポーツの魅力を感じてもらえる機会を創出します。	・ホームタウンデー 東京ヴェルディのホームゲームの内、大宮アルディージャ戦をホームタウンデーとして開催し、稲城市民を招待した。(一般優待1,000円/人、小・中・高・満65歳以上無料招待) 参加人数：一般優待571人、無料招待571人 ・東京ヴェルディ支援推進物品作製 リーフレット7,500部 ・ホームタウン推進懇談会 2月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	・ホームタウンデー 東京ヴェルディのホームゲームの内、FC町田ゼルビア戦(9月26日)をホームタウンデーとして開催し、稲城市民を招待した。(一般優待1,000円/人、小中学生、22歳以下、65歳以上無料招待) 参加人数：一般優待102人、無料招待548人 ・東京ヴェルディ支援推進物品作製 1東京ヴェルディ応援用看板シート設置(市役所西側駐車場、稲城駅前、若葉台駅前) 2東京ヴェルディ応援用エレベーター扉シート設置(市役所1階西側) ・ホームタウン推進懇談会 2月に実施予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	・ホームタウンデー 東京ヴェルディのホームゲームの内、モンテディオ山形戦(9月24日)をホームタウンデー(稲城市民観戦デー)として開催し、稲城市民を無料または優待料金で招待した。 参加人数：市民優待 206人 無料招待 173人 ・東京ヴェルディ支援推進物品作製 エレベーター扉シート 中央文化センター、第二文化センター、第三文化センター、第四文化センター、城山文化センター、地域振興プラザ、福祉センター、オーエンス健康プラザ、ふれんど平尾、稲城中央公園総合体育館 ・ホームタウン推進懇談会 2月に実施予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	・ヴェルディ応援DAY 東京ヴェルディのホームゲームの内、モンテディオ山形戦(6月4日)、大分トリニータ戦(10月7日)を稲城市ヴェルディ応援DAYとして開催し、稲城市民を無料または優待料金で招待した。 ・東京ヴェルディ支援推進物品作製 ①懸垂幕(東京ヴェルディJ1昇格応援メッセージ) ②リーフレット作成 10,000部	・ホームタウンデー ・稲城市フェスティンジャイアンツ球場 ・東京ヴェルディ支援推進物品作製 ・読売ジャイアンツ支援推進物品作製 ・ホームタウン推進懇談会

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	①取組の評価	①' 評価理由	②課題	②' 課題の内容・解決方法(1のみ記載)	③次期計画における取組の方向性	③' 方向性の理由・内容
85	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <2 スポーツ・レクリエーション活動の振興> (2)スポーツ・レクリエーション環境の整備								
85	3-2-(2)-① 体育施設の運営管理	スポーツ推進課	市内の体育施設やスポーツ広場などを社会体育施設として活用し、多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルス感染症の影響により、一時期施設を休館・休場することがあったものの、現在は概ねコロナ禍前の利用率に戻っている。 また、経年劣化が進んだ設備等について、随時修繕を実施するなどの取り組みを進めている。	1 課題がある。	総合体育館をはじめとして老朽化が進んでいる施設が多く、維持管理の経費が増加している。 令和6年度から市立公園内体育施設の指定管理者が民間事業者に変わることに伴い、維持管理業務の効率化や市民サービスの向上を図っていく。また、民間のノウハウ等を活用し、体育施設の大規模改修工事の実施に向け検討を進め、スポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を充実させていく。	1 継続	引き続き、市民が安全で快適に市内の体育施設を利用できるよう、築年数や劣化状況等に応じた適切な維持管理を進めていく必要があるため。
85	3-2-(2)-② 学校体育施設開放	教育総務課	各地域にある学校体育施設を開放し、市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・場づくりを図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	学校運営に支障が生じないよう各学校と調整しながら、学校体育施設の開放運営が実施できたため。	2 課題がない。		1 継続	学校運営に支障がない範囲で、学校体育施設を有効活用することで、市民のスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会づくりができるため。
85	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <2 スポーツ・レクリエーション活動の振興> (3)スポーツ・レクリエーション活動の支援								
85	3-2-(3)-① スポーツ団体との連携・支援	スポーツ推進課	スポーツ・レクリエーション活動の推進に向けて、地域のスポーツ団体との連携・支援の強化を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	市主催事業について、地区体育振興会・総合型地域スポーツクラブ等の地域スポーツ団体と連携して実施した。 スポーツ団体の主催事業においては、広報活動・参加者募集等の支援を継続して行ってきたため。	2 課題がない。		1 継続	継続して一般財団法人稲城市スポーツ協会へ補助金を交付し、各種中央大会への派遣事業を実施する。
86	3-2-(3)-② スポーツ推進委員協議会(再掲)	スポーツ推進課	スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに地域住民や児童・生徒に対する実技指導、その他スポーツの推進のための助言指導を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	コロナ禍でも定例会を書面・リモート等で実施した。令和4年度からは主催事業等も再開し、稲城市のスポーツ推進に寄与してる。	2 課題がない。		1 継続	継続して、市民へのスポーツ推進を進めていく。
86	3-2-(3)-③ スポーツ推進委員協議会研修会	スポーツ推進課	指導者の資質向上やボランティアの確保に向けて講習会を開催します。	B 計画どおりに進んでいる。	コロナ禍では中止となっていたが、令和4年度から再開した。	2 課題がない。		1 継続	継続して、指導者の資質向上やボランティアの確保に向けた講習会を実施する。
87	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <2 スポーツ・レクリエーション活動の振興> (4)スポーツ・レクリエーションを活用した魅力あるまちづくり								
87	3-2-(4)-① 各種スポーツ団体等と連携したスポーツを活用した魅力あるまちづくり	スポーツ推進課	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で定着したボランティアを活用し、各種スポーツ団体と様々な分野の担い手と連携したスポーツイベントを開催することで、スポーツを活用した魅力あるまちづくりを推進します。	B 計画どおりに進んでいる。	関係団体と連携し、スポーツイベントを実施した	2 課題がない。		2 内容を変更して継続	継続してスポーツ協会、体育振興会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関連団体と連携し、スポーツイベントを開催していく。 稲城市スポーツフェアに関しては、令和6年度より指定管理者の事業として実施する。
87	3-2-(4)-② 市や地域が主催するスポーツイベントや大会等情報提供	スポーツ推進課	市や教育委員会が発行する広報誌等により、主催事業の案内や、地域のスポーツ団体の会員募集・催し物の周知を行います。	B 計画どおりに進んでいる。	スポーツイベントや大会等の情報提供を広報いなぎや生涯学習だより「ひろば」にて行った。	2 課題がない。		1 継続	継続してスポーツイベントや大会等の情報提供を広報いなぎや生涯学習だより「ひろば」にて行っていく。
87	3-2-(4)-③ 友好都市等スポーツ交流事業	スポーツ推進課	体育協会に所属するスポーツ団体を、友好都市相馬市に派遣し、相馬市のスポーツ団体と交流試合を行うこと等で、友好都市等の市民同士の交流を図ります。	B 計画どおりに進んでいる。	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となっていたが、令和5年度は、サッカー連盟に所属するサッカーチームを派遣し、相馬市と交流を行った。	2 課題がない。		1 継続	継続してスポーツ協会に所属するスポーツ団体を派遣し、相馬市のスポーツ団体と交流試合を行うこと等で、友好都市等の市民同士の交流を図っていく。

第三次稲城市教育振興基本計画に係る「主な取組」一覧

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和2年度)	具体的な取組結果(令和3年度)	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な取組結果(令和5年度)	具体的な実施予定(令和6年度)
85	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興							
	3-2-(2)-① 体育施設の運営管理	スポーツ推進課	市内の体育施設やスポーツ広場などを社会体育施設として活用し、多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図ります。	市内の各体育施設やスポーツ広場などを有効に活用し、年間で下記の利用があった。(新型コロナウイルス感染症の影響による使用中止期間、利用者を市内者に限定する等の利用制限期間あり) ・南多摩スポーツ広場 31,867人 ・ふれんど平尾(体育施設) 20,926人 ・稲城長峰スポーツ広場 サッカー場 47,231人 フットサル場 13,395人 多目的室1 576人 多目的室2 806人 芝生広場 1,991人 ・稲城中央公園総合体育館 136,358人 ・稲城中央公園総合グラウンド 17,983人 ・稲城中央公園野球場 7,855人 ・若葉台公園多目的広場 23,882人 ・多摩川緑地公園 47,815人 ・テニスコート 94,621人	市内の各体育施設やスポーツ広場などを有効に活用し、年間で下記の利用があった。(新型コロナウイルス感染症の影響による使用中止期間、利用者を市内者に限定する等の利用制限期間あり) ・南多摩スポーツ広場 35,972人 ・ふれんど平尾(体育施設) 28,758人 ・稲城長峰スポーツ広場 サッカー場 50,933人 フットサル場 12,117人 フットサル場 16,285人 多目的室1 723人 多目的室2 1,038人 芝生広場 2,035人 ・稲城中央公園総合体育館 141,979人 ・稲城中央公園総合グラウンド 17,490人 ・稲城中央公園野球場 11,266人 ・若葉台公園多目的広場 11,571人 ・多摩川緑地公園 40,813人 ・テニスコート 113,345人 多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図るため、下記の工事、修繕を実施。 ・ふれんど平尾体育館空調設備設置工事(工期:4月2日～6月11日) ・城山公園テニスコート改修工事(工期:7月2日～9月30日) ・ふれんど平尾体育館バスケットゴール設置工事(工期:10月20日～3月11日) ・総合体育館メインアリーナ及びウエルネスアリーナ空調設備設置工事(工期:10月8日～3月31日) ・若葉台公園テニスコートC・D面人工芝張替え修繕(工期:11月30日～1月31日)	市内の各体育施設やスポーツ広場などを有効に活用し、年間で下記の利用があった。 ・南多摩スポーツ広場 50,206人 ・ふれんど平尾(体育施設) 34,233人 ・稲城長峰スポーツ広場 サッカー場 57,739人 フットサル場 16,285人 多目的室1 763人 多目的室2 1,456人 芝生広場 1,061人 ・稲城中央公園総合体育館 184,523人 ・稲城中央公園総合グラウンド 24,889人 ・稲城中央公園野球場 14,301人 ・若葉台公園多目的広場 14,223人 ・多摩川緑地公園 43,387人 ・テニスコート 116,425人 多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図るため、下記の修繕を実施。 ・若葉台公園テニスコートA・B面人工芝張替え修繕(工期:5月2日～8月31日)	市内の各体育施設やスポーツ広場などを有効に活用し、年間で下記の利用があった。 ・南多摩スポーツ広場 50,206人 ・ふれんど平尾(体育施設) 34,233人 ・稲城長峰スポーツ広場 サッカー場 57,739人 フットサル場 16,285人 多目的室1 763人 多目的室2 1,456人 芝生広場 1,061人 ・稲城中央公園総合体育館 199,127人 ・稲城中央公園総合グラウンド 27,150人 ・稲城中央公園野球場 12,724人 ・若葉台公園多目的広場 16,439人 ・多摩川緑地公園 45,641人 ・テニスコート 126,643人 多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図るため、下記の修繕を実施。 ・大丸公園テニスコートA面人工芝張替え修繕(工期:3月11日～3月29日) 体育施設の運営管理及び市民サービスの向上を目的として、令和6年度以降の市立公園内体育施設指定管理者について公募を実施した。公の指定管理者選定委員会において、「みんなで彩る稲城のまち共同事業体」を候補者として選定し、令和5年第4回市議会定例会において、同事業者の指定が議決された。	多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図るため、下記の修繕を実施。 ・若葉台公園テニスコートA面人工芝張替え修繕(工期:3月11日～3月29日) 多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図るため、下記の修繕を実施。 ・大丸公園テニスコートA面人工芝張替え修繕(工期:3月11日～3月29日) 多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図るため、下記の修繕を実施。 ・大丸公園テニスコートA面人工芝張替え修繕(工期:3月11日～3月29日)
85	3-2-(2)-② 学校体育施設開放	教育総務課	各地域にある学校体育施設を開放し、市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・場づくりを図ります。	学校体育施設において、以下のとおり学校開放を実施した。 ・団体開放 体育館 3,961件 利用者数81,374人 校庭 2,187件 利用者数77,315人 ・個人開放 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 また、体育館にて空調設備の運用を開始した。	学校体育施設において、以下の通り学校開放を実施した。 ・団体開放 体育館 5,573件 利用者数112,921人 校庭 3,050件 利用者数112,069人 ・個人開放 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 また、団体開放において、市民の利便性向上のため、学校体育施設の予約受付について公共施設予約システムを導入した。	学校体育施設において、以下の通り学校開放を実施した。 ・団体開放 体育館 5,893件 利用者数118,141人 校庭 2,458件 利用者数81,078人 ・個人開放 4校 開放日82日 利用者数1,706人	学校体育施設において、以下の通り学校開放を実施した。 ・団体開放 体育館 6,462件 利用者数138,735人 校庭 2,557件 利用者数79,932人 ・個人開放 3校 開放日49日 利用者数770人	引き続き、学校体育施設において、学校開放を実施する。
85	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興							
	3-2-(3)-① スポーツ団体との連携・支援	スポーツ推進課	スポーツ・レクリエーション活動の推進に向けて、地域のスポーツ団体との連携・支援の強化を図ります。	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、各種中央大会への派遣事業を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、下記の通り中止または規模を縮小しての実施となった。) ・第73回都民体育大会春季大会(中止) ・第74回都民体育大会夏季大会(中止) ・第53回東京都市町村総合体育大会(中止) ・令和2年度都民生涯スポーツ大会(規模縮小で実施) ・第32回都民スポレクふれあい大会(規模縮小で実施)	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、各種中央大会への派遣事業を実施。新型コロナウイルス感染症の影響により中止または規模縮小での実施となった。 ・第74回都民体育大会春季大会(中止) ・第75回都民体育大会夏季大会(規模縮小で実施) ・第53回東京都市町村総合体育大会(中止) ・令和3年度都民生涯スポーツ大会(規模縮小で実施) ・第33回都民スポレクふれあい大会(中止)	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、各種中央大会への派遣事業を実施。 ・第75回都民体育大会春季大会 ・第76回都民体育大会夏季大会 ・第54回東京都市町村総合体育大会 ・令和4年度都民生涯スポーツ大会 ・第34回都民スポレクふれあい大会	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、各種中央大会への派遣事業を実施。 ・第76回都民体育大会春季大会 ・第77回都民体育大会夏季大会 ・第55回東京都市町村総合体育大会 ・令和5年度都民生涯スポーツ大会 ・第35回都民スポレクふれあい大会	一般財団法人稲城市スポーツ協会へ補助金を交付し、各種中央大会への派遣事業を実施予定。
86	3-2-(3)-② スポーツ推進委員協議会(再編)	スポーツ推進課	スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに地域住民や児童・生徒に対する実技指導、その他スポーツの推進のための助言指導を行います。	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、定例会は全12回中10回の開催となった。	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催
86	3-2-(3)-③ スポーツ推進委員協議会研修会	スポーツ推進課	指導者の資質向上やボランティアの確保に向けて講習会を開催します。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	・3月15日に稲城中央公園総合体育館ミーティングルームにてスポーツ推進委員協議会研修会を実施。日本ウェルネススポーツ大学講師であり、堀松スポーツ行政研究所所長の堀松英紀氏を講師として、「スポーツリスキマネジメント」の講義が行われた。 ・9月10日に八王子市役所8階会議室及び職員会館体育室にて東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会を実施。日本工学院八王子専門学校講師である伊藤 茂彦 氏を講師として、「スポーツを通じた障がい者との交流～豊かな社会づくりを考える～」の講義及び「障がいに応じたスポーツを考える」の実技講習が行われた。	・4月30日(日)に多摩市立総合体育館(第2スポーツホール)にて多摩市・稲城市スポーツ推進委員合同研修会を実施。多摩市スポーツ推進委員によるニュースポーツ(ボッチャ、キンボール等)のルール等の講習及び実技研修が行われた。 ・9月9日に町田市総合体育館にて東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会を実施。一般社団法人 日本スポーツマンシップ協会の会長である中村 聡宏 氏を講師として、「スポーツマンシップを考える～スポーツ推進に関わる者・指導者ならば理解し実践すべきこと～」の講義及び「スポーツマンシップ」のグループワークが行われた。 ・3月3日(日)に稲城中央公園総合体育館ミーティングルーム及び中庭にてスポーツ推進委員協議会研修会を実施。日本ホースシューズ協会 理事長であり、フレンドリー情報センター 参与の杉野 敏史氏を講師として、「ニュースポーツ」の座学及び実技の講義が行われた。	年2回程度の研修会を実施予定
87	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興							
	3-2-(4)-① 各種スポーツ団体等と連携したスポーツを活用した魅力あるまちづくり	スポーツ推進課	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で定着したボランティアを活用し、各種スポーツ団体や様々な分野の担い手と連携したスポーツイベントを開催することで、スポーツを活用した魅力あるまちづくりを推進します。	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の1年延期により未実施。 ・オリリンピック聖火リレー 新型コロナウイルス感染症の影響により公道での聖火リレーが中止となり、点火セレモニーが関係者のみで開催された。 ・オリリンピック聖火リレーミニセレブレーション 公道での聖火リレー中止に伴い中止となった。 ・オリリンピック自転車競技ロードレース 7月24日及び25日の2日間で開催され、稲城市内のコース沿道での大会運営をサポートするコースサポーター(ボランティア)延べ609人が活動した。 ・コミュニティライブサイトin稲城 オリンピック自転車競技ロードレースの開催にあわせ、競技観戦、競技体験、ステージイベント等を行う「東京2020大会コミュニティライブサイトin稲城」を開催し、745人が来場した。 ・パラリンピック聖火リレー 新型コロナウイルス感染症の影響により公道での聖火リレーが中止となり、点火セレモニーが関係者のみで開催された。 ・パラリンピック聖火リレー気運醸成イベント パラリンピック聖火の種火を起こし、パラリンピックや障害に対する理解を深めることなどを目的に複合施設ふれんど平尾で「東京2020パラリンピック聖火リレー気運醸成体験イベント」を8月19日に開催し、52人が参加した。 ・パラリンピック聖火リレー採火・出発式 稲城市役所いこいの広場で「東京2020パラリンピック聖火リレー 採火・出発式」を8月20日に開催した。気運醸成体験イベントで採火したパラリンピック聖火リレーの種火を「稲城市の火」としてお披露目し、都庁で開催された都内集火式に持ち込んだ。 ・オリリンピック自転車競技ロードレース銘板設置 東京2020オリンピック競技大会自転車競技ロードレースのコース沿道となった稲城中央公園(くじらのモニュメント付近)に、国際オリンピック委員会及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の承認を受け、銘板を設置した。 ・オリリンピック聖火リレー巡回事業 オリンピック聖火リレートーチを、大会終了後に市立小中学校全18校を対象にリレー形式で巡回を行った。児童・生徒がいつでも見ることができる場所への展示や授業での利用など、学校ごとに工夫を凝らした活用がなされ、大会を身近に感じることができるよう機会の創出となった。 ・ボランティアとして登録し、今後も活動を希望する方のリストを作成。大規模なイベントを実施する際に活用を検討する。	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の1年延期により未実施。 ・オリリンピック聖火リレー 新型コロナウイルス感染症の影響により公道での聖火リレーが中止となり、点火セレモニーが関係者のみで開催された。 ・オリリンピック聖火リレーミニセレブレーション 公道での聖火リレー中止に伴い中止となった。 ・オリリンピック自転車競技ロードレース 7月24日及び25日の2日間で開催され、稲城市内のコース沿道での大会運営をサポートするコースサポーター(ボランティア)延べ609人が活動した。 ・コミュニティライブサイトin稲城 オリンピック自転車競技ロードレースの開催にあわせ、競技観戦、競技体験、ステージイベント等を行う「東京2020大会コミュニティライブサイトin稲城」を開催し、745人が来場した。 ・パラリンピック聖火リレー 新型コロナウイルス感染症の影響により公道での聖火リレーが中止となり、点火セレモニーが関係者のみで開催された。 ・パラリンピック聖火リレー気運醸成イベント パラリンピック聖火の種火を起こし、パラリンピックや障害に対する理解を深めることなどを目的に複合施設ふれんど平尾で「東京2020パラリンピック聖火リレー気運醸成体験イベント」を8月19日に開催し、52人が参加した。 ・パラリンピック聖火リレー採火・出発式 稲城市役所いこいの広場で「東京2020パラリンピック聖火リレー 採火・出発式」を8月20日に開催した。気運醸成体験イベントで採火したパラリンピック聖火リレーの種火を「稲城市の火」としてお披露目し、都庁で開催された都内集火式に持ち込んだ。 ・オリリンピック自転車競技ロードレース銘板設置 東京2020オリンピック競技大会自転車競技ロードレースのコース沿道となった稲城中央公園(くじらのモニュメント付近)に、国際オリンピック委員会及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の承認を受け、銘板を設置した。 ・オリリンピック聖火リレー巡回事業 オリンピック聖火リレートーチを、大会終了後に市立小中学校全18校を対象にリレー形式で巡回を行った。児童・生徒がいつでも見ることができる場所への展示や授業での利用など、学校ごとに工夫を凝らした活用がなされ、大会を身近に感じることができるよう機会の創出となった。 ・ボランティアとして登録し、今後も活動を希望する方のリストを作成。大規模なイベントを実施する際に活用を検討する。	・7月30日に実施される「東京2020オリンピック・パラリンピック 1周年記念 自転車ロードレース レガシーサクリング」の運営に協力し、稲城中央公園へのエドステーション設置及び運営を行った。 ・体育協会、体育振興会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、東京ヴェルディ、読売巨人軍等のスポーツ関連団体と連携し、稲城市スポーツフェア(10月10日、参加人数延べ2030人)、Iのまちいなぎ市民まつりファミリースポーツフェスタ(10月22日、23日、参加人数延べ1,624人)を実施した。	・THE ROAD RACE TOKYO(自転車ロードレース) 12月3日に開催され、稲城市内のコース沿道での大会運営をサポートするボランティア約90人が活動した。 ・体育協会、体育振興会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、東京ヴェルディ、読売巨人軍等のスポーツ関連団体と連携し、稲城市スポーツフェア(10月9日、参加人数延べ911人)、Iのまちいなぎ市民まつりファミリースポーツフェスタ(10月21日、22日、参加人数延べ2,065人)を実施した。	・スポーツ協会、体育振興会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関連団体と連携し、Iのまちいなぎ市民まつりファミリースポーツフェスタ(10月19日、20日)を実施予定。
87	3-2-(4)-② 市や地域が主催するスポーツイベントや大会等情報提供	スポーツ推進課	市や教育委員会が発行する広報誌等により、主催事業の案内や、地域のスポーツ団体の会員募集・催し物の周知等を行います。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、ホームページなどにより、スポーツイベントや大会等の情報提供を行った。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、ホームページなどにより、スポーツイベントや大会等の情報提供を行った。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、ホームページなどにより、スポーツイベントや大会等の情報提供を行った。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、ホームページなどにより、スポーツイベントや大会等の情報提供を行った。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、ホームページなどにより、スポーツイベントや大会等の情報提供を行った。
87	3-2-(4)-③ 友好都市等スポーツ交流事業	スポーツ推進課	体育協会に所属するスポーツ団体を、友好都市相馬市に派遣し、相馬市のスポーツ団体と交流試合を行うこと等で、友好都市等の市民同士の交流を図ります。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	サッカー連盟に所属するサッカーチーム(平尾FC)を派遣し、相馬市、浜山市と交流を行った。令和5年7月22日から24日の2泊3日。参加人数35名。	スポーツ協会に所属するスポーツ団体を、友好都市相馬市に派遣し、相馬市のスポーツ団体と交流試合を行う予定。